

官報

號外 昭和十二年三月十四日

○第七十回衆議院議事速記録第二十一號

昭和十二年三月十三日(土曜日)

午後一時三十九分開議

議事日程 第二十二號

昭和十二年三月十三日

午後一時開議

- 第一 小運送業法案(政府提出) 第一讀會
- 第二 日本通運株式會社法案(政府提出) 第一讀會
- 第三 帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法案(政府提出) 第一讀會
- 第四 朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第五 朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 昭和十二年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第七 昭和七年法律第一號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

- 案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會
- 第八 船員法改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第九 揮發油及アルコール混用法案(政府提出) 第一讀會
- 第十 貿易組合法案(政府提出) 第一讀會
- 第十一 貿易調整法案(政府提出) 第一讀會
- 第十二 工業組合法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十三 昭和七年法律第十二號中改正法律案(造幣局資金拂出ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會
- 第十四 日本銀行條例中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十五 日本銀行參與會法廢止法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十六 橫莊鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十七 東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

- 第十八 製鐵事業法案(政府提出) 第一讀會
- 第十九 大正九年法律第五十三號中改正法律案(關稅法及關稅定率法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會
- 第二十 地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二十一 大正九年法律第五十六號中改正法律案(北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會
- 第二十二 防空法案(政府提出) 第一讀會
- 第二十三 海外移住組合聯合會ニ對スル政府貸付金ノ出資等ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二十四 農村負債整理資金特別融通及損失補償法案(政府提出) 第一讀會
- 第二十五 帝國燃料興業株式會社法案(政府提出) 第一讀會
- 第二十六 人造石油製造事業法案(政府提出) 第一讀會
- 第二十七 商法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二十八 肥料取締法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二十九 酒造組合法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第三十 日本無線電信株式會社法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

- 第三十一 特許法中改正法律案(政府提出) 貴族院送付) 第一讀會
- 第三十二 商標法中改正法律案(政府提出) 貴族院送付) 第一讀會
- 第三十三 不正競爭防止法中改正法律案(政府提出) 貴族院送付) 第一讀會
- 第三十四 裁判所構成法中改正法律案(政府提出) 貴族院送付) 第一讀會
- 第三十五 大正十年法律第百二號中改正法律案(定年ニ因ル退職判事檢事ノ恩給ニ關スル件)(政府提出) 貴族院送付) 第一讀會
- 第三十六 兵役法中改正法律案(政府提出) 貴族院送付) 第一讀會
- 第三十七 產業組合中央金庫法中改正法律案(政府提出) 貴族院送付) 第一讀會
- 第三十八 產業組合自治監査法案(政府提出) 貴族院送付) 第一讀會
- 第三十九 軍機保護法改正法律案(政府提出) 貴族院送付) 第一讀會
- 第四十 刑事訴訟法中改正法律案(政府提出) 貴族院送付) 第一讀會
- 第四十一 外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法中改正法律案(政府提出) 貴族院送付) 第一讀會
- 第四十二 軍事救護法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四十三 救護法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第四十四 母子保護法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第四十五 絲價安定施設法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第四十六 絲價安定施設特別會計法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

昭和十一年度第一豫備金支出ノ件

昭和十一年度特別會計第一豫備金支出ノ件

昭和十一年度特別會計豫備費支出ノ件

昭和十一年度滿洲事件第一豫備金支出ノ件

自昭和十一年一月至同 年三月

自昭和十一年一月至同 年三月

自昭和十一年一月至同 年三月

自昭和十一年一月至同 年三月

自昭和十一年一月至同 年三月

自昭和十一年一月至同 年三月

自昭和十一年一月至同 年三月

自昭和十一年一月至同 年三月

自昭和十一年一月至同 年三月

自昭和十一年一月至同 年三月

自昭和十一年一月至同 年三月

承諾ヲ求ムル件

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲效ニ掲載ス)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

帝國燃料興業株式會社法案

人造石油製造事業法案

日本銀行金買入法中改正法律案

(以上三月十二日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

由良川改修ニ關スル建議案

提出者 芦田 均君 村上 國吉君

田中 好君 津原 武君

高橋熊次郎君 中野 猛雄君

三善 信房君

大牟田市ニ區裁判所設置ニ關スル建議案

提出者 鶴 惣市君

帝國在郷軍人會國庫補助金増額ニ關スル建議案

提出者 松田喜三郎君 升田 憲元君

漢那 憲和君 山本 厚三君

越前岬ニ燈臺設置ニ關スル建議案

提出者 猪野毛利榮君

四ヶ浦漁港修築ニ關スル建議案

提出者 猪野毛利榮君

物部川ダム建設ニ關スル建議案

提出者 長野 長廣君 尾崎 重美君

奧名田鶴ヶ岡間鐵道建設ニ關スル建議案

提出者 猪野毛利榮君

葉煙草賠償價格引上ニ關スル建議案

提出者 山崎 猛君 胎中楠右衛門君

寺田 市正君 東郷 實君

川島正次郎君 坪山 德彌君

宮澤 裕君 宮脇 長吉君

佐藤洋之助君 助川啓四郎君

肥田 琢司君

行政裁判所法案

提出者 宮古啓三郎君

行政訴訟法案

提出者 宮古啓三郎君

訴願法案

提出者 宮古啓三郎君

權限裁判法案

提出者 宮古啓三郎君

行政裁判官懲戒法案

提出者 宮古啓三郎君

電力國策調査機關設置ニ關スル決議案

提出者 岡崎久次郎君 渡邊 鍊藏君

岡田喜久治君 三好榮次郎君

一松 定吉君 村松 久義君

山折 儀重君 内ヶ崎作三郎君

氏家 清君 角 源泉君

奧山 龜藏君 木村小左衛門君

松尾 四郎君

決議案(五箇條ノ御誓文換發七十周年ヲ記念スルノ件)

提出者 小泉又次郎君 土屋清三郎君

清水留三郎君 内ヶ崎作三郎君

澤田 利吉君 濱野徹太郎君

小山 谷藏君 松田 正一君

三好榮次郎君 漢那 憲和君

一宮房治郎君 加藤 鯛一君

工藤 鐵男君 八並 武治君

松村 謙三君 木槍三四郎君

櫻内 幸雄君 齋藤 隆夫君

一松 定吉君 永井柳太郎君

牧野 賤男君 工藤十三雄君

植原悦二郎君 大口 喜六君

宮脇 長吉君 金光 庸夫君

堀切善兵衛君 濱田 國松君

若宮 貞夫君 松野 鶴平君

安藤 正純君 望月 圭介君

藏園三四郎君 青木 精一君

安部 磯雄君 麻生 久君

河上丈太郎君 田川大吉郎君

椎尾 辨匡君 今井 新造君

野中 徹也君 伊禮 肇君

清瀬 一郎君 三浦 虎雄君

岡田 忠彦君

決議案(帝國議會圖書館並議員事務室建設ノ件)

提出者 小泉又次郎君 土屋清三郎君

清水留三郎君 内ヶ崎作三郎君

(以上三月十一日提出)

澤田 利吉君 濱野徹太郎君
 小山 谷藏君 松田 正一君
 三好榮次郎君 漢那 憲和君
 一宮房治郎君 加藤 鯛一君
 工藤 鐵男君 八並 武治君
 松村 謙三君 木槍三四郎君
 櫻内 幸雄君 齋藤 隆夫君
 一松 定吉君 永井柳太郎君
 牧野 賤男君 工藤十三雄君
 植原悅二郎君 大口 喜六君
 宮脇 長吉君 金光 庸夫君
 堀切善兵衛君 濱田 國松君
 若宮 貞夫君 松野 鶴平君
 安藤 正純君 望月 圭介君
 藏園三四郎君 青木 精一君
 安部 磯雄君 麻生 久君
 河上丈太郎君 田川大吉郎君
 椎尾 辨匡君 今井 新造君
 野中 徹也君 伊禮 肇君
 清瀬 一郎君 三浦 虎雄君
 岡田 忠彦君

(以上三月十三日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

帝國陸海軍ニ於ケル齒科衛生ニ關スル質問主意書

提出者 杉山元治郎君

林内閣ノ政綱政策竝文教上ノ諸問題ニ關スル質問主意書

提出者 佐藤 與一君

(以上三月十一日提出)

一去十一日常任委員補關選舉ノ結果左ノ如シ

第一部選出

請願委員 福井 甚三君 (蔭山貞吉君補關)

一去十一日特別委員理事補關選舉ノ結果左ノ如シ

郵便法中改正法律案(政府提出)委員

理事 眞鍋 儀十君 (理事清寬君十一日委員辭任ニ付其ノ補關)

日委員辭任ニ付其ノ補關)

一去十一日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

國民健康保險法案(政府提出)外二件委員

添田 一郎君 青木 亮貫君
 喜多壯一郎君 寺島 權藏君
 武智 勇記君 小林 三郎君
 土屋清三郎君 川橋豐治郎君
 渡邊 鏡藏君 楠木 忠正君
 岡田喜久治君 中崎 俊秀君
 門田 新松君 石坂 豐一君
 小笠原八十美君 加藤鏗五郎君
 田中 好君 肥田 琢司君
 犬養 健君 沖 藏君
 立川 太郎君 三善 信房君
 山口 久吉君 三宅 正一君
 北 勝太郎君 藏原 敏捷君
 田中 養達君

辭任川俣 清音君 補關塚本 重藏君
 辭任池田 秀雄君 補關尾崎 重美君
 辭任平野 光雄君 補關中村 又一君
 辭任田川大吉郎君 補關今井 新造君
 郵便法中改正法律案(政府提出)委員

辭任清 寬君 補關牧山 耕藏君

關稅定率法中改正法律案(政府提出)外四件委員

辭任馬場 元治君 補關渡邊 泰邦君

一昨十二日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ

第一部選出豫算委員 坂東幸太郎君
 第三部選出豫算委員 渡邊 鏡藏君
 第九部選出決算委員 中原 謹司君
 第二部選出請願委員 漆 季松君
 第五部選出請願委員 高野 喜六君
 第一部選出懲罰委員 馬場 元治君

一昨十二日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

國民健康保險法案(政府提出)外二件委員

委員長 添田敬一郎君

理事 武知 勇記君 青木 亮貫君
 喜多壯一郎君 立川 太郎君
 三善 信房君

一昨十二日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)委員

辭任東條 貞君 補關南條 徳男君

絲價安定施設法案(政府提出)外一件委員

辭任青木 精一君 補關今給黎誠吾君

○議長(富田幸次郎君) 是ヨリ會議ヲ開キマス

○松永東君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際日程第四十二乃至第四十四ヲ繰上ゲ上程シ、其審議ヲ進メラレシコトヲ望ミマス

○議長(富田幸次郎君) 松永君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ノ順序ハ變更セラレマシタ、日程第四十二乃至第四十四ハ、同一委員ニ付託シタル議案デアリマスカラ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第四十二、軍事救護法中改正法律案、日程第四十三、救護法中改正法律案、日程第四十四、母子保護法案、右三案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長川島正次郎君

第四十二 軍事救護法中改正法律案 (政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第四十三 救護法中改正法律案 (政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第四十四 母子保護法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一軍事救護法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十二年三月十一日

委員長 川島正次郎

衆議院議長富田幸次郎殿

報告書

一救護法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十二年三月十一日

委員長 川島正次郎

衆議院議長富田幸次郎殿

報告書

一母子保護法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十二年三月十一日

委員長 川島正次郎

衆議院議長富田幸次郎殿

(川島正次郎君登壇)

○川島正次郎君 只今上程セラレマシタ軍事救護法中改正法律案外二件ニ對シマスル委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告致シマス、以上三案ハ社會施設的法律デアリマシテ、現在ノ國情ニ鑑ミマシテ、極メテ緊切且ツ重要ナル點アルヲ認メマシテ、委員會ニ於キマシテハ極メテ熱心ニ、即チ二月二十六日以來七日間ニ互リマシテ、内務、大藏、司法、陸軍、海軍ノ各省大臣、若クハ政府

委員ノ出席ヲ求メテ、質疑應答竝ニ意見ノ交換ヲ致シタノデアリマス、委員會大體ノ意向ハ、本案ノ内容ハ廣義國防ノ意味カラ見テモ、亦救貧政策ノ上ヨリ見テモ、極メテ不徹底デアツテ、更ニ一層擴大充實スルノ必要アリト云フニアリマシタ、委員中ニハ本案ノ各條ニ付テ改正ノ意向ヲ有ツテ居ル者少クナイノデアリマス、社會政策ノ立場ヨリ考ヘテ、極メテ重大ナリト考ヘマシラガ故ニ、其中主ナル點二三ニ付キマシテ、茲ニ御報告申上ゲタイト思フノデアリマス

失シテ、本案改正ノ曉ニ於テハ、政府ノ御發表ノ人員竝ニ豫算デハ極メテ不足デアリ、尙ホ一層經費ヲ増額スル必要ナキカト云フ質問ニ對シマシテ、政府ノ御答辯ハ、本法ハ補充課目デアルカラシテ、費用ガ足りナクナレバ、當然豫備金ヨリ支出スルノダト云フ御答辯デアリマス、併ナガラ此點ニ付テモ豫算豫算ヲ決メテアルノダカラシテ、大體ハ是デ済ム積リダト云フ御答辯ノ半面ニ於テハ、此豫算ノ範圍内デ行カナケレバナラヌト云フデアリマニルカラシテ、豫算ニ制限サレテ、折角法律ハ改正シテモ、救濟スベキ人ヲ救濟シ得ナイ結果ニナルノデハナイカト云フ、強キ委員間ノ意見ガゴザ

夫ヲ喪ツタ母ガ貧困デアリマシテ、子供ヲ養育スル任務ヲ盡シ得ナイ者ニ對シテ、之ヲ救濟ラシテ、次代國民ノ健全ナル發達ヲ圖ルト云フ趣意デアアルノデアリマスガ、其第一條ニ「貧困ノ爲生活スルコト能ハズ」下斯ウナツテ居ル、同じク軍事救護法デハ、今回特ニ條文ヲ改メテ生活困難トシタノデアリマスカラシテ、軍事救護法ト均衡ヲ取ル爲ニ、此母子保護法モ生活不能者ノミナラズ、生活困難ナル者ヲモ救ツテハドウカト云フ意見ガアリマシタケレドモ、之ニ對スル政府ノ御答辯ハ、軍事救護法ト母子法ト、立法ノ根本ノ精神ガ違フ、母子保護法ハ救貧政策ニ立脚シテ居ルノダカラシテ、先ツ貧困ノ爲メ生活スルコト能ハズト云フ程度ノ者ヲ救フガ宜イト云フ御意見デアリマシタ、モウツツ本法ニ依ルト、年齢十三歲以下ノ子供ヲ擁シテ居ル者ヲ救フト云フコトニナツテ居リマスガ、之ニ對シテ工場法ト同じク十五歲以下トシタラド、ウカト云フ御意見ガアリマシタガ、政府ノ御答辯ハ、現行ノ救護法第一條ト均衡ヲ保ツ爲ニ、十三歲以下トシタト云フコトデアリマシタ、而シテ此法律ガ新シク發布サレマシテ、救助サルベキ人員ノ見込ハ、九万五千五百二十三人デ、其豫算ハ十二年度ニ於テハ六十四万八千圓、平年度ニ於テハ二百五十九万二千圓ト云フコトニ相成ツテ居リマス

更ニ救護法ニ付キマシテハ、本法ノ改正ノ要旨ハ、現行ノ補助率ガ等シク二分ノ一

以內トナツテ居ルノヲ、道府縣市及ビ私人ノ負擔ニ係ルモノニ付テハ二分ノ一、町村ノ負擔ニ係ルモノニ付テハ二分ノ七トスト云フ改正デアリマシテ、本案ニ付キマシテモ、從來ノ救護費ハ其單價ガ低イノデアアルカラシテ、相當ニ高メル必要ガアルノデヤナイカト云フ質疑ガアリマシテ、質疑ノ内容、重要ナモノハ以上ノ通りデアリマシテ、委員會ニ溢レテ居ル所ノ空氣ト云フモノハ、政府ノ社會政策ニ對スル熱意ガ極メテ不足デアツテ、折角改正ヲサレルナラバ、何故ニモツト擴充シタ、モツト充實シタ提案ヲナサラヌカト云フノニアツタデアリマス

- 討論ニ入りマシテ、松本治一郎君ヨリ母子保護法ニ付キマシテハ
- 一、第十三條ノ年齢十三歳以下トアルヲ工場法ニ於ケル幼年工ノ保護規定ト同ジク滿十五歳以下トスルコト
 - 二、第一條ノ一號中「精神又ハ身體ノ障礙」下アル次ニ「失業」ヲ加フルコト
 - 三、第二條中母ノ地位ニ代ッテ子ヲ養育スルモノトシテ祖母ノ外ニ姉及伯叔母ヲ加フルコト
 - 四、第三條中「性行其ノ他ノ事由ニ因リ」トアル制限ヲ削除スルコト
 - 五、第四條ノ全文ヲ削除スルコト
 - 六、第五條ノ方面委員ヲ市町村長ノ補助機關トスルノ規定ハ本法ニ限リ別箇ノ母子保護委員ヲ設置スルコト
 - 七、第六條ノ扶助ノ限度ヲ定メタル内「子ノ養育」ノ次ニ「教育」ヲ加フルコト

八、第六條第四項ニ依ル勅令發布ノ場合ニハ扶助ノ種類、方法、金額等ニ付充分社會的事情及母子ノ立場ヲ理解スル社會事業家、學識經驗アル女性ヲ加ヘタル委員會ヲ設置シ之ニ諮問スルコト

九、妊婦ヲ本法ニ依ッテ保護スル規定ヲ設ケ第六條ノ扶助ノ種類ノ中ニ「助産」ヲ加フルコト

十、扶助費ハ之ヲ全額國庫負擔トスルコト

- 又救護法ニ付キマシテハ
- 一、第一條ノ「六十五歳以上」ヲ「六十歳以上」トシ「十三歳以下」ヲ「十五歳以下」トスルコト
 - 二、第一條第四項ノ「精神又ハ身體ノ障礙」ノ次ニ「失業」ヲ加フルコト
 - 三、第二條ハ全文削除スルコト
 - 四、第二十五條ノ救護費ハ之ヲ全額國庫負擔トスルコト
- 軍事救護法ニ付テハ
- 一、本法ノ名稱ヲ「軍事補償法」トシ以下各條ノ「扶助」ヲ「補償」トスルコト
 - 二、第五條ノ「扶助ハ生活ニ必要ナル限度ヲ超ユルコトヲ得ス」トアルヲ「補償ハ生活ニ必要ナル限度ヲ下ルコトヲ得ス」トスルコト
 - 三、第十三條ノ二ノ「二十日以内」ヲ「三月以内」トスルコト
 - 四、第十四條ノ「三月内」ヲ「六月内」トスルコト
 - 五、第十五條ノ「三月内」ヲ「六月内」トスルコト

ルコト

六、入營又ハ出征兵士一家族當年額百八十圓ヲ兵士家族生活補償金トシテ國庫ヨリ支出シ之ヲ月割ニテ毎月末各家族ニ現金ヲ以テ交付スルノ兵士家族生活補償ニ關スル法律案ヲ次期議會ニ提出セラレタキコト

- 以上ヲ修正案トシテ提出シタイノデアアルケレドモ、此際ハ之ヲ修正案トシテ出サズニ、將來政府ニ於テ此點ヲ考慮シテ、適當ニ改正シテ貫ヒタイト云フ意見ヲ附シテ贊成スルト云フ御演說ガアリマシタ、又升田憲元君ヨリ、本法ニ對スル修正動議トシテ
- 一、軍事救護法ノ名稱ヲ「軍事保障法」ニ改メ以下「救護」ヲ「保障」ニ改ムルコト
 - 二、第一條ヲ「傷病兵、其ノ家族若ハ遺族又ハ下士官兵ノ家族若ハ遺族ハ本法ノ定ムル所ニ依リ保障ヲ受クルノ權利ヲ有ス」ニ改ムルコト
 - 三、第二條ニ「保障ハ保障ヲ受クベキ者ノ居住地ノ市町村長之ヲ行フ」ト規定スルコト、以下順次條文ヲ繰下ルコト
 - 四、第三條第一項第二號中「傷病兵ノ兵役ヲ免ゼラレタル時」ヲ「傷病兵ノ轉役又ハ兵役ヲ免ゼラレタル時」ニ改メ以下各條ニ於テモ同ジクスルコト
 - 五、第三條第一項第三號中「傷病兵ニ依リ扶養ヲ受クベキ者」ノ次ニ「又ハ其生活ヲ維持シタル者」ヲ加ヘ第四條第三號ニ於テモ同趣旨ニ改ムルコト
 - 六、第四條第三號中「下士官兵ノ入營若

ハ應召シタル時又ハ傷病兵ノ兵役ヲ免ゼラレタル時」トアルヲ「下士官兵又ハ傷病兵ノ死亡ノ時」ニ改ムルコト

七、第十三條ノ二中「二十日」ヲ「一月」ト云フ修正動議デアリマス、更ニ石坂豐一君ヨリ

- 一、社會政策立法ノ擴充ヲ期スルコト
- 二、内縁ノ妻及私生兒ヲ扶助スルノ要アリト認ムルヲ以テ將來此點ニ關シ研究ヲ進メラレタキコト
- 三、母子法第一條ノ「貧困ノ爲生活スルコト能ハズ」トアルヲ「生活困難」トスル點ニ付テ將來訂正サレタキコト

ノ三點ノ希望ヲ附シマシテ贊成ノ御意見ガアリマシタ、更ニ岡田春夫君ヨリ「各案ニ對シテ扶助ノ實際ニ當ッテハ各府縣區々ノ點ガアルカラ、將來統一ヲ圖ルヤウ注意ヲシ、不公平ニ互ルガ如キコトノナイヤウニ慎重留意サレタシ」トノ條件ヲ附シテ贊成ノ御意見ガアリマシタ

委員會ハ採決ニ當リマシテ、先ヅ母子保護法案ト救護法中改正法律案ノ可否ヲ諮ヒマシタ所ガ、滿場一致原案ニ贊成ヲ致シマシテ、更ニ軍事救護法中改正法律案ニ付キマシテ、先ヅ升田憲元君ノ修正意見ヲ諮リマシタ所、起立者升田君一人デ、否決ヲ致サレマシタ、原案ハ大多數ヲ以テ可決サレタノデアリマス、以上御報告申上ゲマス（拍手）

○議長（富田幸次郎君） 討論ノ通告ガアリマス、之ヲ許可致シマス。岡田春夫君

〔岡田春夫君登壇〕

○岡田春夫君 只今上程ニ相成リマシタ軍
事救護法中改正法律案、母子保護法、救護
法中改正法律案、此三案ニ對シマシテ委員
長ノ報告ニ贊意ヲ表シ、簡單ニ意見ヲ申述
ベタイト存ジマス

先ヅ母子保護法ニ付テ一言ヲ致シタイト
存ジマス、世ノ進歩ニ伴レマシテ社會情勢ガ
複雑多岐ニ互リ生活苦ノ増大致シマスルコ
トヲ已ムヲ得ザル實情ト存ジマス、殊ニ今日
ノ如ク自由主義經濟機構ニ墮セル時代ニ於
キマシテハ、一層其感深キヲ覺エル者デア
リマス、昨今此自由主義ニ對シテ或ル程度
ノ修正ヲ加ヘ、國家ノ權力ヲ以テ富ノ分配
ヲ公正ニ致シ、出來得ル限り貧富ノ懸隔ヲ縮
小シナケレバナラヌト云フ議論ガ起ツテ居リ
マスコトモ、或ル程度之ヲ認メナケレバナラ
ヌト存ズル者デアリマス、洵ニ此場合長キ
例話ヲ致シマスルガ、明治大帝陛下ガ登極
ノ初メニ於カセラレテ、億兆一人ニテモ其
處ヲ得ザル者アルハ朕ノ罪ナリト仰セラレ
テ居リマスガ、國民ト致シマシテハ洵ニ恐
懼感激ニ堪ヘナイ次第デアリマス、此思召
ニ副ヒ奉ルノニハ、政治ノ局ニ當リマス者
ガ、須ク善政ヲ施シマスルト共ニ、徹底的
ニ防貧、救貧ノ政策ヲ立テテ以外ニ途ナン
ト存ジマス、然ルニ今日國家ノ現狀ハ遺憾
ナガラ之ヲ許シマセス、而シテ已ムヲ得ズ
今日ノ救護法ニ依存ヲ致シテ居ル次第デゴ
ザイマスガ、而モ斯ノ如キ施設ハ、諸外國
ニ比較致シマス、後レタル感ノアリマス

ルコトハ、諸君ト共ニ洵ニ遺憾トスル次第
デアリマス

緒テ今回提案ヲ致サレマシタル母子保護
法ハ、實施ノ曉ニ於キマシテ、果シテ幾何
ノ無辜ノ母子ヲ救ヒ得マスルカ、今日未知
數デゴザイマスガ、現代ノ社會情勢カラ致
シマシテ、本案ガ立法セラレマシタ點ニ付
キマシテハ、極メテ時宜ニ適シタルモノト
贊意ヲ表スル次第デアリマス、殊ニ此案ガ
我國ノ美風デアリマスル所ノ家族制度ニ立
脚致シマシテ、母ガ子供ヲ育テルコトハ人
道ノ大倫デアアルト云フ點ヲ、明ニ致シマシ
タル點ニ對シマシテハ、特ニ本員ハ本立法
ニ贊意ヲ表スル次第デアリマス、此意味カ
ラ致シマスナラバ、本法實施ニ伴ヒマスル
經費ノ如キハ、總テ之ヲ國費ヲ以テ負擔ヲ
致シ、本法第三條ノ如キハ削除スベキヲ適
當ダト認メマスルガ、此點ニ對シマシテ
ハ、本法實施ノ成績ニ鑑ミマシテ、論ズベ
キ機會ガアラウト存ジマス、唯此場合本法
運用ノ衝ニ當リマスル政府當局ニ對シ、特
ニ注意ヲ喚起致シタイトハ、本案ガ一般
救護法ト離レテ獨立セシメラレマシタル、
現在ノ社會情勢ニ深甚ノ注意ヲ拂ハレ、特
ニ此精神ヲ織込シテ運用セラレンコトヲ希
望スル次第デアリマス

ノ財政之ヲ許シマセスノデ、已ムヲ得ズ此
程度ニ於テ承認ヲスル次第デアリマス

最後ニ軍事救護法ニ付キマシテ一言申述
ベマスルガ、其扶助ノ範圍ガ若干擴メラレ
マシタルコトハ、洵ニ結構デゴザイマスル
ガ、此程度ニ於テハ十分其目的ヲ達スルコ
トハ不可能デアラウト存ジマス、唯其經費
ノ費目ハ、補充費目ト相成ツテ居リマスル
關係ニ於キマシテ、運用ノ如何ニ於テハ、
大體ニ於テ本法改正ノ目的ヲ達シ得ルコト
ト信ジマスルガ故ニ、之ニ對シマシテ贊意
ヲ表スル次第デアリマス、唯其適用範圍
ガ、先程モ委員長ノ報告ニアリマシタ通
リ、内縁關係ニ及バナイト甚ダ遺憾ト
スルモノデゴザイマス、本員固ヨリ我國ノ
良風美俗ニ反シマスル内縁關係ヲ獎勵スル
意味ハゴザイマセスケレドモ、世ノ複雜
化ニ伴ヒマシテ、内縁關係ハ今日以上ニ増
大スルコトヲ覺悟シナケレバナラヌト存ジ
マス、此内縁關係ト云フ唯形式一片ニ囚ハ
レテ、無辜ノ憐ムベキ軍人ノ遺家族ガ、若
シ救ハレヌト致シマシタナラバ、全ク本改
正ノ其趣旨ニ反スルコトト相成リマスルノ
デ、本法適用ニ對シマシテモ、政府當局ハ深
甚ナル考慮ヲ拂ハレンコトヲ希望スル次第
デアリマス、尙ホ是亦委員長カラ御報告ガゴ
ザイマシタガ、本法運用ニ際シマシテハ、道
府縣ヲ統一一致シ、救助並ニ扶助ニ當リ不公平
ナキヲ期セラレンコトヲ希望致シマシテ、委
員長報告通リ贊成ヲスル次第デアリマス(拍
手)諸君ノ御贊成ヲ望ム次第デアリマス

○議長(富田幸次郎君) 伊東岩男君

〔伊東岩男君登壇〕

○伊東岩男君 本員ハ先程委員長報告ノ通
リ、尙ホ只今民政黨ノ岡田議員ヨリ原案ノ
御贊成ニ對スル意見ノ御開陳ガアリマシ
タ、本員モ同様ノ贊意ヲ有スル者デアリマ
シテ、茲ニ唯簡單ニ希望ヲ附加シテ原案ニ
贊成致シマス

抑、社會政策ノ徹底強化ハ、我國現狀ノ
社會相ニ鑑ミマシテ、最モ緊急且ツ急務デ
アリマス、庶政一新モ、生活安定モ、先ヅ
此點カラ出發シナケレバナラヌト思ヒマス、
明則政治ノ重點ハ、社會ノ各階級ヲ通ジテ、
全面的ニ明ルク朗カニ、其人生ヲ光輝アラ
シムルコトデアリマス、就中從來放任サレ
テ居リマシタ、惠マレザル下層階級ノ救濟、
生活ノ安定ヲ圖リマシテ、憂ヲ共ニスル共
存共榮ノ對策ガ最モ肝要デアリマス、然ル
ニ毎日ノ如ク新聞紙上ヲ賑ハシテ居リマス
ル彼ノ親子心中ヤ、其他ノ變死等ヲ見テ、
下層社會ガ如何ニ行詰リ、其生活ガ如何ニ
逼迫シ、暗黒デアアルカト云フコトガ裏書サ
レルデアラウト思ヒマス、是等ノ事相ハ洵
ニ人生ノ不幸ノ極致デアリ、國ノ一大恥辱
デアリマス、更ニ資本主義萬能ノ政治ヨリ
來レル一大缺陷ダト謂ハネバナリマセス、
然ルニ議會人中ニハ、早クカラ此點ニ著眼
致シマシテ社會政策ノ各般ニ互ツテ、或ハ
建議ニ、或ハ請願ニ、或ハ質問ニ於テ、大
イニ主張シ、大イニ要望シテ來タノデアリ
マスルガ、政府モ此點ニ目覺メラレテ、此

三案ノ外ニ、國民健康保險法ヲ提案サレ、本議會ニ此四ツノ社會立法ヲ見マスルコトハ、夙ニ私ノ欣ビトスル所デアリマス

先ツ只今提案中ノ三案ノ内容ヲ具サニ見マスルニ、何レモ不徹底デアリマス、庶政一新ヲ強調セラル、現内閣ガ、折角此大切

ナ社會立法ヲ御改正ニナリ、更ニ新法ヲ制定サル、ナラバ、今少シ徹底的ニ、何故ニ現實ニ即シク思切ク立法ヲセナカッタノデ

アルカ、委員會ニ於テハ、特ニ此點ニ付テ追究討議シタノデアリマスルガ、議會ノ熱意ニ反シマシテ、政府ノ誠意ガナイノニ、私共ハ洵ニ遺憾デアッタノデアリマス

殊ニ軍事保護法ニ至リマシテハ、救護適用ヲ擴充シ、特ニ第五條ノ從來生活不能者ニ限リ給與シタモノヲ、生活困難ナ者ニ給

與スル如ク改正サレタコトハ、本改正案ノ重要ナル點デアリマス、然ルニ實際徴兵ニ應ジマスル者ハ、多クハ農村ノ子弟デアリ、

特ニ貧乏人ガ多イノデ、私ノ見ル所ヲ以テスルナラバ、改正サレタ第五條ニ該當スル者ハ、入營兵ノ少クトモ六七割ヲ占ムルモ

ノト思ヒマスルノデ、是等ノ人員ヲ救済スルニハ、豫算ガ全ク足りナイノデアリマス、即チ結論トシテ豫算問題デアリマスルガ、

之ニ對シテ政府モ誠意アル御答辯ヲサレ、豫算ハ補充費目デアルカラ、不足額ハ他ヨリ流用シ得ルトノ大藏省當局ノ御聲明モアツ

タノデ、遺憾ナガラ先ヅ此言質ヲ一應信頼シタノデアリマス、仍テ茲ニ簡單ニ希望スルコトハ、第一、本法運用ニ付テハ公平適

官報號外 昭和十二年三月十四日 衆議院議事速記録第二十一號 軍事救護法中改正外二件 第二讀會(確定議)

正殊ニ第五條ニ注意シテ嚴選主義ニ偏セザルコト、第二、内縁ノ妻及ビ其子ニ對シテ救助ノ適用範圍ヲ擴張スルコト、三、本法ノ扶助ノ決定權ヲ市町村長ニ付與シ其手續煩瑣ヲ避ケ迅速徹底ヲ期スルコト、四、次年度ニ於テ更ニ豫算ノ増額經費ノ十全ヲ圖リ本法ノ扶助ノ徹底ヲ期スルコト、軍事保護法ニ對シマシテハ、大體以上ノ諸點ニ注意ヲ喚起セラレ、國防上統後ノ憂ナカラシメ、以テ士氣ノ鼓舞ニ寄與セラレンコトヲ望ム者デアリマス

更ニ農村救濟、社會政策ノ見地カラ、ドウシテモ在營兵ノ待遇改善、入營兵家族ニ對スル保障法ニ對シテハ、國策ノ立場ヨリ、別途ノ方法ニ依ツテ徹底セル、之ニ對スル對策ヲ講ゼネバナリマセヌ、併シハ非常ナル經費ヲ要スル大キナ問題デアリマスルカラ、只今ハ此點ニハ言及致シマセヌ、他ノ機會ニ十分ニ檢討シタイト存ジマス

次ニ救護法ノ改正法律案モ、私共ノ意見トシテハ、今一段ト徹底強化ヲ必要トスルモノデアリマス、新シク制定サルベキ母子保護法モ、具サニ其内容ヲ檢討致シマスル時ハ、洵ニ不十分デ、満足スルモノデアハアリマセヌ、即チ是ガ適用條件ノ擴充、救護

年齡ノ擴張、或ハ妊婦ニ適用スル如キ、或ハ給與額ヲ引上グルガ如キ、幾多擴充ヲ要スル點ガアルノデ、將來大ニ御考慮ヲ仰ギタイト存ジマス

要ハ三案共此法律ノ範圍ニ於テ、豫算サヘ十分デアリマスルナラバ、之ヲ廣義ニ善

意ニ解釋シタナラバ、十分ニ救濟扶助ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルノデアリマス、政府當局ハ本案實施ニ當リ、委員會ニ於ケル委員ノ熱意アル質問ノ本質ト、積極的ノ態度ニ鑑ミラレテ、十全ヲ期セラレンコトヲ希望致シマス(拍手)

○議長(富田幸次郎君) 是ニテ討論ハ終局致シマシタ、三案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○松永東君 直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(富田幸次郎君) 松永君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

軍事救護法中改正法律案

第二讀會(確定議)

救護法中改正法律案 第二讀會(確定議)

母子保護法案 第二讀會(確定議)

○議長(富田幸次郎君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、三案トモ委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)

○松永東君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際日程第四十五及ビ第四十六ヲ繰上ゲ上程シ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(富田幸次郎君) 松永君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ノ順序ハ變更セラレマシタ、日程第四十五及ビ第四十六ハ、同一委員ニ付託シタル議案デアリマスカラ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第四十五、絲價安定施設法案、日程第四十六、絲價安定施設特別會計法案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長紫安新九郎君

第四十五 絲價安定施設法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第四十六 絲價安定施設特別會計法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書 一絲價安定施設法案(政府提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也 昭和十二年三月十二日 委員長 紫安新九郎 衆議院議長富田幸次郎殿

附帶決議

一 絲價低落ヨリ來ルベキ損失ヲ養蠶家ノミニ轉嫁セシメザル爲メ絲價安定委員會及繭價協定委員會ノ運用並産繭處理統制組合ノ機能ヲ發揮セシムルニ遺憾ナキヲ期スベシ

一 政府ハ速ニ普通蠶種ノ國家管理並桑園ノ調整ニ關スル適切ナル方策ヲ樹立スベシ

一 國用生絲需要増進ノ爲品位ノ向上ト取引ノ公正ヲ期スルハ極メテ緊要ナリ仍テ政府ハ國用生絲検査所ノ普及ニ對シ助成ノ途ヲ講ズベシ

報告書

一 絲價安定施設特別會計法案(政府提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十二年三月十二日

委員長 紫安新九郎

衆議院議長富田幸次郎殿

(紫安新九郎君登壇)

○紫安新九郎君 諸君、只今上程セラレマシタル絲價安定施設法案及ビ絲價安定施設特別會計法案ノ委員會ニ於ケル經過並ニ結果ヲ一括御報告致シマス

本案ハ我が蠶絲對策ノ核心ヲ成ス絲價安定ニ關スル施設デアリマシテ、其手段トシテハ、製絲業者ヲシテ絲價安定施設組合ヲ作ラセ、其組合ヲシテ生絲ノ賣買又ハ共同保管ヲ行ハシメル、而シテ政府ハ其組合ノ

施設ヲ援助スル爲ニ、政府ガ現在持ッテ居ル所ノ五万俵ノ生絲ト、更ニ七千万圓ノ資金融通ノ途ヲ講ジテ、絲價ノ異常ナル高値ヲ抑ヘテ、需要ノ減退ヲ防ギ、他方ニ於テハ異常ナル安値ヲ喰止メテ、生産機構ノ破壊ヲ防止セントスルノデアリマス、隨テ頗ル廣汎且ツ強力ナル統制ガ企圖サレテ居リマス、委員會ニ於テハ熱心ニ且ツ慎重ニ審議致シマシタ、其中ニ於テ議論ノ焦點トナリマシタルモノハ施設法案第十一條デアリマス、第十一條ニ依レバ、生絲ノ買入價格ヲ決定スルニ當リテ、生絲ノ生産費ハ全額入レテ居ルノニ、繭ノ生産費ノミハ、現金支出ハ全額ナルモ、勞力ナドノ自給費ハ之ヲ一定割合ニ止メテ居ルノハドウ云フ譯デア

アルカ、是ハ製絲業者ニ厚クシ、養蠶家ニ薄クシテ居ルノデアリカト云フノデアリマス、之ニ對スル政府ノ答辯ハ、金錢支出ハ養蠶家ト致シマシテハ現實ニ出シタ金デア

○議長(富田幸次郎君) 討論ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許可致シマス——佐竹晴記君

(佐竹晴記君登壇)

○佐竹晴記君 私ハ本法案ニ反對ヲ致シマス、其要旨ハ第一、養蠶農民ノ立場ニ立チマシテ反對ヲ致シマス、農民ノ最小限度ニ於ケル繭生産費スラ補償サレナイ、本法案ハ結局養蠶農民ヲ犠牲トシテ絲價ノ安定ヲ策スル結果トナリ、歸著スル所、製絲業者保護政策ニ墮スルヲ以テ反對セザルヲ得ナイノデアリマス、第二ハ、本法案ガ企圖致

アルカ、セメテ是ダケ補償シテ貰ヘバ、非常ニ自分等ハ安心ダト云フコトガ、各方面デ盛ニ唱ヘラレテ居タノデ、金錢支出ハ是非補償シタイ、併シ自給費ト云フモノハ、養蠶經營ノ相當ノ部分ヲ占メテ居ルモノデアリマスルカラ、其或ル部分ヲ補償セ

シテ非常時ノ場合ニ一ツノ安全瓣ガアレバ、或ル程度ノ安心ヲ與ヘルト云フ所カラ、此施設ガ出來テ居ルノデアルト云フノデアリマス

而シテ兩案ヲ採決スルニ當リマシテ、民政黨ノ百瀬君、政友會ノ横川君、昭和會ノ青木君ヨリ、斯様ノ附帶決議ガ提出セラレタノデアリマス

ノデアリマスルカラ、其或ル部分ヲ補償セシ難イト云フノデ、ソレニ一定ノ割合ヲ加ヘタノデアアル、隨テドノ程度ニ致セバ養蠶農家トシテ十分ニ補償サレカト云フト、此一定割合ノ加ヘ方如何ニアルノデアアル、本案ノ構成自體ハ決シテ製絲家ヲ保護スル

一 絲價低落ヨリ來ルベキ損失ヲ養蠶家ノミニ轉嫁セシメザル爲メ絲價安定委員會及繭價協定委員會ノ運用並産繭處理統制組合ノ機能ヲ發揮セシムルニ遺憾ナキヲ期スベシ

第一、本法案ノ第十一條ニ於テハ賣渡價格即チ最高價格、及ビ買入價格即チ最低價格決定ノ方法ヲ規定致シテ居リマス、所謂制高制低價格ヲ公定致シマシテ、絲價安定操作ノ基準トナサント致シテ居ルノデアリマス、所ガ此規定中、養蠶農民ニ取リマシテ極メテ重大ナ關係ヲ持ッテ居リマスル繭ノ生産費ニ付テハ、「生産費中ニ於ケル現金支出額ニ自給費ノ一定割合ノ金額ヲ加ヘタルモノ」ト明記致シマシテ、生産

一 政府ハ速ニ普通蠶種ノ國家管理並桑園ノ調整ニ關スル適切ナル方策ヲ樹立スベシ

一 國用生絲需要増進ノ爲品位ノ向上ト取引ノ公正ヲ期スルハ極メテ緊要ナリ仍テ政府ハ國用生絲検査所ノ普及ニ對シ助成ノ途ヲ講ズベシ

以下第一ヨリ其内容ヲ説明致シタイト存ズルノデアリマス

一 國用生絲需要増進ノ爲品位ノ向上ト取引ノ公正ヲ期スルハ極メテ緊要ナリ仍テ政府ハ國用生絲検査所ノ普及ニ對シ助成ノ途ヲ講ズベシ

一 政府ハ速ニ普通蠶種ノ國家管理並桑園ノ調整ニ關スル適切ナル方策ヲ樹立スベシ

第一、本法案ノ第十一條ニ於テハ賣渡價格即チ最高價格、及ビ買入價格即チ最低價格決定ノ方法ヲ規定致シテ居リマス、所謂制高制低價格ヲ公定致シマシテ、絲價安定操作ノ基準トナサント致シテ居ルノデアリマス、所ガ此規定中、養蠶農民ニ取リマシテ極メテ重大ナ關係ヲ持ッテ居リマスル繭ノ生産費ニ付テハ、「生産費中ニ於ケル現金支出額ニ自給費ノ一定割合ノ金額ヲ加ヘタルモノ」ト明記致シマシテ、生産

一 國用生絲需要増進ノ爲品位ノ向上ト取引ノ公正ヲ期スルハ極メテ緊要ナリ仍テ政府ハ國用生絲検査所ノ普及ニ對シ助成ノ途ヲ講ズベシ

一 政府ハ速ニ普通蠶種ノ國家管理並桑園ノ調整ニ關スル適切ナル方策ヲ樹立スベシ

第一、本法案ノ第十一條ニ於テハ賣渡價格即チ最高價格、及ビ買入價格即チ最低價格決定ノ方法ヲ規定致シテ居リマス、所謂制高制低價格ヲ公定致シマシテ、絲價安定操作ノ基準トナサント致シテ居ルノデアリマス、所ガ此規定中、養蠶農民ニ取リマシテ極メテ重大ナ關係ヲ持ッテ居リマスル繭ノ生産費ニ付テハ、「生産費中ニ於ケル現金支出額ニ自給費ノ一定割合ノ金額ヲ加ヘタルモノ」ト明記致シマシテ、生産

一 國用生絲需要増進ノ爲品位ノ向上ト取引ノ公正ヲ期スルハ極メテ緊要ナリ仍テ政府ハ國用生絲検査所ノ普及ニ對シ助成ノ途ヲ講ズベシ

一 政府ハ速ニ普通蠶種ノ國家管理並桑園ノ調整ニ關スル適切ナル方策ヲ樹立スベシ

第一、本法案ノ第十一條ニ於テハ賣渡價格即チ最高價格、及ビ買入價格即チ最低價格決定ノ方法ヲ規定致シテ居リマス、所謂制高制低價格ヲ公定致シマシテ、絲價安定操作ノ基準トナサント致シテ居ルノデアリマス、所ガ此規定中、養蠶農民ニ取リマシテ極メテ重大ナ關係ヲ持ッテ居リマスル繭ノ生産費ニ付テハ、「生産費中ニ於ケル現金支出額ニ自給費ノ一定割合ノ金額ヲ加ヘタルモノ」ト明記致シマシテ、生産

一 國用生絲需要増進ノ爲品位ノ向上ト取引ノ公正ヲ期スルハ極メテ緊要ナリ仍テ政府ハ國用生絲検査所ノ普及ニ對シ助成ノ途ヲ講ズベシ

一 政府ハ速ニ普通蠶種ノ國家管理並桑園ノ調整ニ關スル適切ナル方策ヲ樹立スベシ

第一、本法案ノ第十一條ニ於テハ賣渡價格即チ最高價格、及ビ買入價格即チ最低價格決定ノ方法ヲ規定致シテ居リマス、所謂制高制低價格ヲ公定致シマシテ、絲價安定操作ノ基準トナサント致シテ居ルノデアリマス、所ガ此規定中、養蠶農民ニ取リマシテ極メテ重大ナ關係ヲ持ッテ居リマスル繭ノ生産費ニ付テハ、「生産費中ニ於ケル現金支出額ニ自給費ノ一定割合ノ金額ヲ加ヘタルモノ」ト明記致シマシテ、生産

費全部ノ加算ハ、之ヲシナイト云フコトガ明定サレテ居ルノデアリマス、若シ左ニ相成リマスレバ、此規定ハ養蠶農民ノ最少限度ノ生産費スラ、之ヲ顧慮サレナイコトニナルノデアリマス、更ニ一歩進ンデ之ヲ考ヘマスルノニ、繭ノ生産費ガ一體ドレダケ掛ルカト云フコトハ、實際問題トシテ極メテ困難デアリマス、地理的ニモ違ヒマセウシ、養蠶家一人々々ノ經營方法ニ付テモ相違ヲ來スデアリマセウ、或ハ自作農ト小作農、或ハ桑園ノ工合等ニ依リマシテモ、色々ノ相違ヲ來スデアリマセウ、全國養蠶聯合會調査ニ依リマスレバ、昭和十一年ノ春繭ニ於テ、最低沖繩ニ於テ二圓一錢ニ對シテ、最高長野ノ五圓三十五錢ト云フ、驚クベキ開キヲ示シテ居リマス、農林省ノ實態調査ニ依リマスレバ、昭和九年ノ春秋繭ヲ通ジマシテ、最高愛媛ノ中川村ノ四圓五十四錢四厘ニ對シマシテ、最低埼玉縣中川村ノ一圓九十六錢五厘、其差額實ニ二圓五十七錢九厘ト云フ状態ヲ示シテ居ルノデアリマス、一縣一村ノ相違ニ於テスラ斯ノ如キ大ナル開キガアルト致シマスナラバ、個々ノ養蠶家ノ間ニ於ケル生産費ノ相違ハ測リ知ルベカラザルモノガアルト言ハナクチヤナラヌノデアリマス、ソコデ本案ノ制高制低價格ハ、一體ドノ生産費ヲ基準トシテ之ヲ定メヤウトスルノカ、米ノ生産費ノ如キハ、一石十七圓位カラ四十三圓マデノ間、其中ノ異常ナモノヲ除外致シマシタ平均ヲ取ッテ定メルト云フコトニナッテ居

リマスガ、一體ドノ邊ガ異常デアアルカト云フコトニ付テハ、之ヲ決メル人ノ心持ニ依ッテ變ルノデアッテ、確固タル基準ト云フモノハアリ得ナイノデアリマス、斯ク致シマシテ、先ヅ中間ノ平均價格程度デ、其生産費ヲ定メマシテ、之ヲ基準ト致シマスナラバ、ソレハ以上ノ生産費ヲ要シマシタ農民ニ取リマシテハ、全ク損害ヲ蒙ラザルヲ得ナイノデアリマス、詰リ公定價格ノ基準トナリタル生産費ヨリモ、尙ホ高イ生産費ヲ出シマシタ養蠶農民ハ、其農民ダケガ損ヲスルコトニ依ッテ、大製絲家ノ爲ノ絲價安定ヲナサシメル結果トナリ、結局一部養蠶農民ヲ犠牲ニ供スルコトニ依ッテ、製絲業者ノ生活安定ヲ得セシムルト云フ結果ニナラザラ得ナイノデアリマス(拍手)

更ニ一歩進ンデ考ヘンケレバナラヌノハ、本法案第三十一條ノ生産制限ノ問題デアリマス、政府ハ蠶絲業組合法ニ依リ養蠶團體ニ於ケル自治的生產調節ノミニ期待シテ居ルデアリマセウガ、是ハ恐ラク期待ガ外レルノデハナイカト思フノデアリマス、養蠶農民ノ殆下大部分ガ一定ノ桑園ノ上ニ、長キニ互ッテ耕作ヲ致シマシテ、家族ノ勞力ヲ以テ營マレテ居ル所ノ、所謂家族的經營方法デアアルノデアリマス、繭ノ値段ガ引合ハウト引合ハナイトニ拘リマセズ、養蠶家ハ其養蠶ヲ止メラレナイノガ實情デアアルノデアリマス、而モ他ニ之ニ代ルベキ適當ナ仕事ガナイト致シマシタナラバ、繭ガ農民ニ取ッテ最大ノ現金收入デアリマスル限り、繭

ノ値ガ下ツタカラト云ッテ、養蠶ヲ止メラレナイノミカ、却テ餘計ニ飼育致シマシテ、其損害ヲ埋合セヤウト致シマスノハ、農民通常ノ心理デアアルノデアリマス、隨ヒマシテ本法案ニ於ケル、最低價格決定ノ基準タル生産費ヨリモ、尙ホ高イ生産費ヲ支出致シタ農民、或ハ生産制限ニ伴ヒマシテ、其仕事ヨリ離レナケレバナラヌ農民ノ損失ヲ補償スルノ制度ヲ立テ、最小限度ノ農民生活ヲ安定セシムルノデナケレバ、農民ハ徒ニ本法案ノ犠牲者トナルモノト言ハナケレバナラナイノデアリマス、獨逸ノ「ナチス」ニ於テハ、農業ハ全然公益事業デアアル、營利事業デナイ、隨テ農民ノ生活維持ハ、國家ガ義務トシテ之ヲ負擔スベキモノデアアルト云フ、確固タル「イデオロギー」ノ上ニ立ッテ居ルト云フコトデアリマス、洵ニ私共ハ左様アルベキモノデアアルト思フ、然ルニ我國養蠶農民ハドウデゴザイマセウ、曩ニ產繭處理統制法ガ制定サレマスルヤ、相當救ハレルモノト思ッテ居リマシタガ、却テ逆ニ苦シメラレツ、アルノ状態デアリマス、乾繭貯藏ノ便ハ、徒ニ製絲家經營ノミニ安定ニ寄與スル所アルノミナラズ、却テ之ニ依ッテ製絲家ノ負擔致シテ參リマシタ莫大ナル危險ガ、農民ニ轉嫁サレルトコトナッテ、甚シキ苦痛ヲ農民ガ嘗メナクチヤナラヌト云フ状態ニアリマス、今又茲ニ絲價安定施設法ヲ提出致シマシテ、農民ノ犠牲ニ依ッテ絲價安定ヲ期シヨウト致シマスコトハ、一體農民ニ對シテ政府當局

ガ如何ナル認識ヲ持ッテ居ルノカ、養蠶農民ノ生存權確立ト云フコトニ付テ、果シテ正シキ認識ヲ持ッテ居ルノカドウカ、寧ロ私共ハ之ヲ憂ヘザルヲ得ナイノデアリマス、而モ大製絲家ノ經營困難ヲ見マスルヤ、政府ハ曩ニ絲價安定融資補償法ヲ發動セシマシテ、莫大ナル國費ヲ費シマシテ、之ヲ救ツタノデアアル、滿洲ノ曠野ニ赤キ血潮ヲ流シテ第一線ヲ護リタル者ハ誰カ、其大半ハ農民ノ子弟デハナカッタカ、此農民ノ最小限度ノ生活費ヲ保障セザル所ノ本法案ニ對シマシテハ、眞向カラ反對セザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)

第二ニ、本法案ノ實施ニ依リマシテハ、絲價安定ハ斷ジテ望マレ得ナイト考ヘルノデアリマス、絲價ノ統制ハ、學者ノ中ニハ絲價ヲ統制サヘスルナラバ、直チニ絲價ガ安定スルモノト即斷ヲ致シマス向キガアルヤウデアリマス、本法案モ正シク其精神ヲ承ケテ居ルデヤナイカト見ル、併シ私ハ是ハ絕對ニ誤リデアアルト思フ、絲價ノ安定ハ、之ヲ長期ニ互ルモノト、短期ニ現レルモノト、二ツノ方面ヨリ觀察スルコトヲ要スルト思フノデアリマス、先ヅ長期ニ互ルモノニ付テ之ヲ考ヘマスルノニ、我國蠶絲業其モノニ基因スルモノト、人絹トノ關係ニ於ケルモノ、及ビ貨幣價值ノ異常ナル騰貴ニ關係致シマスモノトヲ指摘セザルヲ得ナイノデアリマス、御承知ノ如ク我國蠶絲業ハ、先ヅ養蠶農民ニ於テ永久的設備ヲ致シマシタ桑園ノ上ニ立ッテ居リ、損得ニ拘ラズ

ノ如何ナル認識ヲ持ッテ居ルノカ、養蠶農民ノ生存權確立ト云フコトニ付テ、果シテ正シキ認識ヲ持ッテ居ルノカドウカ、寧ロ私共ハ之ヲ憂ヘザルヲ得ナイノデアリマス、而モ大製絲家ノ經營困難ヲ見マスルヤ、政府ハ曩ニ絲價安定融資補償法ヲ發動セシマシテ、莫大ナル國費ヲ費シマシテ、之ヲ救ツタノデアアル、滿洲ノ曠野ニ赤キ血潮ヲ流シテ第一線ヲ護リタル者ハ誰カ、其大半ハ農民ノ子弟デハナカッタカ、此農民ノ最小限度ノ生活費ヲ保障セザル所ノ本法案ニ對シマシテハ、眞向カラ反對セザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)

第二ニ、本法案ノ實施ニ依リマシテハ、絲價安定ハ斷ジテ望マレ得ナイト考ヘルノデアリマス、絲價ノ統制ハ、學者ノ中ニハ絲價ヲ統制サヘスルナラバ、直チニ絲價ガ安定スルモノト即斷ヲ致シマス向キガアルヤウデアリマス、本法案モ正シク其精神ヲ承ケテ居ルデヤナイカト見ル、併シ私ハ是ハ絕對ニ誤リデアアルト思フ、絲價ノ安定ハ、之ヲ長期ニ互ルモノト、短期ニ現レルモノト、二ツノ方面ヨリ觀察スルコトヲ要スルト思フノデアリマス、先ヅ長期ニ互ルモノニ付テ之ヲ考ヘマスルノニ、我國蠶絲業其モノニ基因スルモノト、人絹トノ關係ニ於ケルモノ、及ビ貨幣價值ノ異常ナル騰貴ニ關係致シマスモノトヲ指摘セザルヲ得ナイノデアリマス、御承知ノ如ク我國蠶絲業ハ、先ヅ養蠶農民ニ於テ永久的設備ヲ致シマシタ桑園ノ上ニ立ッテ居リ、損得ニ拘ラズ

他ニ轉業ヲスルコトヲ許サナイ運命付ケラレタ下ニアリマスル爲ニ、更ニ其生産致シマシタ生絲ハ、殆ド其全部ガ米國一箇國ニ對スル宿命的輸出ニ依ラナケレバナラナイ状態ニ置カレテ居リマス關係上、此生絲ノ不安ガ是ヨリ發スルモノト言ハザルヲ得ナイノデアリマス、若シ繭ニ代作物ガアツテ、安イ時ニハ他ノ仕事ニ轉ジ、高イ時ニハ何時デモ増産スルコトガ出來、又生絲モ米國ガ安ケレバ他ノ國ニ向ツテ、何時デモ輸出ガ出來ルト云フコトデゴザイマスナラバ、絲價ハ必ズヤ安定スルデアリマセウ、此自由ナキ所ニ絲價ノ不安ガアルト思フノデアリマス(然リノ「ト呼フ者アリ」此根本的蠶絲機構ノ改善ガ行ハレナイ限り、斷ジテ絲價ノ安定ハ期シ得ラレナイト思フ、若シ無統制ガ幾分ナリト絲價不安ニ影響スルモノガアリト致シマスナラバ、ソレハホンノ枝葉末節ノコトデアルト思フノデアリマス

次ニ人絹ノ關係デアリマス、人絹ハ最近目覺シキ進出ヲ致シテ居リマスコト、實ニ驚クバカリデアリマシテ、其量的ノ膨脹ハ、大正十一年ニ比シテ昭和七年ニハ五倍ニ達シ、其價格ハ又次第ニ低落ヲ致シマシテ、驚クベキ状態ヲ示シテ居ル、即チ恐慌以前ニ於ケル百封度ニ對シ百圓ノモノガ、最近五十圓程度ヲ生産サレル有様デアアル、更ニ品質ハ非常ナ改良ヲ來シマシテ、天然絹絲ヲ摩スル所ノ高級ノモノモ、次第ニ生産サレツ、アル状態デアリマス、此人絹ニ壓セラレマシテ、今日ノ絲價不安ヲ來シテ居リ

マスコトハ、餘リニモ明白ナ事實デアツテ、此不安ハ決シテ蠶絲家ノ統制ニ依ツテ防ギ得ラルベキ性質ノモノデハナイノデアリマス、敍上ノ原因ノ外、貨幣價值ノ異常ナル騰貴、繭生絲生産ノ増加等々、相俟ツテ絲價不安ノ状態ヲ惹起シテ居ルモノト致シマスナラバ、本法案ノ如キ統制方法ニ依ツテ、其窮狀ヲ救ヒ得ルモノトハ斷ジテ考ヘ得ナイノデアリマス

「シルク」、是等財閥ノ行動ヲ規律スルコトナクシテ絲價安定ヲ、生絲ノ價格安定ヲ期セントスルガ如キハ全く木ニ縁ツテ魚ヲ求ムルニ等シイモノナリト論斷セザルヲ得ナイノデアリマス、敍上有ユル方面ヨリ觀察致シマシテ、本法案ガ企圖致シマスル所ノ絲價安定ノ如キハ、全く机上ノ空論トシテ斷乎反對ヲセザルヲ得ナイノデアリマス、更ニ第三、進ンデ本法案ノ實施ハ早晚行詰リヲ來ス虞ガアリマス、又其期セントスル所ノ絲價統制ハ、種々ノ弊害ヲ惹起スル危険ガ多分ニアリマスノデ、以下之ヲ申上ゲマシテ反對セントスル者デアアル、先ヅ其一ツハ、本案ノ眼目デゴザイマス所ノ第十三條、第十四條、第十五條ノ所謂「ストック」政策ニ依リマシテ、制高制低絲價操作ヲシヨウト致シテ居リマスガ、果シテ是ガ行詰リナクシテ遂行サレバデアリマセウカ、政府ガ或量ノ生絲ヲ買上ゲマシテ、一定價格ニ達スル時ハ、直チニ賣出ヲシヨウト云フ姿勢ノ下ニ、市場ヲ監視致シテ居リマス時ニハ、生絲ノ市價ハ到底賣出價格ヲ抜クコトノ出來ナイト云フコトハ、是ハ事實ガ證明シテ餘リアルノデアリマス、サウナルト致シマス、生絲ヲ買上ゲル機會ハゴザイマシテモ、之ヲ賣出ス機會ト云フモノハ、容易ニ廻ツテ來ナイノデアリマス、過去ノ共同保管ヤ滯貨生絲ノ苦キ經驗ガ、イヤニナル程此事實ヲ證明シテ餘リアルノデアリマセウカ、其結果政府ガ買上資金ニ行詰リマシテ、又價格ノ壓迫ノ點デ以テ蹉跌ヲ來

次ニ短期ノ絲價變動ノ關係ヨリ之ヲ觀察致シマスノニ、絲價構成ノ波動ハ、其道ノ人ノ深キ研究ノ結果ヲ發表セラレタ所ニ依リマスレバ、次ノ通りニナツテ居ルノデアリマス、即チ月別變動ヲ統計學ニ言フ多元相關係數ノ公式ニ依ツテ之ヲ示シマスナラバ、内地絲價ハ、「イクオール」一〇八九内

地一般物價、「プラス」〇・二八五九紐育對日物價、「プラス」〇・二三二四生絲需要指數ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、要スルニ絲價ノ變動ハ、其八割五分マデガ内地物價、對日爲替、紐育物價、生絲ノ内外市場各月ノ供給高及ビ賣行高ニ依ツテ決定サレマシテ、無統制ガ絲價不安ノ原因ト見マスナラバ、是ハ全く机上ノ空論デアリマシテ、無統制ガ絲價不安ニ影響アルト致シマスナラバ、ソレハ一割五分ノ中、マダ其幾分ノ一ニモ當ラナイト云フコトガ實證サレテ居ルノデアリマス、果シテ然リト致シマスナラバ、絲價ノ安定ハ敍上ノ諸原因ノ中ノ惡イ條件ヲ取

除クト云フコトガ、極メテ必要デアリマス、此中内地物價即チ圓ノ對内價值、紐育物價即チ弗ノ對内價值、爲替即チ圓ノ對外價值ノ安定ガ、容易ニ之ヲ得ラレナイモノト致シマシテモ、需給ノ數量的變化ダケデモ安定サセル工作ガ、急務中ノ急務デアアルト思フノデアリマス、然ルニ何ゾヤ本法案ニ於キマシテハ、販賣統制ヲ除外シテ居ルデハアリマセウカ、本法案ノ第九條ニ於キマシテ、輸出生絲間屋及ビ生絲輸出業者ハ任意加入トスルコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、所ガ此間屋、輸出業者ノ加入ハ望マレナイノデアリマス、曩ニ政府ガ輸出生絲ノ販賣統制機關ト致シマシテ、輸出生絲ノ共同金庫ヲ設置致シマシテ、輸出生絲取引ニ於ケル制高制低價格ノ設定ヲ目論ミマシタガ、當業者ヨリ絶對反對ノ聲ガ起リマシテ、遂ニ名稱モ輸出生絲取引法ト改メ、共同金庫ノ制度ヲ削除シタデアリマセウカ、又岡田内閣當時ニ於テ、二千六百萬圓ト云フ經費ヲ豫算ニ計上致シマシテ、蠶絲業更生計畫ヲ樹立セント致シマシタ時ニ、輸出商、問屋、取引所ハ此價格安定施設タル販賣統制ノ制度ニ、強烈ナル反對ヲ唱ヘタデアリマセウカ、今日問屋、輸出業者ハ生絲取引ノ重要ナル機關デアリマシテ、殊ニ生絲輸出商ハ日本蠶絲業ノ最高ノ支配者デアルト云ツテ差支ナイノデアリマス、彼等ノ一舉手一投足ハ忽チニシテ絲價ノ變動ニ、生絲ノ價格ノ變動ニ影響ガアルノデアリマス、日本輸出ノ七割以上ヲ占メテ居リマスル三菱系ノ日本生絲、三井物産及ビ旭

除クト云フコトガ、極メテ必要デアリマス

除クト云フコトガ、極メテ必要デアリマス

除クト云フコトガ、極メテ必要デアリマス

除クト云フコトガ、極メテ必要デアリマス

シマシテ、必ズヤ重大ナル難關ニブツカ
ルノデハナカラウカト、私共ハ憂ヘザルヲ
得ナイノデアリマス、其二ハ、政府ガ手持生
絲ヲ何時デモ賣出スゾト云フ姿勢ヲ以テ市
場ヲ睨ンデ居リマス時ニハ、結局低値政策、
絲價引下政策ニ陥ルノ結果ニナルデアラウ
ト私共ハ憂ヘル者デアリマス、其三ハ、其
結果ハ更ニ進ンデ生産制限ニ依リマシテ、
絲價ノ騰貴ヲ目論ムコトニナルカモ分リ
マセヌガ、若シサウデモナリマセウモノナ
ラバ、農民ノ立場ヲ如何ニスベキカ、冒頭
申上ゲマシタ農民福利ノ爲ニ、又考ヘ及バ
ザルヲ得ナイノデアリマス、養蠶農民ニ對シ
マシテ生産制限ニ依ル損失補償ヲ爲シマセ
ヌ限リ、之ヲ實行スルコトハ不可能デア
ル、之ヲ斷行シヨウト致シマスコトハ、ソレハ
農民ノ血ヲ啜リ、骨ヲシヤブツテ、生絲安定
ニ資スルノ結果ニ外ナラヌト私ハ思フノデ
アル、茲ニ本案ノ第三十一條、生産制限ノ規
定ガ、若シモ完全ニ行ハレマシタナラバ、
ソレハ當ニ農民ニ對スル關係ノミデヤゴザ
イマセヌ、我國蠶絲業ニ全面的ニ重大ナル
問題ガ惹キ起ルノデヤナイカト思フ、先ヅ
護謨ノ制限ハ爾領印度其他ノ護謨生産ニ、
或ハ米國ノ護謨再製品ノ發達ニ、甚シキ影
響ヲ與ヘマシタト同ジク、又米國ノ棉花統
制等ノ失敗ニ鑑ミマシテモ、若シモ我國ノ
農業政策ヲ蠶絲業政策ノ都合ニ依リマシテ、
任意ニ生産制限ヲヤツタ時ニハ、支那、伊太
利、露西亞ノ生絲ノ進出ヲ促シ、重大ナル
結果ヲ生ズルデハナイカト私ハ思フノデ

アリマス、現ニ私ノ手許ヘ届イテ居リマス
蠶絲學報一月號、木暮農學博士ノ支那蠶絲
業發達ノ狀況ニ關スル論說ヲ精讀致シマス
ル時ニ、一層其感ヲ深ウセザルヲ得ナイノ
デアリマス
以上各方面ヨリ觀察致シマシテ、本法案
ハ之ヲ制定スルコトニ依ッテ、農民ノ生活
ヲシテ却テ不安定ヲシムルデハナイカ、
又害ガナケレバ宜イノデアリマスガ、將來
ヘノ害毒ニ付テ甚シキ危險ヲ伴ヒマスコト
敍上ノ通りデアリマスノデ、私ハ本法案ニ
對シマシテ、絶對反對ノ意思ヲ表示スル者
デゴザイマス(拍手)

○議長(富田幸次郎君) 最上政三君
(最上政三君登壇)
○最上政三君 私ハ只今上程ノ絲價安定施
設法案竝ニ同特別法案ニ對シ、委員長ノ報
告ヲ認メ、之ニ賛成ノ意ヲ表スル者デアリ
マス、以下聊カ其趣旨ヲ述ベタイト思ヒマ
ス、最近我國ノ製絲界ハ人絹ノ進出ト海外
ニ於ケル經濟關係、竝ニ問屋筋ノ困惑等ニ
依ッテ、絲價ハ屢、動搖シテ居ルノデアリ
マス、其結果製絲家竝ニ養蠶家ノ打撃ヲ蒙
ルコトハ甚大デアリマス、昨年本議場ニ於
テモ輸出生絲販賣統制ニ關聯シテ、重大ナ
ル附帶決議ヲ付議シタコトハ御承知ノ通り
デアリマス、是ガ爲カ政府ハ今回此絲價安
定施設法案ヲ提出シ、平時ニ於テ豫メ暴騰
落ニ對スル對策ヲ講ジヨウトスルコトニ相
成ツタノデアリマス、絲價ノ安定ニ關スル
政府ノ施設ハ、之ヲ遠ク彼ノ第一次帝蠶會

社ノ設立ヲ初メトシ、其後生絲共同保管資
金ノ融通デアルトカ、或ハ絲價安定融資補
償法竝ニ同擔保生絲買收法等ガ公布サレ、
又最近ニ於テハ原蠶種ノ國家管理法案又ハ
產繭處理統制法案ガ當議場ニ於テ可決シタ
コトハ御承知ノ如クデアリマス

元來絲價ノ變動ハ國內ノ事情ヨリカ、
對外的ノ經濟關係ニ負フコトガ多イノデア
リマス、第一次帝蠶會社ノ設立當時ニ於テ
ハ、彼ノ歐洲大戰勃發前後ノ米國ニ於ケル
經濟界ノ不況ガ、其因ヲ成シテ居ルノデア
リマス、又第二次帝蠶會社ノ設立當時ハ、
歐洲大戰後ノ世界ノ不況ガ其因ヲ成シテ居
ルノデア
ル、其後ニ於ケル絲價ノ變動ハ、
何レモ外國ニ於ケル經濟事情ガ其因ヲ成シ
テ居ルコトハ明デア
ルノデアリマス、之ヲ
昭和五年當時ノ情勢ヲ見レバ如何デアリマ
セウ、昭和五年五月ニ於テハ、絲價ハ千二百
圓内外ヲ傳ヘラレテ居
タノデア
ル、然ルニ其
後政府ハ絲價安定融資補償法ヲ布キ、三千
萬圓ノ融資補償ヲ爲
スト共ニ、關係銀行ヨ
リ多額ナル資金ノ融通ヲ爲シ、其他種々ナル
對策ヲ講ジタニモ拘
ラズ、昭和六年ニ於
テハ絲價ハ七百圓トナ
リ、或ハ六百圓トナ
リ、越エテ昭和七年春
ニハ四百圓ヲ割リ、
又繭價モ之ニ追從シ
テ、二圓臺ニナツタ
ト云フコトハ、皆サン
モ御承知デア
リマセウ、是ニ於
テ政府ハ議會ニ擔
保生絲ノ買收法案ヲ
提出シ、是ガ議會
會ノ決定ヲ見ルヤ、
直チニ滯貨生絲十
萬俵ヲ一括買收シ
テ、サウシテ絲價
ノ安定ヲ期シタ
ト云フコトハ、當時
ノ狀

況ヲ見レバ詳カデア
リマス、斯ノ如ク絲
價ハ米價トハ異リ、
國內ノ事情ニ依リ
動搖スルコトハ少
イノデアリマス、
米ハ國內ニ於テ
生産シ、又國內
ニ於テ消費スル
モノデア
ルカラ、其調節
モ自由デア
リ、又可能デア
リマセウ、然ル
ニ絲價ハサウ
云フヤウナ關係
ハ甚ダ薄イノ
デアリマス、
隨テ歷代政府ノ
苦心スル所ハ
此點デア
リマス

緒テ本施設法案ノ内容ヲ見
マスルニ、政府ハ製絲業者ヲシテ強制的ニ絲價安定施設
組合ヲ組織セシメ、又輸出生絲業者竝ニ本
法施行地以外ノ製絲業者ヲモ、組合員タル
コトガ出來ルト云フ規定ヲ立案シタノデア
リマス又此組合ハ豫メ政府ノ定メタ最高最
低ノ値段ノ範圍ニ於テ、有事ノ際ニ生絲ノ
賣渡又ハ買入ヲ爲ス機關ヲ成スモノデア
リマス、其他組合員ノ製絲ノ共同保管デア
ルトカ、組合ノ事業ニ關スル統制デア
ルトカ、組合員ノ事業改善ニ關スル施設等ヲ兼
ネ行フノ機關デア
リマス、茲ニ多少ノ問題
トスベキハ、只今社會大衆黨ノ佐竹君モ其
點ニ付テ述ベラ
レタノデア
リマスガ、此賣
渡又ハ買入價格ノ點
デア
リマス、本案ニ依
レバ、主務大臣ハ
第十一條ノ規定ニ
依リ價格ヲ定
メ、絲價委員會
ニ諮問スルコト
ニナツテ居
リマス、即チ第十
一條ニハ「勅令ノ
定ムル所ニ依リ
競争纖維ノ價格、
繭生産費中ニ於
ケル現金支出額
ニ自給費ノ一定
割合ノ金額ヲ加
ヘタルモノ及生
絲ノ製造販賣ニ
要スル費用竝ニ
物價其他ノ經濟
事情ヲ參酌シテ
主務大臣之ヲ定
ム」トアリマス、
本條文

ハ用語甚ダ煩瑣デアリ、隨テ多少誤解サレ易キ點ガアルノデアリマス、委員會ニ於テモ此點ニ付テ種々ナル質問ガアリマシタ、特ニ篠原委員ノ如キハ、此問題ニ付テハ相當政府ニ力説シタノデアリマス、吾々モ此問題ニ付テ大イニ政府ノ所信ニ付テ質ス所ガアツタガ、政府當局ニ於テハ之ニ對シテ種種辯明シタ結果、其事情ヲ諒トシ之ヲ認メルコトト致シタノデアリマス、唯繭ノ生産費ノ算出方法ニ付テハ、後段ニ於テ多少述べタイト考ヘルノデアリマス

尙ホ組合ノ理事及ビ副理事ノ選任、竝ニ絲價安定委員會ノ委員ノ任命ニ付テデアリマス、從來此種ノ選任又ハ任命ハ、兎角官僚主義ニ依リ人選スル嫌ヒガアツタノデアリマス、今回ハ此弊風ヲ矯メ、各方面ノ有爲ナル人材ヲ網羅スルコトガ必要デアアル、例ヘバ理事長、副理事長ノ如キモ官僚出身者バカリヲ選バズ、時代ニ適應シタル新鮮味ヲ帶ビタ人選ヲ爲スコトガ適當デアルト思フ、又絲價委員會ノ如キモ、官吏トカ學識經驗者バカリデナク、製絲業者ハ勿論デアリマスガ、吾々ノ要望スル所ハ、養蠶農民ノ代表ヲ是非トモ加ヘナケレバナラヌト強く主張スルノデアリマス、次ニ政府ハ是方達成ノ爲メ、絲價安定ノ施設特別法案ヲ茲ニ提出致シマシタ、其内容ハ運用資金最高七千万圓ト共ニ、買収法ニ依ッテ買入レタル滞荷生絲ノ残りノ五万俵ヲ、同會計ニ引繼グコトトナツタノデアリマス、吾々ハ此金額ヲ以テ、我國蠶絲對策トシテハ、甚ダ其金額ノ

少イコトヲ憾ムノデアリマス、併ナガラ一面我國ノ財政状態ヲ見ルニ、今ヤ非常ニ行詰ツテ居ルノデアリマス、故ニ已ムヲ得ズ此額ヲ承認スルノデアリマスガ、政府ハ其運用ニ當ツテハ、此範圍内ニ於テ適切有效ナル施設ヲナサレシコトヲ、此際特ニ政府ニ要求スル者デアリマス、同時ニ養蠶家ノ爲ニモ、私ハ政府ノ一考ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス、最近政府ノ施設ヲ見ルト、ドウモ製絲家ニ厚クシテ養蠶家ニ輕キ感ヲ懷クノデアリマス

斯ク申シタトテ私ハ本案ニ決シテ反對スルノデアリマセス、唯十二年度豫算案ノ内容ヲ見マスト、産繭處理統制施設費ニ於テモ相當削減サレテ居リマス、又桑園ノ整理改植助成費ニ付テモ相當削減サレテ居リマス、是等ヲ以テシテモ、政府ノ養蠶農民ニ對スル態度ハ、甚ダ冷淡デアルコトヲ、窺フニ足ルノデアリマス(拍手)此點ニ付テハ、吾黨ヨリノ希望條件トシテ委員會ニ於テ之ヲ決定致シマシタガ、即チ絲價ノ下落ニ依ッテ養蠶家ニ損害ヲ與ヘザルヤウ最善ノ努力ヲナスベク、茲ニ改メテ政府ニ警告ヲ致スモノデアリマス、尙ホ絲價安定策トシテハ色々アリマス、其一ハ、生産ノ統制デアリマス、是ハ先ヅ桑園ノ整理調整ガ目下ノ場合急務デアルト考ヘルノデアリマス、一部ニ於テハ、生絲又ハ蠶種ニ依リ調整スベシトノ意見モアリマスガ、勿論其方法モ一ツデアリマセウ、併ナガラ我國ノ桑園ヲ全國的ニ之ヲ整理スルニ於テハ、現在ノ養蠶農民ノ蒙ル損失ハ相當輕減サレルノデアリマス、

唯其ヤリ方ニ付テ私ハ一言シタイ、政府ハ宜シク主要養蠶地ト然ラザル土地ニ付テ相當考慮ヲ拂ツテ、適切ナル對策ヲ講ゼラレンコトヲ希望シタイノデアリマス、更ニ生絲ノ需要増進ヲ圖ル爲メ積極的手段ヲ執ツテ貫ヒタイコトデアリマス、聞ク所ニ依レバ政府ハ、最近當業者ヲシテ米國其他ニ對シテ販路擴張ヲ爲シツ、アルト云フコトデアリマス、勿論現在供給シテ居ル米國方面ニ對シテ、是方販路擴張ヲスルノハ當然デアリマスガ、私ハ更ニ新販路開拓ニ付テ善處セラレンコトヲ要望スルノデアリマス、即チ彼ノ歐洲方面トカ、或ハ南米方面ニ對シ相當宣傳ヲ爲シ、益、我國ノ生絲ヲ各方面ニ輸出スルヤウ對策ヲ執ラレンコトヲ政府ニ希望スルノデアリマス

ソレト同時ニ國內ノ需要ニ對シテモ、一段ノ考慮ヲ拂ツテ戴キタイト思フノデアリマス、今日國內ニ於テハ僅ニ生絲ヲ織物ニシテ居ル位デスガ、更ニ多クノ織物ヲ産出シ、サウシテ内地ノ需要ニ供スルト共ニ、海外ニモ其織物ノ輸出ヲ獎勵スベキデアリマス、ソレニハ國內ノ生絲需要者ニ對シ製絲ノ品位ト重量ニ付テ安心ヲ與ヘナケレバナラヌノデアリマス、即チ國用生絲ニ對シテモ、輸出生絲同様ニ検査ヲスルコトガ必要デアアル、現在國用生絲ノ検査所ハ福井、石川、京都ノ三縣シカアリマセス、而モ其規模ハ小サク、又費用モ不十分デアリマス、故ニ私ハ此設備ヲ改善スルト共ニ、他ノ主要織物地ニ對シテハ、是非共此検査所ヲ新設スベキデアルト思フノデアリマス、例ヘ

テ申シマスレバ、群馬縣ノ如キハ其最モ必要ヲ感じテ居ル縣デアリマス、又昨今問題トナツテ居ルノハ、大製絲家ノ兼營スル所ノ蠶種製造ト、中小蠶種業者ノ對立デアリマス、此事ハ自由經濟主義ノ今日ニ於テハ已ムヲ得ナイトハ言ヘ、我國ノ中小蠶種業者ガ我方蠶絲界ニ貢獻シタコトハ多大ナルモノガアリマス、我國ノ生絲ガ其品質ニ於テ世界ニ誇リ得ルモノハ、彼ノ四千五百人ノ蠶種業者ニ與ッテ力ガアルモノト申シテ差支ナイノデアリマス、而シテ彼等ハ今日ノ如キ優良蠶種ヲ得ルマデニハ、有ユル苦心慘憺ヲシ、大キナ犠牲ヲ拂ハレタコトハ事實デアリマス、然ルニ昨今は等蠶種業者ハドウデアリマセウカ、大製絲家ノ蠶種製造ニ壓迫サレ、其生活權ガ奪ハレントスル情勢ニアルノデアリマス、其結果勢ヒ販賣上ノ競争トナリ、過剩蠶種ノ製造トナリ、品種ノ下落ヲモ來シテ居ルコトハ政府ノ能ク知ラル、所デアリマス、此見地カラシテモ、普通蠶種ノ國家管理ヲ必要トスルモノデ、輿論モ亦茲ニ一致シテ居ルノデアリマス、政府ハ宜シク速ニ此對策ヲ講ゼラルベキデアリマス、我黨ニ於テハ此點ヲ留意シテ、委員會ニ於テソレヲ希望條件トシテ附シタ次第デアリマス

以上ハ大體我黨ノ本案ニ對スル賛成ノ趣旨デアリマスガ、私ハ此場合以下聊カ大衆黨ノ本案ニ對スル反對意見ニ付テ、其所信ヲ述ベテ見タイト思フノデアリマス、只今大衆黨ヲ代表シテ此處ニ登壇セラレタ佐竹君ガ種々反對説ヲ述ベラレタガ、此案ニ於

ケル十一條ニ付テ申上ゲルナラバ、生産費ヲ補償シテ居ラナイカノ如キ説ガアルノデアリマス

〔議長退席、副議長著席〕

私ハ此問題ハ先ニ申シタ如ク、多少條文ガ煩瑣デアツテ、吾々ガ誤解シ易キ點モアルノデアリマス、即チ繭ノ生産費中ニ於ケル現金支出ニ自給費ノ一定割合ヲ云々トシテアルナドソレデアリマス、之ヲ見ルト繭ノ生産費ハ、其中ノ一定割合ノ金額ヲ差引イテ計算シ、又製絲家ノ生産費ハ、此差引ヲ見込マザルト云フヤウナ點デアルノデアリマス、此點ニ付テハ私モ先申ス如ク、養蠶家ニ對シ甚ダ薄イ所ノ政策デアルト思フノデアリマスガ、併ナガラ是ハ養蠶家ト製絲家トノ間ニ於ケル繭ノ取引ノ關係スル所デハナイノデアリマス、政府ハ之ニ依ツテ豫メ、十一條ニ依ツテ豫メ最高最低値段ヲ作り、生絲ノ暴落スルト云フヤウナ場合ニ於テ、是ガ發動スルト云フ意味デアリマスカラ、之ヲ以テ直チニ製絲家ガ養蠶家カラ繭ヲ買入レル金額ト見ルコトハ、甚ダ間違ッテ居ル見解ト思ハレマス、殊ニ此絲價ハ先ニモ申シタ如ク、外國ノ經濟事情ニ依ツテ左右サレルノデアリマスシ、又人絹ノ發達ニ依ツテモ影響スルノデアルカラ、此問題ニ付テ吾々ハ相當研究シナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ政府委員ノ答辯ニ依ツテ見マスルト、此十一條中ノ即チ現金支出ト自給費ノ一定割合ト云フ項ヲ除クニ於テハ、或ハ恐ル、此法ノ發動ニ依ツテ絲價ヲ安定スルコトガ出來ナイト云フ虞ガアルノデアリ

マス、吾々ハ此政府ノ言明ヲ是認シテ、サウシテ此案ニ賛成シタノデアリマスガ、例ヘテ申シマスレバ、此案ガ假ニ佐竹君ノ言フガ如ク、現在我國ノ蠶絲業ニ取ツテ宜クナイ案デアアル、宜クナイ案デアルト申シテモ、之ヲ立法化スルコトニ依ツテ、多少デモ地方ノ養蠶家竝ニ製絲家ガ、是ノ恩典ニ與ルト云フ場合ニ於テ、此法案ヲ否決スルヨリモマシデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、之ヲ具體的ニ申セバ、此案ニ關係ナク申上ゲルノデスガ、往年普通選舉案ガ此議場ニ付議サレタ、ソレハ大正十四年ノ、第五十議會デアリマス、此普通選舉案ニ對シテハ私ハ今尙ホ満足ハ致シテ居リマセス、或ハ比例代表制デアルトカ、或ハ年齢ノ低下デアルト云フ點ニ於テ、今日デサハ私ハ之ニ賛成シテ居ラナイノデアリマス、然ルニ其當時ノ事情ニ於テハ、斯ル不徹底ノ普通選舉デアアルガ、之ヲ通過セシメナケレバナラヌト云フヤウナ事情ニ立至ッタノデアリマス、其結果我ガ議會ハドウデアアルカ、今日反對スル所ノ大衆黨ノ諸君モ、此普通選舉案ガ通過シタカラ堂々ト當選シテ來テ、サウシテ自己ノ所信ヲ天下ニ發表シ得ル機會ガ與ヘラレタデハナイカ、本案ニ對スル態度モ是ト同ジデアリマス、吾々ハ此法案ハ餘リ理想的デハナイガ、併シ第一歩トシテ此案ニ賛成スルト云フ次第デアリマス、其他佐竹君ノ御意見等モアリマシタガ、私ハ以上ヲ以テ佐竹君ニ對スル反對ノ意思ヲ表スルモノデアリマス

提案セル農村關係法律案ハ、本案ヲ初メトシ、漁船保險法案、森林保險法案等ガアルガ、是等ハ何レモ部分的ノモノデアリマス、又負債整理組合法ニ關聯スル法律案モ提出サレマシタガ、之ニ依ツテ能ク四十餘億ノ農村ノ負債ガ整理サレルト云フコトヲ、考ヘラレナイノデアリマス、故ニ私ハ庶政一新ヲ標榜スル林内閣ノ治下ニ於テハ、今一段農村問題ニ對シテ眞劍味ガアツテ欲シイノデアリマス、此時偶ハ外電ハ米國ニ於ケル新農村政策ノ事實ト、全米農村會議ノ開催ヲ報道シテ居リマス、又曩ニハ農業調整法ヲ實施シ、農村ノ負債ヲ整理スルト共ニ、生産統制、價格ノ吊上策ヲ執ツタコトハ御承知ノ如クデアリマス、其成績ノ如何ハ別トシテ、此「ルーズベルト」氏ノ農村對策ハ、全米農民ニ多大ナル衝動ヲ與ヘタコトハ事實デアリマス、故ニ私ハ山崎農相ニ一言セントスルノハ、來議會ニ於テハ全國民ノ爲メ、一大革新農業政策ヲ提出セラレんコトヲ希望シ、本案ニ賛成スルモノデアリマス(拍手)

○副議長(岡田忠彦君) 横川重次君

(横川重次君登壇)

○横川重次君 私ハ只今議題ニナツテ居リマスル絲價安定施設法案、竝ニ絲價安定施設特別會計法案ニ對シマシテ、委員長報告ノ如ク附帶決議三項ヲ附シテ賛成ヲ致スモノデアリマス、尙ホ此法案中ニハ多少不滿ノ點ガアルノデアリマスルガ、是等ヲ檢討致シマシテ、賛成ノ理由ヲ簡單ニ申述ベクイト思ヒマス、生絲ノ價格ノ安定ハ長年朝

野ノ熱望デアリマシテ、昭和六七年來ノ蠶絲恐慌以來、我黨政友會ニ於キマシテモ、熱心ニ是ガ達成ヲ努メテ居リマシタノデ、是ガ爲ニ夙ニ我黨ニ於キマシテハ、原蠶種國家管理、產繭處理統制案及ビ輸出生絲販賣統制ノ蠶絲對策、根本對策ヲ樹立致シマシテ、常ニ議會ニ於キマシテ是ガ達成ニ努力ヲ致シ、政府ヲ指導シ來ツタノデゴザイマス、曩ニ前二案ハ既往ノ議會ニ於キマシテ既ニ成立ヲ致シマシテ、第三ノ輸出生絲販賣統制案ニ付キマシテ、前議會ニ於テ院議トシテ其提出ヲ政府ニ要望シテ居ツタノデアリマスルガ、此販賣統制案ハ、名前ハ統制ト云フ點ニゴザイマスルガ、其内容ハ絲價ノ安定ニアツタノデアリマシテ、今回政府ガ提出致シマシタル絲價安定施設法案ノ目的ト、全ク其趣旨ニ於キマシテ一致スル所デアアルノデゴザイマス、併ナガラ本案ノ成敗ハ、其運用ノ如何ニ依リマシテ決セラレルモノデアリマシテ、而モ具體的ノ決定ハ、殆ド勅令ノ事項ニ委ネラレテアルノデアリマスカラ、其運用ノ宜シキヲ得ザル時ハ、所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイノミナラズ、或ハ暴騰ヲ激成シ、成ハ暴落ニ救急ノ用ヲ爲サザルノ憂ガ多分ニアルノデアリマス

本案ノ要點ハ大體二ツノ點ニ要約セラレルト思フノデアリマス、即チ政府ガ上値ト下値トヲ定メマシテ、此上値ガ出マシタ場合ニハ、政府手持ノ五万捆ノ生絲ヲ、申込ニ應ジマシテ生絲安定施設組合ニ賣渡ヲ爲シテ、上値ヲ超ユル所ノ暴騰ヲ防ギ、又

下値方出タ場合ニ於キマシテハ、其定メラレタル値段ニ於テ、絲價安定施設組合カラ絲ノ買入ヲ爲シマシテ、下値以下ノ暴落ヲ防グト云フ仕組ニナツテ居ルノデアリマス、此爲ニ七千万圓ノ特別會計ヲ立テ、居ルノデアリマス、他ノ一ツノ要點ハ、下値ニ近い値段ニ於テ絲價安定施設組合ニ於テ生絲ノ共同保管ヲ爲シ、或ハ爲サシメマシテ、下値豫防ノ働キヲ爲スト云フ、以上二點ニ要約セラレルノデアリマス、此定メラレマスル上値、即チ賣渡價格、及ビ下値、即チ買入價格ノ定メ方ニ依ッテ、本案ノ生命ガ左右セラレ、ノデアリマシテ、是ガ法案ノ第十一條ニ規定シテアルノデアリマス、法案ノ朗讀ハ省略シマスルガ、凡ソ物價ノ騰落ハ、經濟界全體ノ情勢ニ依ッテ支配セラレル場合ト、商品ソレ自體ノ理由ニ依ッテ左右セラレル場合ト、大體二ツニ大別サレルノデアリマス、第一ノ場合ハ是ハ大體ニ於テ不可抗力的ナモノデアリマシテ、經濟全般ノ對策ニ俟ツ以外ニハ其對策ハナイノデアリマス

茲ニ考ヘラレル問題ト致シマシテハ第二ノ場合デアリマス、此需給關係ニ於テ、大體市場價格ガ定マルノデアリマスルガ、本案ニ於キマシテハ、生絲ノ市場價格ハ上値、下値ノ算定ノ基礎トナツテ居ラナイノデアリマス、米穀統制法ニ於キマシテハ、米價指數ト云フモノガ其計算ノ基礎ヲ成シテ居ルノデアリマスルガ、本案ニ於テハ絲價指數ト云フモノガ全ク取入レテナイノデアリマス、即チ政府ノ謂フ所ノ異常ナル高値ト

申シマスノハ、現行絲價カラノ異常ナル高値ト云フモノヲ意味スルノデハナクシテ、別ニ定メラレマシタ人絹價格ノ三倍乃至四倍ノ點ニ於テ、定メラレマスル所ノ價格ヲ超エルト云フコトニナルノデアリマス、此點ハ全ク人絹ノ價格一本ニ支配セラレル譯ニ相成ツテ居リマシテ、絲價ノ變動ノ他ノ重大ナル要因ハ全ク閉却セラレテ居ルノデアリマス、是ハ洵ニ遺憾、不十分ナ點デアリマシテ、政府ガ政治的考慮ニ或ハ囚ハレマシテ、經濟ノ實際ト論理ト徹底トヲ缺ク憾ミガ多分ニアルノデアリマス、若シ天然絹絲ガ人絹ノ制約ノ下ニアツテ、全ク獨立性ガナイモノデアラナラバ、下値ヲ定ムル場合ニ於テモ、人絹トノ對比ニ於テ定メラルベキデアリマスルガ、併シテサウ云フコトニナリマス、更ニソレハ矛盾ヲ重ネル所以トナルノデアリマスルカラ、左様ナコトハ爲シ得ナイノデアリマシテ、サウ云フ意味カラ申シマスルナラバ、上値ヲ人絹ノミニ依ッテ定メマスルト云フコトガ、即チ矛盾デアルト云フコトニナルノデゴザイマス

更ニ下値ヲ定メマスル場合ハ、繭ノ生産費中ニ於ケル現金支出ハ、是ハ全額計算ノ基礎トスルノデアリマスルガ、其自給費ニ付キマシテハ、其一部ノミヲ採用シテ、全部ヲ取入レテ居ラナイノデアリマス、前段ノ論者モ此點ニ付テ言ウテ居リマスルガ、然ルニ製絲業者ニ對シマシテハ、製造販賣ノ費用ノ全額ヲ計算ノ基礎トシテ取入レテアルノデアリマス、此點法ノ立前ト致シマシテ、洵ニ不正ノ感ガアルノデアリマシ

テ、政府ガ常ニ養蠶家ヲ根幹トシテ蠶絲對策ヲ樹立スルト云フ主張ト背馳スルバカリデハアリマセ、論理上許サレザル所ノ重大ナル矛盾デアルト思フノデアリマス、而モ此法文中ニ於キマシテハ、總テノ要因ヲ參酌スルト云フ文字ガ加ヘラレテアリマスルカラ、必シモ現在ニ於テ政府ノ所信ガ、所謂生産費全額ヲ計算ノ基礎ニ入レルコトニ依リマシテ、制低價段ガ高イ所ニ落著クト云フコトカラ、或ハ増産ヲ誘致スルヤウナ虞ガアルノデヤナイカト云フ御意見ニアルノデアラウナラバ、ソレハ參酌ト云フ文字ニ依リマシテ、寧ロ其下値ニモ決メ得ルノデアリマスルカラシテ、斯様ナ立前カラ致シマスルナラバ、養蠶家ト製絲家トヲ異ナル取扱ニ致シマスル所ノ不正ハ、ドウ致シマシテモ許シ得ナイコト思フノデアリマス、要スルニ此法律ニハ不滿ノ點ヲ多々含ムノデアリマス、而モ是ガ運用ノ如何ニ依リマシテハ、實際絲價ガ既ニ暴落ラシテカラ後ニ發動致シマシテ、六日ノ葛蒲、十日ノ菊ト云フヤウナ、遺憾ナル結果ヲ現ハス虞ガ多々アルノデアリマス、而モ上値ハ人絹價格ニ依ッテ制約セラレテ居ルノデアリマスルカラ、他ノ經濟的要因ノ變化ニ依ッテハ、却テ急激ナル騰貴ヲ誘致スルノ虞モアルノデアリマス、曩ニ絲價安定融資補償法ノ發動ノ場合ニ於キマシテハ、當路者ハ其以前ノ高値ノ記録ニ囚ハレマシテ、國庫ニ多大ノ損失ヲ與ヘタコトニナツテ居リマスガ、今ヤ此法案ニ於キマシテハ、低價ノ記録ニ囚ハレマシテ、十分ナル安定ニ資シ得

ナイ憾ミヲ、ソコニ藏スルノデハナイカト私ハ憂フルモノデアリマス
以上、遺憾ノ點ハ多々アルノデアリマスルガ、是等ハ其運用ニ依ッテ或ハ補足シ得ルモノト考ヘマシテ、又此法案以外ノ新シキ施設ノ加味増設ニ依リマシテ、其全キヲ得ルコトヲ期待致シマシテ、此案ニ贊成ヲ致スモノデアリマスルガ、其爲メ附帶決議三項ヲ附シテ、本案ノ擴充補填ニ充テルベク吾々委員ノ意思ヲ表明シタ次第ゴザイマス

殊ニ附帶決議第二項ニアリマスル「政府ハ速ニ普通蠶種ノ國家管理並桑園ノ調整ニ關スル適切ナル方策ヲ樹立スベシ」此第二項ニ付キマシテハ、所謂生産調節ノ意味スルモノデアリマス、絲價安定ニドウシテモナクテハナラヌ一ツノ要因デアリマシテ、最モ重大ナル關係ガアルノデアリマス、而モ此第二項ノ實現ニ依リマシテ、養蠶農家ノ經濟ヲ向上セシメ、蠶種業ヲ安定スルコトノ、重大ナル約束ヲ含ムモノト思ヒマスノゾ、此點ニ付キマシテハ政府ハ特ニ深キ注意ヲ拂ハレテ、速ニ實現ノ方途ヲ立テラレンコトヲ希望致シマシテ、贊成ノ意思ヲ表示ヲ致ス次第ゴザイマス(拍手)

○副議長(岡田忠彦君) 青木精一君
(青木精一君登壇)
○青木精一君 私ハ只今議題トナツテ居リマスル絲價安定施設法案外一件ニ付キマシテハ、民政黨、政友會、昭和會、三派ノ一致協定ノ下ニ成案シマシタ所ノ附帶決議ヲ附シテ可決スルト云フ、委員長ノ報告ニ贊

成ヲ致ス者デアリマス

只今横川君ノ述ベラレマシク通り、絲價安定策ノ確立ノ要望ハ、多年來ノ重要ナル懸案デゴザイマシテ、蠶絲業關係官民ノ間ニ、久シク論議研究サレテ來タ所ノ問題デアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、又最上君ノ述ベラレタ通り、今日マデ幾多ノ蠶絲業關係ノ立法ガ制定セラレテ參リマシタガ、是等ノ蠶絲業立法モ、畢竟スルニ絲價安定問題解決ヘノ段階的基礎工事ニ過ギナカッタト云フコトガ言ヘルト思フデアリマス、故ニ絲價安定施設法案ノ成立ヲ見ントスルニ當ツテ、初メテ一聯ノ脈絡アル蠶絲業對策ノ大體ノ機構ガ出來上ルノデアルト言フテモ宜シイデアリマス、サレバト言ツテ、本案ヲ以テ必シモ蠶絲業對策ノ最終的ノ立法デアルト申スコトハ勿論出來マセマガ、少クとも重要ナル結論的立法ノ一デアルト云フコトダケハ言ヒ得ルト考ヘルノデゴザイマス

而シテ本案ノ狙フ所ハ、今マデ討論セラレタル所ノ諸君ノ述ベラル、通り、單ニ今マデ唱ヘラレテ居タル所ノ絲價安定ト云フ概念トハ、少シ其内容ト趣ヲ異ニ致シテ居ルノデアリマス、即チ生絲ノ有力ナル競争纖維トシテ、世界的ニ進出シツ、アル所ノ人造絹絲ニ對シテ、將來生絲ノ消費分野ヲ確保シ、且ツ是ガ發展ヲ圖ラントスル所ノ、所謂人絹對策ト云フ所ニ、大キナ國策的ノ特色ヲ把持スルモノデアリマシテ、本案ノ實施ニ依ツテ齋サントスル所ノ效果ニ付テハ、相當大キナ期待ヲ約束付ケルモノトサレテ居

ルノデアリマス

近年纖維工業ノ花形デアアル所ノ人造絹絲ノ目覺シキ發展ニ伴ヒマシテ、我ガ朝野ノ間ニハ、生絲ノ將來性ニ付テ一種ノ悲觀說ヲ唱ヘル者ガアルノデアリマスルガ、私ハ左様ニ悲觀スル必要ハナイト考ヘル者デアリマス、即チ我國ノ輸出生絲五十萬俵ノ中、米國向ケノ生絲四十五萬俵ノ消費分野ヲ檢討シテ見マスルニ、其中約二十五萬俵ハ靴下トカ、「ジャツ」手袋、其他肌著類ノ原料トシテ消費セラレテ居ルノデアリマシテ、是ダケハ他ノ何物ニモ奪ハレザル所ノ不動ノ地盤ヲ確保シテ居ルノデアリマス、唯殘リ二十萬俵ノ需給關係ニ於キマシテ、人絹トノ競争ニ依ツテ、其消費分野ガ爭奪戰線ニ曝サレテ居ルト云フノガ其實情デアリマス

斯様ナ次第デアリマスルカラシテ、生絲ノ將來性ニ付キマシテハ、唯徒ニ悲觀スル必要ハゴザイマセヌ、併ナガラ大イニ警戒的態度ヲ以テマシテ、今後官民協力ヲ致シテ、蠶絲業ノ有ユル角度カラ益、調査研究ヲ進メテ、斯業ノ全面的更新刷新ニ銳意努力ヲ拂ツテ行キマスレバ、人造絹絲トノ競争ニ拮抗シテ、生絲ノ世界的消費分野ヲ維持確保シ、且ツ新販路ノ開拓ヲ期スルコトハ、相當ニ可能性ガアルモノト私ハ信ズル者デアリマス

統制モ、實ニ能ク保タレテ居リマシテ、且ツ生産費ノ低廉ナル點ニ於テモ、一大特異性ヲ發揮シテ居リマスガ故ニ、生絲ヲシテ之ニ對抗セシメテ行クノニハ、蠶絲業ノ狀態ヲ從來ノ如ク投機的經營ニ放任シテ、市場相場ノ異動常ナキガ儘ニ致シテ置イタノデハ、到底人造絹絲ニ對抗シ得ベクモナイデアリマス、其結果ハ好ムト好マザルトニ拘ラス、遂ニハ蠶絲業ノ没落ヲ見ルコトハ、火ヲ賭ルヨリモ明カデアリマス、本案ノ狙ヒ所ハ、即チ此處ニアルノデアリマシテ、私ガ本案ニ於テ大キナ國策的特色ヲ指摘スル所以モ、亦此點ニ存スルノデアリマス

ソコデ本案ノ核心トモ言フベキ點ハ、他ノ諸君カラモ述ベラレマシタガ、生絲ノ賣渡價格及ビ買入價格ノ公定制度ノ下ニ、生絲價格ノ異常ナル騰落ヲ抑制調節シテ、如實ニ價格ノ統制ヲ斷行セントスル所ニアルノデアリマス、此點ハ正ニ斯業ノ最大缺陷ニ向ツテ一大鐵案ヲ下シタモノト言フベキデアリマセウ、吾々ガ本案ニ對シ、昨年制定セラレマシタ所ノ產繭處理法ト相俟ツテ、所謂車ノ兩輪ノ如キ關係ニ於テ贊意ヲ表スル理由モ、此點ニアルノデゴザイマス

併シ具サニ本案ノ内容ヲ檢討シマスルニ、本案ノ骨子タル所謂制高制低ヲ規定スル第十一條ノ條項中、買入價格決定ノ基準ニ付テ、繭ノ生産費ノ全額保障ノ立前ガ採ラレナカッタ爲ニ、繭絲價ノ低落ヲ誘發シ、養蠶農民保護ノ點ニ於テ、大イニ缺クル所ガアルデハナイカト云フ點ニ付キマシテハ、

他ノ諸君ノ熱心ニ論難セラル、通り、相當ノ異論ガアルノデアリマス、此點ニ對シテハ私モ他ノ諸君ト共ニ憂ヲ同ジクシ、頗ル遺憾ニ思フ次第デゴザイマス、今又佐竹君ハ、本案ノ施行ノ結果ハ、却テ生絲ノ値段引下政策ニ墮スルノデハナイカト御懸念ヲサレテ居リマス、是モ頗ル養蠶農民ニ對スル所ノ御親切ナル御考方デアルトハ思ヒマスルガ、此點ニ付キ、又前段述ベマシタ所ノ生産費ノ問題ト共ニ政府ノ辯明ヲ聽キマスルト云フト、是ハ競争纖維トノ關係モアツテ、今後ノ蠶絲業ノ安定ト發達トヲ圖ツテ行クガ爲ニハ、繭絲價ノ高クナルコトバカリヲ望ムノハ、頗ル困難ナル情勢ニアルノデアリ、隨テ現下ノ實情ニ即シテ考ヘレバ、繭ノ生産費ノ全額ヲ保障スル制度ヲ樹立スルコトハ、實際上ノ問題トシテハ、目下ノ所デハ不可能ノコトデアリ、且ツ本案ハ繭絲價暴落ノ非常時ニ於テ、養蠶農民ノ經營上、耐ヘ難キ事態ノ發生スルコトヲ防止セントスル趣旨ニ出デタルモノデアツテ、平常時ニ於ケル所ノ繭價ヲ適正ナラシムル對策トシテハ別ニ其途ガアル、即チ之ニ付テハ養蠶團體ノ強化、竝ニ產繭處理統制ニ關スル所ノ運用等ニ依ツテ、所期ノ目的ヲ達スル考デアルト云フノデアリマス、併シナガラ率直ニ申シマスレバ、養蠶農民ハ蠶絲形態ノ重大要素ヲ成スモノデアルコトハ御承知ノ通りデアリ、其養蠶農民ガ依然トシテ犧牲的ノ立場ニ押込メラレテ居ルト云フコトニ付キマシテハ、何トシテモ不満ヲ感ゼザルヲ得ナイノデアリマス、相變ラズ養蠶農民ニ對

統制モ、實ニ能ク保タレテ居リマシテ、且ツ生産費ノ低廉ナル點ニ於テモ、一大特異性ヲ發揮シテ居リマスガ故ニ、生絲ヲシテ之ニ對抗セシメテ行クノニハ、蠶絲業ノ狀態ヲ從來ノ如ク投機的經營ニ放任シテ、市場相場ノ異動常ナキガ儘ニ致シテ置イタノデハ、到底人造絹絲ニ對抗シ得ベクモナイデアリマス、其結果ハ好ムト好マザルトニ拘ラス、遂ニハ蠶絲業ノ没落ヲ見ルコトハ、火ヲ賭ルヨリモ明カデアリマス、本案ノ狙ヒ所ハ、即チ此處ニアルノデアリマシテ、私ガ本案ニ於テ大キナ國策的特色ヲ指摘スル所以モ、亦此點ニ存スルノデアリマス

併シ具サニ本案ノ内容ヲ檢討シマスルニ、本案ノ骨子タル所謂制高制低ヲ規定スル第十一條ノ條項中、買入價格決定ノ基準ニ付テ、繭ノ生産費ノ全額保障ノ立前ガ採ラレナカッタ爲ニ、繭絲價ノ低落ヲ誘發シ、養蠶農民保護ノ點ニ於テ、大イニ缺クル所ガアルデハナイカト云フ點ニ付キマシテハ、

シテ無理解デアル、不親切デアルト云フ所ノ非難ヲ政府當局ガ受ケルノハ、大體論トシテハ當然デアラウト考ヘルノデアリマス

一日モ早ク斯ノ如キ養蠶農民ニ對スル所ノ無理解ナル差別待遇の條項ヲ撤廢スルヤウニ心掛ケテ貫ヒタイノデアリマス(拍手)

ノ優良品ノ廉價生産、生産販賣ノ統制、需要ノ増進等ノ三大目標ヲ確立セラレマシテ、著々其方策ヲ施設化サレテ來タノデアリマス、而シテ今期議會ニ至リマシテ、漸ク茲ニ蠶絲業ノ中心機構トナルベキ所ノ本案ガ、此議政壇上ヨリ産聲ヲ擧ゲントスルニ至ッ

濟上ノ問題ニ對シマシテ、其利益ヲ擁護スルト云フ點ニ付キマシテハ、私ハ本案ハ相當ニ有益ナルモノデアルト云フコトヲ信ズル一人デアリマス、併ナガラ本案ニ對スル政友會、民政黨、昭和會ノ三派ニ依リマスル所ノ附帶決議ノ中ニ於キマシテ、其附帶決議ノ精神其モノニ對シマシテハ、十分吾

蠶絲業ノ全面的更生刷新ニアルノデアアル、又蠶絲業ノ世界的躍進ノ姿ヲ強化スルニアルノデアアル、既ニ此狙ヒ所ヲ承認スル以上ハ、右申上ゲタ點ニ於テ遺憾デハアリマス

更ニ人造絹絲ノ躍進ニ對抗シテ、生絲ノ發展ヲ圖ツテ行カウト云フコトニ付キマシテハ、生絲ノ利用増進ニ關スル所ノ試験研究ヲモット盛ナラシムルコトガ必要デアラウト考ヘルノデアリマス、元來植物性ノ人造絹絲ト動物性ノ天然絹絲トハ、其纖維ノ性情ニ於テ自ラ異ルモノガアルノデアリマス

鎖サレテ居リマシタ所ノ内外生絲市場ノ爲ニモ、眞ニ祝福ヲ禁ジ得ナイノデアリマス最近歴代内閣ヲ通ジマシテ、蠶絲業ニ關スル施設ガケハ、兎ニモ角ニモ官民協同ノ實ヲ示シテ參リマシテ、稍、一貫セル方針ノ下ニ、著々建設的施設ヲ進メテ參リマシ

吾ハ諒解致シマスノデアリマスルガ、繭ノ生産費ヲ保障スベシト云フ點ニ關スル所ノ御主張ト云フモノニ對シマシテ、稍、薄弱ノ點ナキカト云フコトヲ考ヘマスルガ故ニ、私ハ獨自ノ希望條項ヲ附シマシテ、本案ニ對スル所ノ贊成ヲシタイト思フノデアリマス

何トナレバ、斯ノ如ク養蠶農民ヲ打チノメス所ノ答ノ下ニモ、少クトモ二ツノ指導精神ガ躍動シテ居ルト云フコトヲ見通シテハナラナイノデアリマス、即チ其一ツハ、コ

モ、自ラ其消費分野ノ歸趨ガ定マツテ行クベキ筈デアルト考ヘマス、隨テ是ガ利用増進ノ方途ニ付テハ、費用ナドハ容ム必要ハナイ、各ンデ居ル時デアリマセス、十分ニ是ガ機關ノ擴充動員ヲ圖ラレンコトヲ要望致シテ置キマス、其他ノ點ニ付テハ、附帶

下ニ、漸ク蠶絲業對策ノ機構的屋臺骨ダケハ組立テラレントスルニ至リマシタコトヲ喜ブト共ニ、茲ニ農林當局ノ不斷ノ努力ト、議會ノ協調トニ對シテ、聊カ多トスルニ足ルベキモノガアルコトヲ確信致スノデアリ

議論ヲ進メマスル上ニ於キマシテ、先ツ私ノ希望致シマスル所ノ條項ヲ讀上ゲマシテ、其上ニ於テ私ハ議論ヲ進メタイト思フノデアリマス

自然ニ繭ノ増産ヲ誘發スルコトニナルト云フコトガ懸念サレテ居ルノデアアル、其二ハ、蠶絲業ノ維持發展ヲ圖ル爲ニハ、生産費ヲ

決議ニ依ツテ吾々ノ意思ハ表明セラレテ居リマスルカラシテ、重複ヲ避ケル爲ニ省略致シマス

キヲ得テ蠶絲業更生ノ實績ヲ擧ゲラレントラ切ニ要望致シマシテ、本案ニ對スル所ノ贊成ノ意思ヲ表明致シマス(拍手)

ノデアルト云フコトヲ繰返シ答辯サレテ居リ

ト云フノガ、當局ノ考ヘ方デアッタラシイノデアリマス、ソコデ當局ハ此二ツノ指導精神ヲ一種ノ謎トシテ、此條文ノ中ニ隱シテ置クモノト私ハ解スルノ外ナイノデアリ

最後ニ一言致シマス、回顧スレバ昭和四年、蠶絲業ノ非常時ニ落込シテ以來、今日ニ至ル迄我ガ蠶絲業ハ幾多ノ困難危機ヲ切抜ケテ參リマシタガ、其當時ハ我ガ蠶絲業ハ全然無方針無統制ノ状態デ、唯成行任セ

トノ希望條項ヲ附シテ贊成ヲセントスル者デアリマス、社會大衆黨ノ本案ニ對スル反對ノ御意見ニ對シマシテハ、其議論ノ中ニ於キマシテハ、大イニ傾聴スベキモノアリ

トスト云フコトヲ繰返シ答辯サレテ居リ

ス、果シテ然ラバ會テ吾々ノ大先輩ノ言ハレタ通り、謎デハ政治ヘ行ヘナイノデアリ

ニ放任セラレテ居ッタノデアリマス、此苦キ試験時代ヲ經テカラ、漸ク官民協力ノ歩調ガ整ツテ參リマシテ、昭和八年頃カラシテ當局ニ於テモ蠶絲業ノ更生刷新ニ關スル所ノ施設計畫ニ乗出シ始メタノデアリマス

先ヅ其對策方針ト致シマシテハ、蠶絲類

トスト云フコトヲ繰返シ答辯サレテ居リ

マス、當局ハ其指導精神ヲ具現化シ、總テノ機關制度ヲ運用動員致シテ、之ヲ實際ニ

○平野力三君 私人本案ニ關シマシテ、三ツノ希望條項ヲ附シテ贊成ヲセントスル者デアリマス、社會大衆黨ノ本案ニ對スル反對ノ御意見ニ對シマシテハ、其議論ノ中ニ於キマシテハ、大イニ傾聴スベキモノアリ

トスト云フコトヲ繰返シ答辯サレテ居リ

トスト云フコトヲ繰返シ答辯サレテ居リ

ニ向ツテ、更ニ一段ノ眞劍味ヲ以テ努力セラレナケレバナラスノデアリマス、サウシテ

先ヅ其對策方針ト致シマシテハ、蠶絲類

トスト云フコトヲ繰返シ答辯サレテ居リ

トスト云フコトヲ繰返シ答辯サレテ居リ

マス、又蠶絲局長ハ此點ニ於キマシテ、繭ノ生産費ヲ必シモ本案ハ擁護スベキモノデハナイト雖モ、本案運用ニ當ッテ養蠶農民ノ立前ト云フモノヲ、吾々ハ十分考慮スベキモノデアルト云フコトヲ、附言サレテ居ルト思フデアリマス、私ハ此點ニ於キマシテ農林大臣ニ希望ヲ申シマスルコトハ、常ニ農業政策ガ議會ニ提案サレマスル時ニ、其所管農林大臣ガ、其案ニ對シテセラレマスル答辯ト云フモノハ、何時モ農民階級救護ト云フコトニ對シマシテ、洵ニ言葉ノ上ニ於テハ誠意ガアルヤウデアリマスガ、愈是ガ運用サレマス、甚ダ農民ノ期待ヲ裏切ルト云フコトガアリマスルガ故ニ、本案ニ關シマシテハ、斷ジテ其點ナキヤウト云フコトヲ、農林大臣ニ篤ト私ハ希望スル者デアリマス

次ニ本案ニ對シテ吾々ガ質問ヲ致シマシタ重點ノ中ニ、本案運用ノ途上ニ當リマシテ、製絲業者ト養蠶業者ノ利害ガ相反スルコトガ起ラナイカト云フ問ニ對シマシテ、當局ハ本案運用ノ途上ニ當ッテハ、製絲業者ト養蠶業者ノ利害ハ概ネ相一致スルト云フ答辯ヲサレテ居リマス、併ナガラ私ハ本案運用ノ途上ニ於キマスル所ノ、製絲業者對養蠶業者ノ利害ニ對シマシテ、必ズ是ガ一致スルト云フ見解ヲ持ッテ居ラレル點ニ付キマシテハ、私ハ必シモ賛成出來ナイノデアリマス、何トナレバ本案ノ第十一條ニ於テ、本日此處ニ於テ委員長モ説明サレマシタ通り、十一條ノ運用ニ依リマシテ、製絲業者ハ其製造販賣ニ關スル費用ト云フモノガ、

完全ニ擁護サル、ト云フコトハ、法ノ明記スル所デアリマスガ、併シ生絲ノ値段ガ決定致シマシテモ、繭ガ出來上リマシテ一擧ニ市場ニ繭ガ殺到シマシク時ニ於テ、其繭ヲ成ベク安く買取ラウトスルコトハ、是レ製絲業者ノ當然ノ心理デアリマスガ故ニ、其場合前議會ニ於テ通過致シマシク産繭處理統制法ト云フモノヲ以テ、十分是ガ統制ヲ爲シ得ルモノデアルト云フ、蠶絲局長並ニ農林大臣ノ御答辯デアリマスケレドモ、此點ニ關シマシテハ、特ニ十二分ノ注意ヲ以テ、其運用アランコトヲ私ハ希望シテ已マナイ者デアリマス

次ニ私ハ本案ノ運用ニ當リマシテ、生産費ヲ保障スベシト云フ言葉ニ對シテ、稍當局ニ難點ガアルヤウニ考ヘラレマスケレドモ、是ハ私ノ見解ヲ以テ致シマスナラバ、繭ノ生産費ト云フモノノ内容ヲ仔細ニ點檢致シテ見マス時ニ、其生産費ノ大部分ヲ占メルモノハ桑デアルト云フコトハ、何人モ御承知デアリマセウ、繭ノ原料ハ即チ桑デアアル、其桑ノ原料ハ何デアアルカト申シマスト、是ハ肥料デアリマス、今日全國ノ統計ニ依ッテ、蠶絲局カラ發表サレマシク、繭一貫目ニ對スル所ノ生産費ト云フモノヲ見マスト、一貫目四圓四十四錢一厘ト發表サレテ居リマス、其四圓四十四錢一厘ノ中ニハ、桑ノ代金ガ二圓十二錢九厘含マレテ居リマス、即チ約半分デアリマス、是ハ帝國農會ノ調ニ依リマシテモ、全國蠶絲業聯合會ノ調ニ依リマシテモ、略、同一ノ統計ニナッテ居ルコトヲ見マスレバ、要スルニ繭ノ生産

費ノ五割ガ桑代デアルト云フコトハ明瞭デアリマス、然ラバ其桑ノ生産費ト云フモノハ、如何ナル狀態ニアルカト申シマスト、茲ニ私ハ山梨縣松里村ニ於キマスル養蠶實行組合ガ調べテ居ル實際ノ調査ヲ見マスト、一反歩ノ畑ヨリ生産サレマス所ノ桑ガ約四百束、其四百束ノ中ニ於テ、繭一貫目作ルニ要シマスル桑ヲ十三束ト致シマシテ、一反歩カラ三十貫ノ繭ヲ取ルノデアリマス、三十貫ノ繭ヲ一貫目五圓ニ賣ッタト致シマスト、其收入ハ百五十圓、併シ此調査ノ中ニ於キマシテハ、一反歩ニ對スル所ノ小作料ト云フモノガ三十圓、肥料代金ガ二十五圓含マレテ居リマス、即チ小作料ト肥料代金ガ合計五十五圓デアリマシテ、百五十圓ノ繭ヲ作ル中ニ、肥料代ト小作料ト云フモノガ、約三分ノ一以上アルト云フコトハ、如何ニ養蠶農民ガ繭ノ生産費ヲ低下シヨウト思ヘバ、肥料代金ト小作料ト云フモノニ重點ガアルカト云フコトハ、一見明瞭デアラウト思フノデアリマス、此意味ニ於キマシテ、私ハ農林大臣ニ希望ガアリマス、農業政策ト云フモノハ、肥料統制法ハ肥料ダケノコト、繭ノ統制法ハ繭ダケノコト、米ノ統制法ハ米ダケノコトト云フヤウニ、總テノ法案ヲ縱ニノミ解釋サレテ、米ノコトハ是デ宜イ、繭ノコトハ是デ宜イト云フ見解ノ下ニ、農業政策ヲ樹テラルベキモノデハナイ、何トナレバ總テノ政策ト云フモノハ米ノ問題デアアル、繭ノ問題デアアル、肥料ノ問題デアアルニアラズシテ、其背後ニアラ農民ノ生活ト云フコトニ、如何ナル影響

ガアルカト云フコトガ重點デナクテハナラヌ、斯ウ考ヘマスル時ニ、繭ノ生産費ヲ低下セントスルナラバ、先ヅ昨年ノ議會ニ於テ通過致シマシク重要肥料統制法ナル法律ニ依ッテ、肥料ノ値段ト云フモノヲ、今日相當ニ低下セシムルト云フコトハ、是レ農林大臣ガ本案ノ施行ニ當リマシテ、當然考慮ニ入ラレナケレバナラヌ問題デアルト私ハ確信スル者デアリマス、即チ此意味ニ於キマシテ、私ハ本案ト昨年通過致シマシク重要肥料統制法ト云フ二ツノ法律案ヲ見ル時ニ、若シモ今回出來ル絲價安定法案ノ中ニ於ケル所ノ、絲價安定委員會ニ於キマシテ、養蠶農民ノ生産費ト云フモノヲ、農民階級ガ犧牲ニシナケレバナラヌト云フ時ガアルナラバ、一方ニ於テハ肥料統制委員會ニ於テ、肥料會社ハ肥料ノ生産費ヲ割ッテモ、之ヲ農民ニ供給スルト云フ考ガナクテハナラヌト云フコトヲ斷言シテ憚ラナイ者デアリマス、斯ウ云フ風ナ考カラ致シマシテ、本法案ハ雷ニ繭ノ問題、生絲ノ問題デアアルバカリデナク、是ハ我國ノ農業政策ノ根幹ニ當ル所ノ、千五百万ノ農民ニ對シテ重大ナル影響アル法案デアルト云フコトヲ考ヘマスル時ニ、其他ノ法律案ト之ヲ相併用致シマシテ、少クトモ私ノ第一ノ希望條件デアアル、繭ノ生産費ヲ絕對ニ農民ニ保障スベシト云フ一點ニ對シマシテハ、私ハ此演壇ヨリ確カト山崎農林大臣ニ希望スル次第デアリマス

第二ノ希望條件デアリマスル所ノ、「絲價安定委員會ニハ必ズ養蠶農民ノ代表ヲ入ル

員會ニ於テ説明ヲサレタ所ニ依リマスルト、アナタ方ノ之ニ對スル希望ト云フモノハ十分ニ分ツテ居ル、絲價安定委員會ニ農民ノ意見ヲ反映スベシト云フコトハ、十分ニ考慮スルト云フコトヲ、幾タビカ約束ヲサレテ居リマスルノデ、私ハ此點ニ關シマシテハ、暫ク農林大臣ノ言明ヲ信用致シマシテ、私ハ本問題ニ對シマシテハ是レ以上論及ヲ致シマセヌ

第三ノ政府ハ蠶絲業對策ヲ樹ツルニ當リ、養蠶業ヲ以テ主タル産業トスル府縣ト、然ラザル府縣ト云フモノヲ、別箇ニ扱ヘト云フ議論ニ付テ、若干ノ説明ヲシタイト思フノデアリマスルガ、全國ノ繭ノ生産費ト云フモノヲ見マスルト、言フ迄モナク相當ニ是ハ全國ニ於テ開キガアリマス、而シテ養蠶ヲ以テ主タル使命ト致シテ居リマスル長野縣、愛知縣、群馬縣、埼玉縣、山梨縣、茨城縣、岐阜縣等ニ於キマシテハ、其受ケル打撃ト云フモノハ、繭價ノ低下ニ依ツテ莫大ナル損害ヲ受ケルノデアリマスガ、故ニ荷モ農民ヲ救済スルト云フ見地ニ立ツテ蠶絲業政策ヲ立ツルナラバ、是等ノ養蠶ヲ以テ主タル産業ト爲ス縣ト、然ラザル縣ニ對スル區別ヲ立テラレト云フコトハ、是レ豈ニ蠶絲業ノ問題ノミニ非ズシテ、我國ノ農業、副業ニ對スル政府ノ方針ト致シマシテ、絕對ニ考ヘラルベキ理由ガアルト私ハ信ズル者デアリマス、此意味ニ於キマシテ、私ハ此三ツノ希望條件ヲ山崎農林大臣ニ篤ト希望シ、而モ委員會ニ於ケル答辯ヲシテ

單ナル議會ニ於ケル答辯ニアラズ、之ヲ全農民ノ前ニ眞實ナル所ノ答辯ト致シマシテ、本案運用ニ關シテ遺憾ナキヲ期セラレタイト云フ希望ヲ附シマシテ、以テ本案ニ贊成ヲ致シマス(拍手)

○副議長(岡田忠彦君) 是ニテ討論ハ結局致シマシタ、兩案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス (贊成者起立)

○副議長(岡田忠彦君) 起立多數、仍テ兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○松永東君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○副議長(岡田忠彦君) 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

絲價安定施設法案 第二讀會
絲價安定施設特別會計法案 第二讀會

○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセヌカラ委員長報告通り決シマシタ、是ニテ兩案ノ第二讀會ハ終リマシタ

○松永東君 直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○副議長(岡田忠彦君) 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

絲價安定施設法案 第三讀會
絲價安定施設特別會計法案 第三讀會

○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセヌカラ、兩案トモ第二讀會議決ノ通り可決確定致シマシタ(拍手)

○松永東君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際政府提出、一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案、對支文化事業特別會計法中改正法律案及ビ一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲大藏省預金部特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案ノ三案ヲ一括議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○副議長(岡田忠彦君) 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、特別會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案、對支文化事業特別會計法中改正法律案、一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲大藏省預金部特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案、右三案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告

ヲ求メマス——委員長木暮武太夫君
一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案 (政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
對支文化事業特別會計法中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲大藏省預金部特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書
一 一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十二年三月十三日
委員長 木暮武太夫
衆議院議長富田幸次郎殿

報告書

一 一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲大藏省預金部特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案(政府提出)

昭和十二年三月十三日

委員長 木暮武太夫

衆議院議長富田幸次郎殿

(木暮武太夫君登壇)

○木暮武太夫君 只今議題ニ相成リマシタ法律案三案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ簡單ニ御報告申上ゲマス、先ヅ順序ト致シマシテ、最初各法律案ノ趣旨ヲ御説明申上ゲルコトガ適當カト存ジマス

第一ハ、今日ノ財政狀況竝ニ各特別會計ノ餘裕アル狀況ニ鑑ミマシテ、毎年豫算ノ定ムル所ニ依ツテ、應分ノ金額ヲ各特別會計カラ一般會計ノ歳出ノ財源ニ充ツル爲ニ繰入レルト云フ案デゴザイマシテ、而シテ將來一般會計ニ於キマシテ餘裕金ガ出來マシタ場合ニハ、特別會計ノ方ニ之ヲ返還スルト云フ案デアアルノデゴザイマス、而シテ其金額ノ合計ハ六千八百九十九萬圓デアリマシテ、鐵道會計カラ入レマス三千萬圓ヲ最大ナルモノトシテ、通信事業費特別會計カラ千二百六十四萬圓、朝鮮總督府特別會計カラ九百四十五萬圓、臺灣總督府特別會計カラ五百二十五萬圓、樺太廳特別會計カラ百九十五萬圓、關東局特別會計カラ百五十萬圓、南洋廳特別會計カラ百十萬圓、合セテ六千八百八十九萬圓ヲ一般會計ノ歳出ノ財

源ニ充ツル爲ニ繰入レルト云フ案デアリマス

二番目ノ法律案ハ、對支文化事業特別會計法中改正法律案デアリマシテ、現行法ニ依リマス、此特別會計ノ資金ハ國債或ハ大藏省預金部ニ之ヲ預入レテ置キマシテ、之ヲ運用スルト云フ規定ニナッテ居ルノデアリマスガ、此特別會計ノ使命ノ重大ナルニ鑑ミマシテ、此運用ノ方法ヲ擴張シテ、由テ以テ從來ハ文化的ノ日支間ノ提携ニノミ從事シテ居ッタモノヲ進メテ、經濟的ノ提携ヲモ促進セシムルコトニ必要ナル資金ヲ運用シテ宜カラウ、斯ウ云フ案デゴザイマス、又御承知ノ通り山東問題ガ解決致シマストキニ、條約竝ニ細目ノ協定ニ依リマシテ、支那カラ受取ッタ四千萬圓ノ膠濟鐵道ノ債權ト云フモノガ我國ニアリマス、是ハ對支文化事業ノ方ノ特別會計ニ於テハ一千万圓ト云フモノハ、一般會計ニ於テ保管シテ居ル實情デアアルノデアリマスガ、今回ハ此一般會計ニ保管スル所ノ二千五百五十萬圓ヲ、此對支文化事業特別會計ノ方ニ移スコトガ穩當デアアルト云フ趣旨ニ依ッテ移サウ、斯ウ云フコトニ相成ッテ居ルノガ第二ノ法律案デアリマス

デアルト政府デ之ヲ御認メニナッテ、此中六百萬圓ヲ一般會計ノ歳出ノ財源ニ充當スル爲ニ繰入レマシテ、社會政策ノ施設費トシテ、残りノ二百萬圓ハ郵便貯金事務改善ノ方ニ使ハウ、是ガ第三案デアアルノデアリマス

斯ノ如キ三案ノ委員會ハ、二月二十七日以來數回ニ互リマシテ開キマシテ、本日モマダ繼續シテ開イテ居ルヤウナ譯デ、洵ニ御熱心ニ質疑應答ガ行ハレタノデアリマシテ、質問者ノ御名前ヲ擧ゲレバ、小谷節夫君、氏家清君、川俣清音君、綾川武治君、片山秀太郎君、中村壽壽君、松岡俊三君、渡邊鏡藏君、牧山耕藏君、田川大吉郎君ト云フヤウナ御方々カラ、熱心ニ各特別會計ノ内容ニ付キマシテ切實ナル所ノ御質問ガアリ、政府モ亦之ニ對シ極メテ周到懇切ナル御答辯ガアツタノデアリマス、此處デ此質問竝ニ議論ノ中ニ現レマシタル委員會ノ空氣ヲ、一二申上ゲテ置ク必要ガアルト思ヒマス

ソレデ第一案ニ付キマシテハ、各特別會計カラ一般會計ノ歳出ノ財源ニ充ツル爲メ、六千萬圓以上ノモノヲ繰入レルト云フ案デゴザイマス爲ニ、各特別會計各、其設定ノ趣旨ニ鑑ミマシテ、マダ爲スベキ仕事ガ非常ニ多イデヤナイカ、其仕事ヲマダヤラヌデ居テ、無理ナコトヲシテ、繰入金ヲ爲スト云フコトハ、慎マナクテハイカヌデヤナイカト云フヤウナ御議論ガ頗ル多カッタ、殊ニ朝鮮總督府特別會計ニ關シマシテハ、北鮮國境ノ「ソ」聯ニ接壤スル地帯ノ警備施設充實、竝ニ其地方ノ移民開拓ト云フヤウナ

問題ハ、朝鮮總督府ト致シマシテハ十分ニ努メナケレバナライ問題デアアルノニ拘ラズ、ソレ等ノコトヲ等閑ニ附シテ置イテ、此千萬圓以上ノ金ヲ一般會計ニ繰入レルト云フヤウナコトハドウカ、大ニ今後ハ此點ヲ注意シナケレバナラスト云フヤウナ御意見ガ多カッタ、又臺灣ニ付テハ河川ノ整理改修、或ハ南方ヘノ通商貿易關係ノ充實ト云フヤウナ、大キナ仕事ガヤハリアルノデアリマスカラ、斯ウ云フコトニ努メルコトガ、先ヅ第一義デアアラウト云フヤウナ御議論モアツタ、殊ニ遞信省即チ通信事業ニ付キマシテハ、遞信省關係ノ下級ノ従業員ノ人々ノ待遇ト云フモノガ、鐵道省ノソレ等ノ人々ニ比較致シマシテ、甚シイ懸隔ガアル今日、此待遇ヲ改善シナケレバナライト云フコトハ焦眉ノ急デハナイカ、又我國ニ於ケル通信施設ト云フモノガ、未ダ完壁ヲ得タモノトハ言ヒ難イ、ドウシテモ郵便局ヤ電信局ト云フモノヲ、地方ニ充實スル必要ガアルノデアリナイカ、ソレダノニ年々八千万圓ノ納付金ヲシテ、更ニ又澤山ノ金ヲ此處ヘ出スト云フコトハ、先ヅ自ラノ方ノ仕事ヲ十分ヤツテカラ、一般會計ニ繰入シタラ宜クハナイカト云フヤウナ御議論ガアツテ、無理ラシテ今後繰入ラスルト云フコトハ慎マナケレバナラスト云フヤウナ御意見ガアツタ、政府モ大體ニ於テ質問者ノ趣旨ヲ諒ト致シマシテ、明年カラ御注意下サルヤウナ御答辯ガアリマシタ、第二ノ對支文化事業特別會計法中改正法律案ニ關聯致シマシテハ、對支交渉ノ不手際ニ付テ、殊ニ川越大使ノ

身上ニ關シマシテハ、可ナリ痛烈ナル反對ノ御發言ガ多クツガ、本會議ニ於テ之ヲ御紹介スルコトハ私ハ差控ヘマス、詳細ハドウゾ委員會ノ速記録ニ譲リマスカラ、御覽ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス、而シテ對支文化事業ト云フモノガ、從來動トモスルト引込ミ思案デアツテ、洵ニ國民ノ期待ニ副ハザルモノ甚シキモノガアルカラ、今回此資金運用ヲ擴張シタルヲ好機會ニ、積極的ニ活動致シマシテ、日支間ノ友誼的提携ノ基礎ニナルヤウナ働キヲ致シタラドウダト云フヤウナ御意見ガ盛ニアツクノデアリマス

斯ク致シマシテ本日午後各案ヲ別々ニ採決ヲ致シマシタ結果、第一案、即チ一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案、此案ニ付キマシテハ多數決ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、第二案ノ對支文化事業特別會計法中改正法律案及ビ一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲大藏省預金部特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案、此二、三ノ兩案ニ對シマシテハ、全會一致ヲ以テ可決確定ヲ致シヤウナ次第デアリマス、此點御報告ヲ申上ゲマス(拍手)

○副議長(岡田忠彦君) 討論ノ通告ハアリマセヌ、三案中第一及ビ第三ノ兩案ニハ反對ガアリマスカラ、先ツ此兩案ヲ一括シテ審議ヲ爲シ、次ニ第二案ヲ審議スルコトニ致シマス、是ヨリ一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案、及ビ一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲大藏省預金部特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案ニ入りマス、兩案ノ第二讀會ヲ開キ、

ル法律案ノ審議ニ入りマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求めマス
〔贊成者起立〕
○副議長(岡田忠彦君) 起立多數、仍テ兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○松永東君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス
○副議長(岡田忠彦君) 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案
第二讀會
○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセヌカラ、委員長報告通リ決シマシタ、是ニテ兩案ノ第二讀會ハ終リマシタ
○松永東君 直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス
○副議長(岡田忠彦君) 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
對支文化事業特別會計法中改正法律案
第二讀會(確定議)
○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリ

○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案
第三讀會
○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセヌカラ、兩案トモ第二讀會議決ノ通リ可決確定致シマシタ(拍手)次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ審議ニ入りマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○松永東君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通リ可決セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(岡田忠彦君) 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
對支文化事業特別會計法中改正法律案
第二讀會(確定議)
○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリ

○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案
第二讀會
○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセヌカラ、委員長報告通リ決シマシタ、是ニテ兩案ノ第二讀會ハ終リマシタ
○松永東君 直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス
○副議長(岡田忠彦君) 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
對支文化事業特別會計法中改正法律案
第二讀會(確定議)
○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリ

○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案
第三讀會
○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセヌカラ、兩案トモ第二讀會議決ノ通リ可決確定致シマシタ(拍手)次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ審議ニ入りマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○松永東君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通リ可決セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(岡田忠彦君) 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
對支文化事業特別會計法中改正法律案
第二讀會(確定議)
○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリ

○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案
第三讀會
○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセヌカラ、兩案トモ第二讀會議決ノ通リ可決確定致シマシタ(拍手)次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ審議ニ入りマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○松永東君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通リ可決セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(岡田忠彦君) 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
對支文化事業特別會計法中改正法律案
第二讀會(確定議)
○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリ

マセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、本案ハ委員長報告通リ可決確定致シマシタ(拍手)
〔副議長退席、議長著席〕
○松永東君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際日程第四及ビ第五ヲ繰上ゲ上程シ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス
○議長(富田幸次郎君) 松永君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認めマス、仍テ日程ノ順序ハ變更セラレマシタ、日程第四、第五ハ便宜上一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認めマス、仍テ日程第四、朝鮮事業公債法中改正法律案、日程第五、朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス——拓務大臣結城豊太郎君
第四 朝鮮事業公債法中改正法律案
第一讀會
〔政府提出〕
第五 朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
朝鮮事業公債法中改正法律案
朝鮮事業公債法中左ノ通改正ス
第一條中「六億九千六百二十萬圓」ヲ「八億四千五百五十萬圓」ニ改ム
附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案
第三讀會
○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセヌカラ、兩案トモ第二讀會議決ノ通リ可決確定致シマシタ(拍手)次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ審議ニ入りマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○松永東君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通リ可決セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(岡田忠彦君) 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
對支文化事業特別會計法中改正法律案
第二讀會(確定議)
○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリ

○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案
第三讀會
○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセヌカラ、兩案トモ第二讀會議決ノ通リ可決確定致シマシタ(拍手)次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ審議ニ入りマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○松永東君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通リ可決セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(岡田忠彦君) 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
對支文化事業特別會計法中改正法律案
第二讀會(確定議)
○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリ

○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案
第三讀會
○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセヌカラ、兩案トモ第二讀會議決ノ通リ可決確定致シマシタ(拍手)次ニ對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ審議ニ入りマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○松永東君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通リ可決セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(岡田忠彦君) 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認めマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
對支文化事業特別會計法中改正法律案
第二讀會(確定議)
○副議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリ

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認めマス、仍テ日程第四、朝鮮事業公債法中改正法律案、日程第五、朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス——拓務大臣結城豊太郎君
第四 朝鮮事業公債法中改正法律案
第一讀會
〔政府提出〕
第五 朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
朝鮮事業公債法中改正法律案
朝鮮事業公債法中左ノ通改正ス
第一條中「六億九千六百二十萬圓」ヲ「八億四千五百五十萬圓」ニ改ム
附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律案
朝鮮鐵道用品資金會計法中左ノ通改正ス
第一條 鐵道及自動車交通事業ノ用品ヲ

購入貯藏及製作修理シ朝鮮鐵道ノ運輸
營業及建設事業並鐵道ニ關聯シ經營ス
ル自動車交通事業ノ需用ニ應スル爲朝
鮮鐵道用品資金ヲ置キ特別ノ會計ヲ立
テシム

第三條中「鐵道用品」ヲ「鐵道及自動車交
通事業ノ用品」ニ改ム

附則

本法ハ昭和十二年ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣(結城豊太郎君登壇))

○國務大臣(結城豊太郎君登壇) 只今議題トナ
リマシテ朝鮮事業公債法中改正法律案提出
ノ理由ヲ説明致シマス、朝鮮總督府特別會
計ニ於テ、昭和十二年度以降ノ繼續費トシ
テ計上致シマシタル、鐵道建設及改良費ノ追
加額一億二千九百五十餘萬圓、並ニ港灣修
築改良費追加額ノ一部千九百五十萬圓ハ、
同特別會計歲計ノ現狀ニ顧ミマシテ、是ガ
財源ヲ公債ニ依ルコトト致シマシタコト等
ニ依リ、現行朝鮮事業公債法ノ公債發行限
度ヲ改訂スルノ必要ガアリマスルノデ、本
法律案ヲ提出シタ次第アリマス、何卒御
審議ノ上速ニ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希
望スル次第アリマス

次ニ朝鮮鐵道用品資金會計法中改正法律
案提出ノ理由ヲ説明致シマス、朝鮮ニ於テ
國有鐵道ニ關聯シテ經營スル自動車交通事
業ノ用品ノ購入貯藏等ハ、之ヲ朝鮮鐵道用
品資金會計ニ於テ經理スルヲ適當ト存ジマ

スノデ、本法律案ヲ提出致シタ次第デアリ
マス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレン
コトヲ希望致シマス

○議長(富田幸次郎君) 質疑ノ通告ガアリ
マス、之ヲ許可致シマス——信太儀右衛門
君

(信太儀右衛門君登壇)

○信太儀右衛門君 只今上程ニナリマシタ
朝鮮ニ關スル二ツノ法案ニ付キマシテ、質
疑ヲ致サント欲スル者デアリマス、御承知
ノ通り朝鮮ハ、統治既ニ二十七年ノ星霜ヲ
經過シテ居リマス、隨テ内鮮融和ノ實ヲ完
全ニ擧ゲマシテ、今ヤ雞林八道ニ於キマシ
テ、皇風ガ全ク普ネカラントシテ居リ、又
普クコトヲ私共モ確信シテ居リマス、洵ニ
國家ノ爲ニ御同慶ニ堪ヘナイ次第デアリマ
ス、植民政策ノ至難中ノ至難デアルト云フ
コトハ、是ハ諸君モ既ニ御承知ノ通りデア
リマス、一朝ニシテ是ガ過チヲ致シタ時ニ
於キマシテハ、折角ノ努力モ亦犠牲モ、何
等爲ス所ナクシテ、延イテハ内政問題ニ波
及スル由々シイ問題ヲ惹起スルコトハ、是ハ東
西植民ノ歴史ニ徴シテ見マシテモ、既ニ明瞭ナル
事實デアリマス、此度ノ朝鮮ニ關スル二ツ
ノ法律案ニ付キマシテ、私ハ檢討致シタイ
ト思ヒマスルガ、本年度即チ昭和十二年度
ニ於キマシテハ、其事業ノ公債ハ六億九千
六百二十萬圓デアリマス、是ガ明年度、昭
和十三年度ニ於テハ、一躍八億四千五百十
萬圓ト云フ所ノ、大ナル數字ヲ示シテ居リ
マス、驚ク勿レ、其累進額ハ一億四千五百三
十萬圓デアリマス、之ヲ比較スルノハ如何

デアリマスルガ、此度各派ヲ通ジテ滿場一
致、所謂血ミドロニナツテ吾々ノ主張シタ地
方農村ノ交付金ノ問題ハ三千万圓デアリマ
ス、斯ノ如ク一絲亂レザル議員ノ主張ヲ以
テ叫ンデ居ツク所ノ問題ハ、僅ニ三千万圓デ
アリマス、勿論此朝鮮ノ事業年度計畫ニ付
キマシテハ、今更主ヲ變ヘル譯ニハ行キマ
セスケレドモ、如何ニ此植民ノ爲ニ我ガ國
帑ガ消費セラレルカト云フコトニ付キマシ
テ、吾々ハ之ニ對スル關心ヲ更ニ新シクス
ル次第デアリマス

私ハ概要産業問題ト交通問題ノ二點ニノ
ミ止メマシテ、質疑ヲ打切ラウト思フノデア
リマスガ、先ツ第一ニ人口問題カラ論及シ
タイト思ヒマス、朝鮮ノ人口ノ躍進ハ、我ガ
内地ニ殆ド匹敵シテ居リマス、殊ニ南部六
道ニ於キマスル所ノ人口ノ増加ト云フモノ
ハ、非常ニ激甚ヲ極メテ居リマス、隨テ内
地ニ是等ノ過剩人口、ソレハ主トシテ勞働者
デアリマスガ、其勞働者ガ内地ニ參リマシ
テ、ソレガ爲ニ内地ハ勞働者ノ過剩トナリ
マシテ、色々ノ社會問題ガ勃發シテ居ルコト
ハ、諸君モ御承知デアリマセウ、是ハ洵ニ
悲シムベキ事態デアリマス、朝鮮ノ國ヲ緝
イテ見レバ直チニ分リマスガ、南部六道ハ
人口稠密デアリマスガ、人口ヲ單ニ一地方
ニノミ抑ヘテ居ルト云フコトハ、植民政策
ノ上カラ申シマシテモ、本意デアナイノデ
アリマス、之ヲ北鮮ノ天然資源ノ豐富デア
ル所ノ、而シテ土地ノ廣大デアル所一帯ニ
之ヲ移住セシメ、延イテハ之ヲ滿洲ヘ、日
本内地ト滿洲ト連繫スル所ノ第一線ニ朝鮮

ノ方々ヲ立タセルト云フコトハ、植民政策
トシテモ實ニ意義深甚デアルコトト私ハ考
ヘテ居リマス、次ニ朝鮮ノ産業ノ主タルモ
ノハ産米デアリマス、今ヤ朝鮮ノ米ハ、吾
吾内地ノ米ト殆ド其差別ハアリマセウ、價
格ニ於キマシテモ、亦實其モノニ付キマ
シテモ、完全ナル米トシテ世間ノ稱讚ヲ博
シテ居ルノデアリマス、是ガ幸ニシテ天
惠ニ浴シ、五穀豐穰ト云フコトニナツタ時ニ
當リマシテハ、文字通り生産過剩トナリマ
シテ、折角收穫ヲ得テ喜ビニ堪ヘナイ所ノ
鮮人ハ、價格ノ暴落ニ依リマシテ、喜ビガ
變ジテ災ヒニナルコトハ、諸君モ御承知デ
アリマセウ、併シ是ハ獨リ朝鮮米ニ限ラズ、
經濟的カラ申シマシテモ、生産過剩ト云ツタ
ヤウナコトハ、又値段ノ暴落或ハ暴騰ト
云フヤウナコトハ、一片ノ法律ヲ制度ニ依
リマシテ、之ヲ抑ヘ付ケルコトハ出來マセ
ヌ、或ル程度ニハ之ヲ抑制スルコトガ出來
マセウガ、之ヲ若シモ無理ニ抑ヘントスレ
バ、茲ニ由々シイ所ノ國家的ノ社會問題ガ
惹起スルノデアリマス、諸君モ御承知ノ通
リ、此度比律賓ガ獨立ヲ聲明シテ居ルト云
フ裏面ヲ考ヘテ御覽ナサイ、比律賓ニ於キ
マシテハ、非常ニ安イ努力ヲ以チマシテ、
彼ノ特産物デアアル所ノ製糖業ガ非常ニ進歩
發達ヲシテ居リマス、是ガ一朝輸出ヲ致シ
マシテ、亞米利加内地ニ行ク時ニ當ツテ、亞
米利加内地ノ製糖業等ハ大ナル脅威ヲ感
ジ、ドウシテモ是ト角逐スルコトハ
出來ナイト云ツタヤウナ、一種ノ經濟的觀念
カラシテ、遂ニ比律賓ヲ獨立セシメテモ宜

シイト云フヤウナ空氣ヲ醸成シタト云フコトハ、是ハ既ニ賢明ナル諸君ハ御承知ノ通りデアリマセウ、斯ウ云フヤウニ頗ル重大性ヲ帯ビテ居ルノデアリマス、獨リ又此産米ノミニ限ラズ、農産物ニ付キマシテモ、内地ヘ參ル時ニ當リマシテハ、種々ナル植物検査、所謂病毒ノ検査ト稱シマシテ、其内地ニ進出スルコトヲ阻止シテ居リマス、是デハ折角朝鮮總督府ガ非常ナル犠牲ヲ拂ヒ、努力ヲ以テ指導獎勵ヲ致シマシテモ、其結果ハ洵ニ悲シムベキ所ノ現狀ニアルノデアリマス、是等ニ對シマシテ政府當局ノ或ル程度マデノ確信ヲ私ハ聽カント欲スル者デアリマス

次ニ又交通問題ニ付キマシテ御尋シタイト思ヒマス、足一タビ朝鮮ノ釜山ニ上陸致シマス時ニ、見ル一山、一木、一草、近來ハ稍、生色、綠色ヲ呈シテ居リマスガ、全ク是ハ荒涼無趣味ナ風光デアリマス、日清戰爭ニ當リマシテ、釜山ト京城ヲ結ブ所ノ線ハ一ノ軍用線ト致シマシテ、何等經濟的ノ觀念ナク、何等鐵道ノ技術ヲ考慮セズシテ、急速ニ之ヲ敷設致シタノガ彼ノ京釜鐵道デアリマス、又ソレニ稍、幾ラカノ科學的技能ヲ加味シテ居リマスノガ、日露戰爭直後ニ於テ出來タ京城ト新義州ヲ結ンデ居ル所ノアノ線デアリマスルガ、是モヤハリ京釜鐵道ト殆ド同一軌道ヲ歩ンデ居ルヤウニ考ヘマス、隨テ朝鮮總督府自ラ聲明シテ居ル所ニ依リマス、朝鮮ノ資源ヲ見ント欲セバ、此幹線ニ依ルノハ非常ニ不便デアルト云フコトヲ、朝鮮總督府自ラ申シテ居

リマス、申スマデモナク、此鐵道ハ都會ト都會ヲ結ビマシテ、サウシテ交通ノ利便ニ貢獻スルコトガ、鐵道敷設ノ目的デアリマスルケレドモ、敘上ノ如キ事情ニ依リマシテ、朝鮮鐵道ノ大半ハ軍用鐵道ト云フヤウナ空氣ニ依リマシテ、是ガ蔽ハレテ居ルヤウニ私等モ考ヘ、又諸君モ御同感デアラウト思ヒマス、是等ノ幹線ニ慊ラズシテ、更ニ釜山ト京城ヲ結ブ所ノ主要貫通線ヲ開通セントシタノハ最近ノコトデアリマス、其貫通スル所ノ鐵道ノ區域ト云フモノハ山又山、ソレハ九十九折デアリマス、文字通りニ何等經濟的ノ價値ノナイ處デアルニモ拘ラズ、之ヲ貫通致サントスルコトハ、ヤハリ軍事的方面カラト云フヤウナコトヲ承テ居リマスガ、吾々ハ朝鮮ノ鐵道ノ大半ハ、此軍事鐵道ニ依リマシテ、經濟的ヲ全ク打破、考慮ナクシテ之ヲ敷設スルト云フコトニ對シマシテハ、大ナル遺憾ノ意ヲ表スル次第デアリマス、勿論軍事其モノハ、吾々ハ之ヲ協贊スルニ、決シテ吝カナルモノデアリマセヌ、朝鮮ノ内外共ニ生産的ニ、或ハ交通ノ完成ヲ圖リマシテ、一旦有事ノ際ニハ東西相應ジテ、内地ノ自給自足ニ若シ缺陷ガアツクナラバ、朝鮮ノ物資ヲ内地ニ移入シテ、以テ吾々東亞大帝國ノ建設ヲ期待スルコトハ、皆サンモ御異論ハナカラウト思ヒマス、此點カラ見マスルト、今度ノ事業公債ノ發行ト云フモノハ、主トシテソレニ一貫シテ居ルト云フコトハ、吾々ハドウシテモ此點ニ付キマシテハ、檢討ヲ更ニ新シクシナケレバナラヌト思ヒマス(拍手)

殊ニ今ノ拓務大臣ハ、拓務大臣デアリ又大藏大臣デアリマス、最近アナタハ金ノ直送ヲヤツテ居リマス、一千五百万圓ノ金ノ直送ヲヤツテ居リマシテ、日本ノ經濟價値ノ信用ヲ高メントシテ居ルコトハ、是ハ吾々モ共鳴シテ居リマス、併ナガラ此金ハ如何ナル方法ニ依ツテ、如何ナル地ニ之ヲ求メルカト云フコトハ、現在デハナクシテ將來性ヲモ私ハ考ヘテ戴キタイト思フノデアリマス、唯徒ニ早急ノ應急手段トシテ之ヲ行フト云フノデハナク、永久的ノアナタノ御考ヲ以テ致サレタイノハ、私等ノ切ナル希望デアリマス、此點ヲ考ヘテ見マスと云フト、朝鮮ニハ今ヤ鑛業トシテ一億萬圓ノ產出ヲ致シテ居リマス、殊ニ此産金、金ノ産額ハ朝鮮總督府ガ相當ナル保護助長ヲ致シタラバ、更ニ數倍ノ累進率ヲ出スコトト私ハ確信致シテ居リマス(拍手)何卒此點ハ唯鐵道、道路ニノミ支出シナイデ、多岐多様、所謂多角的ニ、立體的ニ朝鮮ノ産業開發ノ爲ニ、又交通ノ完成ノ爲ニ、吾々ハ切ナル要求ヲ致サントシテ居ルモノデアリマス、此點ニ付キマシテ當局ノ御懇切ナル御答辯ヲ御願シタイト思ヒマス(拍手)

○政府委員(大野綠一郎君) 只今信太サンカラノ御質問ニ對シマシテ御答辯ヲ申上ゲマス、鐵道及ビ港灣ノ追加ノ費用ガ一億四千餘萬圓デアリマシテ、隨分莫大ノヤウデアルガト云フ御話デアリマシタガ、今日ノ朝鮮ノ狀況カラ申シマシテ、鐵道ノ整備ガ産業、國防各方面カラ極メテ重大デアリマ

スノデ、サウ云フヤウナ費用ガ追加サレタ譯デアリマス、尤モ此費用ハ昭和十二年度以降九箇年ニ互ル繼續費デゴザイマシテ、一年ノ追加額ト致シマシテハ二千餘萬圓位ノ見當ニナツテ居リマス、是ハ今日ノ朝鮮ノ情勢トシテハ、發達ノ必要上當然左様ナ金額ガ要ルコトト考ヘテ居リマス
ソレカラ人口問題ニ付キマシテ、朝鮮六道ノ人口ガ随分稠密ノ状態ニナツテ居ル、之ニ付テ御承知ノヤウニ内地ニ渡航スルコトニ付キマシテハ、色々ト調節ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、之ヲ更ニ北部ノ朝鮮、又滿洲ノ方ニ移住セシメル方策ニ付テ、考慮シタラドウカト云フ御話デゴザイマスルガ、此點ニ付キマシテハ、既ニ計畫ヲ立テマシテ、北鮮ノ可ナリ人口ノ疎ラナ土地ニ付キマシテハ、ソレノ計畫ヲ立テマシテ、北鮮移民ノ費用モ豫算ノ中ニ組入レテ居リマシテ、逐次其計畫ヲヤツテ行クコトニナツテ居リマス、ソレカラ滿洲移民ニ付キマシテハ、昨午鮮滿拓殖會社ヲ創立致シマシテ、ソレソレ滿洲國ノ官憲トモ連絡ヲ致シマシテ、移住ノ獎勵ヲ致シテ居リマシテ、段々其手順ガ整ツテ居リマスル次第デアリマス
ソレカラ産業ニ付テ、米ノ生産ニ付テ、米價ガ著シク上ツタリ、或ハ下ツタリスルト云フヤウナコトガ、非常ニ朝鮮農民ニ不安ヲ與ヘル虞ガアルデハナイカト云フ御懸念デゴザイマシタガ、此點ニ付キマシテハ幸ニ米穀統制法、又自治管理法ノ施行ニ依リマシテ、大體ノ見當ガ付キマシタノデ、管理法ハ未ダ發動ハ致サレマセヌケレドモ、

左様ノ點ニ付テハ比較的私ハ安心ガ出來ル
コトト考ヘテ居リマス

尙ホ交通ノ問題ニ付テ、國防上重要ナル
點モ述ベラレマシテ、尙ホ其他ニモ産業上
十分鐵道ノ收支ノ採レルヤウニ考慮シタラ
ドウカト云フ御話デゴザイマスガ、此點ニ付
キマシテモ、沿道ニ可ナリノ物資ガゴザイ
マスルシ、是ハ農産物モゴザイマスルシ、
又礦産物モ只今御示シノヤウニ澤山ゴザイ
マスノデ、是等ノ開發ニ付テハ十分ノ力
ヲ入レマシテ、産業ノ方面ニ於テモ十分ノ
效果ヲ擧ゲルヤウニ致シタイト考ヘテ居リ
マス、大體ノ御答辯ヲ致シマス

○信太儀右衛門君 簡單デアリマスルカラ
此席カラ御許ヲ願ヒマス

○議長(富田幸次郎君) 許可致シマス

○信太儀右衛門君 此問題ニ付キマシテハ、
私モ相當ノ成案ヲ持ッテ居リマスルカラシ
テ、他日或ル機會ニ於キマシテ相見エルコ
トガ出來マセウカラ、私ノ質問ハ之ヲ以テ
終リマス

○議長(富田幸次郎君) 是ニテ質疑ハ結局
致シマシタ、兩案ノ審査ヲ付託スベキ委員
ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○松永東君 日程第四及ビ第五ノ兩案ハ、
一括シテ政府提出、樺太市制案委員ニ併セ
付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(富田幸次郎君) 松永君ノ動議ニ御
異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メ

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メ

マス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○松永東君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提
出致シマス、即チ此際日程第六及ビ第七ヲ
繰上ゲ上程シ、其審議ヲ進メラレンコトヲ
望ミマス

○議長(富田幸次郎君) 松永君ノ動議ニ御
異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メ
マス、仍テ日程ノ順序ハ變更セラレマシ
タ——日程第六及ビ第七ハ同種ノ議案デア
リマスカラ、一括議題ト爲スニ御異議アリ
マセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メ
マス、仍テ日程第六、昭和十二年度一般會計
歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法
律案、日程第七、昭和七年法律第一號中改
正法律案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開
キマス——大藏大臣結城豊太郎君

第六 昭和十二年度一般會計歳出ノ財
源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律
案(政府提出) 第一讀會

第七 昭和七年法律第一號中改正法律
案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲
公債發行ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

昭和十二年度一般會計歳出ノ財源ニ充
ツル爲公債發行ニ關スル法律案

第一條 政府ハ昭和十二年度一般會計歳
出ノ財源ニ充ツル爲他ノ法律ニ依リ起

債シ得ル金額ノ外四億八千七百五十萬
圓ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲
スコトヲ得

第二條 政府ハ昭和十二年度一般會計歳
出豫算翌年度繰越額ノ財源ニ充ツル爲
他ノ法律ニ依リ起債シ得ル金額ノ外昭
和十三年度ニ於テ公債ヲ發行シ又ハ借
入金ヲ爲スコトヲ得但シ前條ノ規定ニ
依ル公債又ハ借入金ト通ジテ前條ノ制
限額ヲ超ユルコトヲ得ズ

第三條 前二條ノ規定ニ依ル公債ノ發行
價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合
ニ於テハ前二條ノ制限以外ニ公債ヲ發
行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年法律第一號中改正法律案
昭和七年法律第一號中左ノ通改正ス
「九億九千四百五十萬圓」ヲ「十二億六千
萬圓」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣(結城豊太郎君)發壇)

○國務大臣(結城豊太郎君) 只今議題トナ
リマシタ昭和十二年度一般會計歳出ノ財源
ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案提出ノ
理由ヲ御説明申上ゲマス、昭和十二年度一
般會計ニ於キマシテ、既ニ成立致シテ居リ
マスル公債法ニ依リ發行スル公債金額、並
ニ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲メ發行ス
ル公債金額ノ外ニ、歳入ノ不足ヲ補填スル

爲メ四億八千七百五十萬圓ノ公債發行ヲ必
要トスルノデアリマスルガ、是ガ爲ニハ別
ニ起債ノ權能ヲ得ルコトガ必要デアリマス、
尙ホ昭和十二年度ノ歳出ニ於キマシテモ、
其中若干ノ金額ハ例年ノ如ク翌年度ニ繰越
サレル結果ニナルデアラウト存ゼラレマス
ガ、其繰越額ノ財源ハ必シモ十二年度内ニ
起債スルコトヲ必要ト致シマセヌカ爲メ、翌
年度ニ於テ發行シ得ルコトト爲スヲ適當ト
認メマス、右ノ理由ニ依リ本法律案ヲ提出
致シタ次第デアリマス

次ニ昭和七年法律第一號中改正法律案提
出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、滿洲事件
ニ關スル經費ニ關シマシテハ、去ル第六十
一回、第六十二回、第六十四回、第六十五
回、第六十七回、及ビ第六十九回帝國議會ノ
協贊ヲ經、其財源ニ充ツル爲メ公債ヲ發行
スルコトヲ得ルノ法律ヲ制定ヲ見タノデア
リマシテ、之ニ依ッテ昭和十一年度マデノ經
費ヲ支辨シ得ル次第デアリマスルガ、昭和
十二年度分ノ經費トシテ、更ニ二億八千七
百三十餘萬圓ヲ必要トスルノデアリマス、
右ノ中特別會計ノ分ハ、全部普通財源ヲ以
テ支辨致シマスルガ、一般會計ノ分ニ付キ
マシテハ、滿洲國國防費分擔金受入等ニ相
當スル金額ヲ加減致シマシテ、二億六千五
百四十餘萬圓ハ、今日ノ財政狀況並ニ本經
費ノ性質ニ顧ミマシテ、從來ノ如ク公債財
源ニ依ルコトト致シマシタ爲メ、現行滿洲
事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關ス
ル法律ニ依ル發行限度ヲ改正增加スルノ必
要ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出致シマ

昭和十二年度一般會計歳出ノ財源ニ充
ツル爲公債發行ニ關スル法律案

第一條 政府ハ昭和十二年度一般會計歳
出ノ財源ニ充ツル爲他ノ法律ニ依リ起

債シ得ル金額ノ外四億八千七百五十萬
圓ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲
スコトヲ得

第二條 政府ハ昭和十二年度一般會計歳
出豫算翌年度繰越額ノ財源ニ充ツル爲
他ノ法律ニ依リ起債シ得ル金額ノ外昭
和十三年度ニ於テ公債ヲ發行シ又ハ借
入金ヲ爲スコトヲ得但シ前條ノ規定ニ
依ル公債又ハ借入金ト通ジテ前條ノ制
限額ヲ超ユルコトヲ得ズ

第三條 前二條ノ規定ニ依ル公債ノ發行
價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合
ニ於テハ前二條ノ制限以外ニ公債ヲ發
行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年法律第一號中改正法律案
昭和七年法律第一號中左ノ通改正ス
「九億九千四百五十萬圓」ヲ「十二億六千
萬圓」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣(結城豊太郎君)發壇)

○國務大臣(結城豊太郎君) 只今議題トナ
リマシタ昭和十二年度一般會計歳出ノ財源
ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案提出ノ
理由ヲ御説明申上ゲマス、昭和十二年度一
般會計ニ於キマシテ、既ニ成立致シテ居リ
マスル公債法ニ依リ發行スル公債金額、並
ニ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲メ發行ス
ル公債金額ノ外ニ、歳入ノ不足ヲ補填スル

爲メ四億八千七百五十萬圓ノ公債發行ヲ必
要トスルノデアリマスルガ、是ガ爲ニハ別
ニ起債ノ權能ヲ得ルコトガ必要デアリマス、
尙ホ昭和十二年度ノ歳出ニ於キマシテモ、
其中若干ノ金額ハ例年ノ如ク翌年度ニ繰越
サレル結果ニナルデアラウト存ゼラレマス
ガ、其繰越額ノ財源ハ必シモ十二年度内ニ
起債スルコトヲ必要ト致シマセヌカ爲メ、翌
年度ニ於テ發行シ得ルコトト爲スヲ適當ト
認メマス、右ノ理由ニ依リ本法律案ヲ提出
致シタ次第デアリマス

次ニ昭和七年法律第一號中改正法律案提
出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、滿洲事件
ニ關スル經費ニ關シマシテハ、去ル第六十
一回、第六十二回、第六十四回、第六十五
回、第六十七回、及ビ第六十九回帝國議會ノ
協贊ヲ經、其財源ニ充ツル爲メ公債ヲ發行
スルコトヲ得ルノ法律ヲ制定ヲ見タノデア
リマシテ、之ニ依ッテ昭和十一年度マデノ經
費ヲ支辨シ得ル次第デアリマスルガ、昭和
十二年度分ノ經費トシテ、更ニ二億八千七
百三十餘萬圓ヲ必要トスルノデアリマス、
右ノ中特別會計ノ分ハ、全部普通財源ヲ以
テ支辨致シマスルガ、一般會計ノ分ニ付キ
マシテハ、滿洲國國防費分擔金受入等ニ相
當スル金額ヲ加減致シマシテ、二億六千五
百四十餘萬圓ハ、今日ノ財政狀況並ニ本經
費ノ性質ニ顧ミマシテ、從來ノ如ク公債財
源ニ依ルコトト致シマシタ爲メ、現行滿洲
事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關ス
ル法律ニ依ル發行限度ヲ改正增加スルノ必
要ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出致シマ

シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望スル次第デアリマス

○議長(富田幸次郎君) 質疑ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許可致シマス——松田正一君

(松田正一君登壇)

○松田正一君 私ハ上程ニナツテ居リマスル昭和十二年度歳出補填ノ爲ノ、世ニ所謂赤字公債、及ビ滿洲事件費ニ基ク赤字公債、是等ノ赤字公債ヲ消化スルト云フ其見透シニ付テ、大藏大臣ノ意見ヲ承リタイノデアリ、御承知ノ如ク公債ノ消化ハ、國民ノ蓄積餘力ニ依ツト云フコトハ論ヲ俟タヌコトデアルガ、唯ソレノミニ依ツテ公債ガ消化出來ルカドウカ、此公債ノ消化ト云フモノハ、少クトモ國民ノ愛國心ト義務ノ觀念ガナケレバ、公債ノ消化ト云フモノハ圓滑ニ圖ルコトハ出來ナイ、元々高橋大藏大臣當時ニ、所謂赤字公債ト云フモノガ曲リナリニ消化ラシテ來タト云フ、ソレハヤハリ高橋大藏大臣ニ對スル國民ノ信頼、其公債ヲ發行スルト云フ理由ヲ、國民ガ理解ヲ致シテ居ツカカラ、此赤字公債ト云フモノハ消化ガ出來テ來タノデアル、何故高橋元大藏大臣ニ對シテ信頼ヲ致シテ居ツカト云フト、其財政ノ立テ方及ビ豫算ノ査定ニ付テハ、事ニ暨ヘレバ、主人ガ家族ヲ伴レテ百貨店ニ物ヲ買ヒニ行ク、斯ウ云フ事ガアルトシマシテ、所デオ前達幾ラモ欲シイ物ガアルダラウガ、懐ロニ一萬圓シカ金ハ無イノダカラ、此一萬圓デ買ヘルダケニシテ

置ケヨト云フノガ、高橋大藏大臣ノ豫算査定ノ方針デアツタ、所ガ明年度發行スル、此公債ノ高ヲ出シタ原因デアル所ノ、前ノ馬場大藏大臣ハ豫算並ニ財政方針ト云フモノハ、結城大藏大臣ガ其根幹ヲ踏襲致シテ居ル、其前馬場大藏大臣ノ豫算ノ査定ト云フモノハ、主人ガ家族ヲ伴レテ百貨店ハ物ヲ買ヒニ行ツテ、今日ハオ前達ノ好キナ物ヲ買ウテヤル、金ハ俺ノ懐ロニアル金デ足リルカ足リヌカ分ラヌガ、足ラナカッタラ借金ヲシテ來テヤル、借金ガ出來ナカッタラ、人ノ懐ロニ手ヲ突込ンデモ取ツテ來テヤルカラ買ヘ、斯ウ云フ風ナヤリ方ノ豫算ノ査定ノ仕方デアル、ソレガ爲ニ財界並ニ市場ト云フモノト政府ノ對立ガ起ツテ、昨年ノ十月ノ下旬ニ至ツテ、政府ガ發行致シタ昭和二十四年償還ノ三分五厘ノ公債ト云フモノハ、發行價格ヲ三十錢割ツタコトニナル、其時ニハ驚イタ、日本銀行モ驚イタ、是カラドレダケ公債ヲ發行シナケレバナラヌカ分ラヌノニ、モウ今ニシテ發行價格ヲ三十錢割ツタ、其時ニ今ノ結城大藏大臣モ、日本興業銀行ノ總裁ヲ致シテ居リマシタ、其當時ノ結城總裁モ、預金部カラ二千萬圓ノ金ヲ出シテ來テ、市場工作ニ掛ツタコトガアル、アノ狼狽ノ仕方ハドウデアルカ、結局國民ト政府トノ對立ガ起ツタ、ソレデ大藏大臣ニ承リタイノデスガ、日本銀行ノ元ノ總裁深井サンガ御辭メニナルト云フコトヲ言出シテ、今デハ辭メテ居ラレル、アレハドウ云フ譯デ深井サンガ辭メルト言出シタカ、ソコナンデス、一方ニ増稅ヲヤルワ、一方ニ公債ヲ

出スワ、市場ト政府ハ對立シテ來タワ、到底此公債ノ圓滿ナル消化ハ圖ルコトハ出來ヌ、此市場ト政府トノ對立ヲ、日本銀行ノ總裁トシテ圓滿ナル解決ヲ圖ル譯ニハ行クマイ、寧ロ足下ノ明ルイ内ニ辭メタ方ガ賢明ノ策ダト云フヤウナ考デ、辭表ヲ出シタト云フヤウナコトヲ聞イテ居ルガ、是等ノ點ニ付テ大藏大臣ガ御承知ナラバ承リタイ、斯ウ云フ風ナ譯デ、今ヤ赤字公債ノ發行ニ付テハ、國民ハ之ヲ果シテ消化スルダケノ理解ヲ持ツテ居ルカドウカ、何處ヲ擱ンデ大藏大臣ハ之ヲ消化サスト云フ考ガアルカ(拍手)ソレヲ承リタイノデアリマス

モ、銀行ハヤハリ手持金ヲ餘計ニシテ居テ公債消化ヲヤツテ居ラヌ、昨年ノ一月ニ赤字公債ハ一億二千萬圓賣レテ居ル、今年ノ一月ハ僅ニ二千萬圓シカ賣レテ居ラナイ、一月二月ヲ合計シテ見マシテ、昨年ノ二月ノ末ノ計算デハ二億七千万圓バカリ賣レテ居ツタ、本年ハ只ノ六千六百萬圓シカ賣レテ居ラナイ、昨年ト比較スレバ二億圓少イ、コンナ形勢デスガ、此形勢ヲ眺メテ、アナタハ何處ヲ擱ンデ此赤字公債ヲ消化ササウト云フノカ、其理由ヲ承リタイ、成程アナタニナツテカラ、綜合課稅ガ源泉課稅ニナツタト云フノデ、漸ク鐘淵紡績ノ社債トカ、或ハ東邦電力、宇治電、ソレカラ東横電鐵、或ハ京城電軌トカ、滿鐵等ノ社債ガ發行サレ掛ツテ居ルケレドモ、兎ニ角銀行ハ手持金ヲ殖ヤシテ居ツテ、三月カラ後ノ金ノ動キヲ見越シテ、其手持金ヲ以テ公債ヲ買ハウトハシテ居ラス、此見透シラドウ云フ風ニ付ケテ居ラレルカ、之ヲ承リタイノデアリマス

ソレト結城大藏大臣ノ聲明カラ考ヘテ見マスルト、軍備ノ充實、産業ノ擴充、ソレカラ大陸政策ト云フモノガアル、此大陸政策ノ方針ニ基イテ、年々アノ滿洲ニ流れ出テ居ル金ハドレダケアルカ、滿洲事件費及ビ事業資金ト云フモノヲ合計致マスレバ、四億八千万圓カラノ金ガ滿洲ニ流レテ行ツテ居ル、ザツト五億萬圓ノ金ガ年々今デモ流レテ行ツテ居ルノデアリマス、ソレニ又今度ハ滿洲産業五箇年計畫ト云フモノヲ樹テ、五箇年ノ間ニ、二十三億圓ノ金ヲ滿洲

ニ流レササウト云フ計畫ガアル、其内譯ヲ申シマス、滿洲國ハ二十三億圓ノ中六億圓、日本政府ガ一億圓、日本興業銀行ガ一億圓、ソレカラ財界人が直接投資スルノガ六億圓、滿鐵ヲ經テ出資スル金ガ九億圓ト云フコトニナツテ居リマス、是レ及ビ北支ノ經濟ノ工作ノ爲ニ、内地カラ流レテ行ク金ト云フモノガ斯ノ如ク殖エテ來ルナラバ、ソレガ爲ニ日本ノ貨幣ノ動キガ頻繁ニナツテ來ル、斯クナツテ來ルト、ヤハリ預金モ減ツテ來ル、貸出ハ殖エテ來ル、是デ公債ノ消化ガドウシテ圖ラレルカ、國民ガ之ヲ心配致シテ居ルノデアル、之ニ對スル大藏大臣ノ御考ハドウ云フ考ヲ有ツテ居ラレルカ

ソレカラ近頃保險會社ヲ大藏省ガ共管スルト云フ話ガアル、是ハドウ云フ譯デサウ云フコトヲ爲サルノカ、何モ理由サヘ分レバ私ハ反對スルノヂヤナイ、其理由ガ少シモ分ラヌ、何十年ノ間保險會社ハ大藏省ノ監督ヲ受ケナカッタ、今度大藏省デ共管ヲヤルト云フヤウナコトヲ承ツタガ、ソレハ一體ドシナ理由デ共管ヲサレヨウト云フノカ、保險會社ハ茲ニ申シマスル三十三社ノ運用資金カラ申シマス、丁度證券擔保以外ノ公債消化ハ、二十五億圓消化致シテ居リマス、ソレデ其保險會社ノ資金ハ四分ニナツテ居リマス、保險會社ハ四分ノ利息ヲ拂ツテ居リマス、ソコデ三分五厘ノ公債ヲ持テトテモ、是ガ持テマスカ、ソレデモ忍シデ大藏省ヤ日本銀行カラ保險協會ニ話ガアツタカラ、涙ヲ吞シテ二十五億圓マデ

公債ヲ消化致シテ居リマス、今年々保險會社ハ三億圓ノ運用資金ガ殖エテ居ル、其内デ一億圓ダケハ公債ノ消化ニ充テ、居リマス、ソレヲ今度共管ニデモシテ、残り二億圓モ共ニ公債ヲ消化サシタイト、斯ウ言ハレルノカ、外ニ又理由デモアルノカ、假ニ此残り二億圓ヲ消化サセルト言ヘバ、此二億圓ハ産業資金ニ出テ行ツテ居ル金デアリマスカラ、之ヲ公債ニ廻シテ來レバ、産業資金ガ潤渴シテ來ル、アナタノ政策ニ産業擴充ト云フコトガアリマスガ、サウスルト産業ガ萎靡沈滞シテ來マス、少クトモ産業資金ノ金ガ利息ガ高クナツテ來ル、之ヲドウナサル御考デアアルカ、若シ共管サレヨウトスルノナラバ、ドウ云フ意思デ共管サレルト云フノカ、愈共管スレバ、サウ云フ風ナ考ヲ持タレテ居ルノヂヤナカラウカ、ソレハ今マデ大藏省ハ銀行ノ監督ヲ致シテ居ル、ソレデ今度保險會社ヲ共管シテ、ヤハリ銀行ヲ監督スルヤウニ監督シヨウト云フノカ、一體アノ銀行ノ監督ヲ爲サルノニ、検査員ガ銀行ヘ來タ時ニドウデセウ、前ノ馬場大藏大臣ガ日本勸業銀行ノ總裁ヲ致シテ居ル時ニ、大藏省ノ検査官ガ銀行ヲ検査シタ、アノ時ニ馬場サンガ言ウタト云フコトガ新聞ニ載ツテ居ッタ、大藏省ノ銀行検査官ハ重箱ノ隅ヲ穿クルヤウナコトヲシテ、大局ヲ失ウテ、人ライヂメントスルヤウナ方法ヲ執ツテ居ル、アレヂヤイカスト云フコトヲ、馬場サンガ日本勸業銀行總裁ノ當時ニ言ツテ居ッタ、今ノ大藏大臣ハ日本興業銀行ノ總裁ヲ致シテ居ッタノデスガ、大藏省ノ役

人ガ銀行ヲ検査スルコトハ、御經驗ガアルダラウト思ハレル、此銀行ノ検査ト云フモノハ、一體騒々シイバカリデ、チットモ事實ノ検査ニナツテ居ラス、兎ニ角「ドア」ヲ明ケテ銀行ヘ入ツテ來テ金庫ヲ明ケヨ、有金ヲ出セ、斯ウ云フ態度デアアル(拍手)ソレデ給仕ガ驚イテ警察ヘ電話ヲ掛ケヨウトスル、サウスルト待テ、俺ハ大藏省ノ銀行検査官ダ、「ピストル」持ツテ居ラスカラ安心セイト言ツタト云フ(笑聲)斯ウ云フヤリ方デ検査ヲ爲サル、検査ヲヤッタ其結果ノ答申書ヲ御覽ナサイ、大藏省ノ銀行局ニアリマスカラ、金ヲ預ツテ貸シテ居ル、貸シテ居ツテモ金ハ残ツテ來タ、残ツテ來タ金デ株ヲ持ツタ、是ハ法律デ許シテ居ル權利デアアル、其株ヲ持ツナト言ハンバカリニ、成ベク貸付ケヨト斯ウ言フ、貸付ケヨト云ツテモ、擔保モナシ、信用モナイ者ニハ貸付ハ出來ナイ、貸付ケテ取レナララソレマデデアアル、大藏省ハ別段ソレヲ償ウテ呉レル譯ヂヤナイ、貸スニモ貸セヌ金ガ其處ニアラカラ、ソレヲ遊バシテ置イテハイカヌカラ、法律ガ許シタ株ヲ持ツテ居ル、其株ヲ持ツナト、斯ウ言フ、サウスルトドウセイト言フノカ、詰リ公債ヲ持テト云フコトニナル、ソナラソレデ膝詰デハキリ其譯ヲ言フガ宜イ、公債ヲ持テナラ持テト言フガ宜シイ、廻リ廻ツテ嚇シ廻ル、是ハドウモ銀行ト政府ノ對立關係ニナツテ來マスカラ、赤字公債消化ノ上ニ非常ナ支障ヲ來シマス、此保險會社ヲ愈、共管スルト云フコトニナルナラバ、其理由ハドウカ、果シテ共管シ

テドウシヨウト言フノカト云フ意見ヲ簡單ニ承リタイ

ソレカラ公債ヲ郵便局デ賣ルト云フコトガ近頃新聞ニ出テ居ル、成程是ハ好イ考デ、吾々ハ反對ハ致サヌ、反對ハ致サヌケレドモ、今日本ノ國民ノ蓄積餘力ノ資金ニ對スル利息ハドレダケカト言フト、國民ノ貰ツテ居ル利息ハ、郵便貯金ガ今度利下ニナツテ、四月一日カラ二分七厘六毛ニナル、ソレカ、但シハ銀行ノ定期預金ニ入レテ置イテ、サウシテ利息ヲ貰フトスレバ三分三厘、是デ税金ヲ引クト丁度二分八厘チヨット上ニナル、サウスルト郵便貯金ト定期預金ト平均スルト、國民ノ金ヲ吸收スル其利息ト云フノガ、先ヅ二分八厘デ國民ノ金ト云フモノハ吸收サレテ居ル、ソレダカラ今度公債ヲ郵便局ノ窓口デ賣ルコトニナツタナラバ、三分五厘公債デ、發行價格カラ單利ニ廻セバ三分六厘三毛位ニナリマセウ、サウスルトソレハ税金ヲ引イテモ三分三厘位ニナリマス、ザットノ計算ガ、國民ハ公債ヲ郵便局デ買ヘバ、普通ノ預金若クハ貫金致シテ居ルノカラ、五厘ダケ餘計ノ利息ヲ貰ヘルコトニナルカラ、是ハ宜シイ、是ハ宜シイト致シマシテモ、サウスルト銀行ノ定期預金ハ減ツテ來マス、銀行ノ定期預金ハ減ツテ來ルコトニナリマス、ソレカラ政府ノ預金部ノ金ハ減ツテ來マス、一方二分七厘六毛デ預ケテ居ル郵便貯金ヲ引張り出シテ、三分三厘ノ公債ヲ持タウト云フコトニナルノハ、是ハ當然デアリマスカラ、キツト預金部ノ金ガ潤渴シテ來マス、銀行ノ定期預金ガ減ツテ來マス、銀

テドウシヨウト言フノカト云フ意見ヲ簡單ニ承リタイ

ソレカラ公債ヲ郵便局デ賣ルト云フコトガ近頃新聞ニ出テ居ル、成程是ハ好イ考デ、吾々ハ反對ハ致サヌ、反對ハ致サヌケレドモ、今日本ノ國民ノ蓄積餘力ノ資金ニ對スル利息ハドレダケカト言フト、國民ノ貰ツテ居ル利息ハ、郵便貯金ガ今度利下ニナツテ、四月一日カラ二分七厘六毛ニナル、ソレカ、但シハ銀行ノ定期預金ニ入レテ置イテ、サウシテ利息ヲ貰フトスレバ三分三厘、是デ税金ヲ引クト丁度二分八厘チヨット上ニナル、サウスルト郵便貯金ト定期預金ト平均スルト、國民ノ金ヲ吸收スル其利息ト云フノガ、先ヅ二分八厘デ國民ノ金ト云フモノハ吸收サレテ居ル、ソレダカラ今度公債ヲ郵便局ノ窓口デ賣ルコトニナツタナラバ、三分五厘公債デ、發行價格カラ單利ニ廻セバ三分六厘三毛位ニナリマセウ、サウスルトソレハ税金ヲ引イテモ三分三厘位ニナリマス、ザットノ計算ガ、國民ハ公債ヲ郵便局デ買ヘバ、普通ノ預金若クハ貫金致シテ居ルノカラ、五厘ダケ餘計ノ利息ヲ貰ヘルコトニナルカラ、是ハ宜シイ、是ハ宜シイト致シマシテモ、サウスルト銀行ノ定期預金ハ減ツテ來マス、銀行ノ定期預金ハ減ツテ來ルコトニナリマス、ソレカラ政府ノ預金部ノ金ハ減ツテ來マス、一方二分七厘六毛デ預ケテ居ル郵便貯金ヲ引張り出シテ、三分三厘ノ公債ヲ持タウト云フコトニナルノハ、是ハ當然デアリマスカラ、キツト預金部ノ金ガ潤渴シテ來マス、銀行ノ定期預金ガ減ツテ來マス、銀

行カラ考ヘテ見マス、今マデノ預金ノ總高カラ申シマス、預金ノ殘ツタ金ノ四割ハ公債ノ消化ニ充テ、居ツタ、六割ハ産業資金ニ充テ、居ツタ、ソレガ郵便局ノ窓コト公債ヲ賣ルヤウニナツテ來テ、定期預金ノ期限ガ來タラ、皆引摺出シテ公債ヲ買フヤウニナツタラバ、今マデ銀行ノ預金ノ四割ヲ以テ公債ヲ消化シテ居ツタモノハ、皆出シテシマヒ、ソレ以上ニ産業資金ニ廻ッテ居ツタ六割ノ預金ト云フモノモ、ヤハリ引ツ張り出シテ公債ヲ買フコトニナリマスカラ、サウスルト銀行ノ産業資金ニ廻ル金ハ少クナツテ來マス、サウスルト親銀行ガ日本銀行カラ金ヲ借りテ來テ、其金ヲ又普通銀行ガ借りテ、ソレヲ産業資金ニ貸シタナラバ、二重ノ天引利息ヲ引カレマスカラ、産業資金ガ高クナツテ來マス、サウスルトアナタノ言フ産業ノ擴充トカ云フコトハ、果シテ望マレマスルカドウカ、之ヲ承リタイ

ソレトモウ一ツ、公債ヲ國民直接ニ買フ結果ニ付テ御尋致シタイノデアルガ、國民ガ公債ヲ郵便局カラ買ウテ、其公債ヲ賣ル時ニハドウナサル、郵便局ノ窓カラ時價デ買ウテ呉レマスカドウカ、之ヲ承ッテ置キタイ、サウ云フコトデ郵便局ノ窓カラ時價デ買ウテ呉レ、バ宜シイ、呉レナカッタナラバ證券會社ヘ持ッテ賣リニ行ク、足下ヲ見ルカラ安ク買フ、銀行ニ擔保ニ入レル、是ハ利ガ高イ、結局國民ハ公債ヲ持ッテ路頭ニ迷フコトニナリマスカ、サウスルト又國民ノ經濟ヲ破壊シテ來ルコトニナリマス、是ハドウデス、サウ云フコトニナツタトシタラドウ

ナルカ、郵便局デ果シテ賣ルト云フコトニナツタラドウナルカ、之ヲ承リタイ

ソレカラモウ一ツ、低金利政策ヲヤツテ居ル、是ハ公債消化ノ一便法トシテヤツテ居ルガ、是ハ何モ惡イコトデヤナイ、惡イコトデヤナイガ、低金利政策ガ下國民ニ徹底ヲ致シテ居ルカト云フコトヲ承リタイ、唯大資本家トカ、大會社トカ、政府ノ半官半民ノ銀行ダトカト云フノダケガ、低金利デ暴利ヲ貪ッテ居ルガ、下國民ニ對シテ低金利ガ平等ニ行渡ッテ居ルカドウカト云フコトヲ承リタイ、大藏大臣ハ斯ウ云フコトハ是ハ御承知ダラウト思フ、農工銀行ガ元低金利政策ノ行ハレヌ前ニハ七分五厘、年ニ七分五厘カラ七分ノ農工債券ヲ發行シテ居ツタ、假ニ七分ノ農工債券ヲ發行シテ居ツテ、國民ノ金ヲ七分デ吸收シテ居ル、サウシテ貸スノハ八八朱八厘デ貸シテ居ツタ、サウスルト一朱八厘ダケ利鞘ヲ取ツテ農工銀行ガ生キテ居ツタ、ソレガ低金利政策ニナツタカラ、近頃農工債券ヲ發行スルノハ、先ヅ三分八厘カラ四分、マダ高イモノモ多少アリマスカラ、平均四分ト見マシテモ、其金ヲソシナラ一朱八厘ノ利鞘デ貸シテ居ルカト云フト、決シテ貸シテ居ラス、ソレデ一番安イノデ六分六厘、マダズツト高イモノモアリマス、七分、七分二厘、七分三厘ト云フモノガアリマス、平均致シマスルト云フト、今ノ所デハ農工銀行ノ貸付ノ平均利率ト云フモノハ七分一厘ニナツテ居ル、サウスルト元ハ七分デ金ヲ吸收シテ、一分八厘ノ利鞘ヲ取ツテ生キテ居ツタ農工銀行ガ、今度ハ低金利政策ヲヤツタ爲

ニ、三分一厘ノ利鞘ヲ取ツテ居ル、暴利ヲ貪ッテ居ル、其踏臺ニ誰ガナツテ居ルカト云フト、農民ガ其踏臺ニナツテ居ル、農民ノ借金シテ居ル者ガ此踏臺ニナツテ居ル、ソレデスカラ今農工銀行ハマア大體一割ノ配當ヲシテ居ル、日本銀行ハ一割ノ配當ヲシテ居ル、正金銀行ガ一割ノ配當ヲシテ居ル、ソロリト此半官半民ノ銀行ハ一割ノ配當ヲシテ居ルノデアリマスカ、而モ普通ノ銀行ハドレダケニナツテ居ルカト云フト、平均六分三厘五毛位シカ配當ハシテ居リマセヌ、是ハドウナリマセウカ、低金利政策ダト云ツテ、如何ニモ國民ノ爲ニ低金利政策ヲヤツテ居ルヤウニ見ラレマスルケレドモ、大資本家、大銀行、政府ノ銀行等ガ此低金利政策ニ依ッテ暴利ヲ貪ッテ、下國民ヲ踏臺ニシテ居ルト言ハレテモ仕方ナイデセウ(拍手)結城大藏大臣、アナタハコンナコトヲ御承知デセウカ、澤山ノ資本ヲ持ツタ者ハ、斯ノ如ク低金利政策デ利益ヲ得テ居ル、所デ三万ヤ二万持ツタ所ノ、ソレト(預金)ノ利息デ食ッテ居ツタ者ハ、其外ニ殆ドアリマセヌ、半分以下ノ利息ニナツテ居ル、元ハ六分五厘ノ定期預金デアツタモノガ、今デハ先ニ申シタ如ク税金ヲ引カレルト二分八厘シカアリマセヌ、ソレデハ飯ガ食ヘヌカラ、何處カニ此金ヲ廻ス所ハナイカ、高利ニ廻ス所ハナイカト云ツテ見付ケタノガ労働者ニ對スル貸付、是ガ益殖エテ來ル、今日デハ東北カラ中都市、又ハ小都市ヘモボツツヤツテ來タ、ソレカラ工場、ソレカラ滿洲、朝鮮、

此處ニ金ヲ持ッテ行ッテ労働者ニ貸付ケル途ヲ開イテ、之ニ高利貸連中ガ段々ト手ヲ擴ゲテ來タ、労働者ハ日々計算デ、一日ノ日給ヲ貰ッテ來レバソレデ宜シイガ、ソレハ手數ダカラト云ツテ、先ヅ月ニ二回位ノ計算デ、十五日ニ一遍位シカ賃銀ハ拂ッテ呉レヌ、ケレドモ労働者ハ十五日間待テヌ、米ヲ買フ金ガナイ、待テヌ、ソレヲ見付ケテ金ヲ貸シテヤラウト云ツテ金ヲ貸シニ行ク、其金ハ一圓ニ付テ十五日ノ間ノ利息ガ二錢、サウスルト十五日デ二錢ダカラ一箇月四錢デス、サウスルト一年經ツタラ利息ガ一圓ニ對シテ四十八錢、コンナ利息ヲ取ツテ労働者ニ金ヲ貸シテ居ル、サウスルト一万圓ノ金ヲ是デ廻セバ年ニ四千八百圓ノ利息ガ取レル、一万圓ノ金デ四千八百圓ノ利息ガ取レル、同じ一万圓デ赤字公債ヲ持ツタナラバ、三分三厘カ四厘シカ取レヌ、ソレニ稅ヲ引カレルノデアルカラ、一万圓ノ金ハ僅ニ三百三十四圓位モ取レナイノニ、一方ハ四千八百圓取レルト云フノデハ、此開キハ餘リニ廣過ギマス、サウスルト此貸シ方ガ流行ッテ來ルト、預金ヲ引摺リ出シテ貸ス、終ヒニハ財産ヲ擔保ニ入レテ銀行カラ借りタ金ヲ之ニ貸ス、斯ウ云フコトニナツテ來ルト結局預金ガ減ル、貸付ハ殖エル、サウシテ而モ労働者ハ是ガ爲ニ高イ利息ヲ拂フ、斯ウ云フ風ナ事實ガ今アリマスカ、大藏大臣ハ御承知カ、高利貸ヲ取締ルニアラザレバ、赤字公債ト云フモノノ消化ニ支障ヲ來シヘヌカ、餘リ事實ガ荒ッボイ事實デアルカラ、松田ハ嘘ヲ言ッテ居ルノデヤ

ニ、三分一厘ノ利鞘ヲ取ツテ居ル、暴利ヲ貪ッテ居ル、其踏臺ニ誰ガナツテ居ルカト云フト、農民ガ其踏臺ニナツテ居ル、農民ノ借金シテ居ル者ガ此踏臺ニナツテ居ル、ソレデスカラ今農工銀行ハマア大體一割ノ配當ヲシテ居ル、日本銀行ハ一割ノ配當ヲシテ居ル、正金銀行ガ一割ノ配當ヲシテ居ル、ソロリト此半官半民ノ銀行ハ一割ノ配當ヲシテ居ルノデアリマスカ、而モ普通ノ銀行ハドレダケニナツテ居ルカト云フト、平均六分三厘五毛位シカ配當ハシテ居リマセヌ、是ハドウナリマセウカ、低金利政策ダト云ツテ、如何ニモ國民ノ爲ニ低金利政策ヲヤツテ居ルヤウニ見ラレマスルケレドモ、大資本家、大銀行、政府ノ銀行等ガ此低金利政策ニ依ッテ暴利ヲ貪ッテ、下國民ヲ踏臺ニシテ居ルト言ハレテモ仕方ナイデセウ(拍手)結城大藏大臣、アナタハコンナコトヲ御承知デセウカ、澤山ノ資本ヲ持ツタ者ハ、斯ノ如ク低金利政策デ利益ヲ得テ居ル、所デ三万ヤ二万持ツタ所ノ、ソレト(預金)ノ利息デ食ッテ居ツタ者ハ、其外ニ殆ドアリマセヌ、半分以下ノ利息ニナツテ居ル、元ハ六分五厘ノ定期預金デアツタモノガ、今デハ先ニ申シタ如ク税金ヲ引カレルト二分八厘シカアリマセヌ、ソレデハ飯ガ食ヘヌカラ、何處カニ此金ヲ廻ス所ハナイカ、高利ニ廻ス所ハナイカト云ツテ見付ケタノガ労働者ニ對スル貸付、是ガ益殖エテ來ル、今日デハ東北カラ中都市、又ハ小都市ヘモボツツヤツテ來タ、ソレカラ工場、ソレカラ滿洲、朝鮮、

ナイカト思ハレルカモ知レナイ、今内務大臣ハ居ラレナイガ、内務省ノ土木局ノ河川ノ係リノ直轄工事ノ人夫ヲ調べテ貫ヒタ

イ、現在モシテ居ル、サウ云フ風ナコトニナツテ、低金利政策ノ爲ニ、上ノ者ハ宜イケレドモ、下労働者、農民ト云フモノハ、斯ノ如ク犠牲ニナツテ踏臺ニサレテ居ルト云フ事實ガアル、ダカラナゼ此高利貸ヲ取締ラナイカ、アナタハ御承知ナイカモ知レマセズガ、恩給ヲ擔保ニシテ貸スコトハナラヌト云フテモ止メサセルコトハ出来ナイ、アレデモマダ法網ヲ潜ッテ二億二千万圓モ貸シテ居ル、所ガ今ノハチットモ法律デハ禁ジテ居ラス、成程訴訟方起ッテ、之ヲ法定利率カラ云フト違反ニナルカモ知レヌガ、是ハ分ラス、而モコンナ高利貸ハ税金ヲ免レテ居ル、斯ウナツテ來テ、是ガ段々低金利政策デイデメラレルト、其金ヲ利息ニ廻スコトニ苦ンデ、其爲ニ労働者ヲ脅シ、農民ヲ脅カス貸スノハ宜イ、宜イケレドモ、モット利息ヲ安クシテヤラナケレバ、結局此労働者、農民ト云フモノハ、低金利政策ノ犠牲ニナツテ居ル、斯ウ云フヤウナ點ハ御承知デヤナイカ、若シ御承知デナクテモ、コンナコトガ世ノ中ニアルトスルナラバ、此高利貸ヲ取締ル御考ガナイカト云フコトヲ承ッテ置キタ

御意見ヲ聽キタイノデアリマス(拍手)
○國務大臣(結城豊太郎君登壇) 松田君ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、今後中々公債ノ發行ガ多イダラウガ、ソレ等ニ付テ見透シガアルカト云フ御尋デアリマシタガ、是ハ御話ノ通り、根本ハ資金ノ蓄積ニアリマス、ソレカラ一面ハ公債ニ對スル信用、詰リ御話ノヤウニ、高橋サンノヤウナ方ニ對スル信賴、國ノ財政ニ對スル信賴ト云フモノガ、公債ヲ消化致サセマスルノデ、資金ノ蓄積ト同時ニ、國ノ財政ニ對スル信賴ト云フコトニ付テ十分ニ意ヲ用ヒテ、公債ノ消化ヲ滑カニスルヤウニ努メタイト思ッテ居リマス、ソレカラ保險會社ヲ大藏省ノ共管ニスルト云フコトハ、ドウ云フ理由カト云フ御尋デアリマシタガ、保險會社ハ御承知ノ通り、非常ニ大キクナリマシテ、金融機關トシテモ、投資機關トシテモ、絶大ナル力ヲ持ツヤウニナツタデアリマス、是ハサウ云フ點カラ大藏省ノ方デモ商工省ト一緒ニ、其邊ノ投資ニ付テ間違ヒナイヤウニ、見テ行キタイト云フ考カラ起リマシタ次第デアリマス、ソレカラ公債ノ郵便局賣出ハ、銀行ノ定期預金ノ減少ヲ來ス虞ハナイカト云フコトデアリマスルガ、從來公衆ハ公債ヲ持ツコトノ習慣ガ餘リ付イテ居リマセヌ、公債ノ民衆化ト云フコトハ、是非國ヲネバナラスノデアリマシテ、其爲ニハ今回ノヤウニ郵便局ヲ通シテ賣出スヤウナ方法ヲ採ッテ、徐々ニ民衆化ヲ圖ッテ見タイト思フデアリマス、併シ賣ル時ダケ賣ッテ、買ハ

ナケレバ困ルチヤナイカト云フコトデアリマスルガ、是ハ預金部ノ方デ郵便局ヲ通シテ買上ゲルヤウナ方法ヲ講ズル積リデアリマス、ソレカラ低金利ハ平等ニ浸潤シテ居ルモノト見ルカ、中々小資本家ノ高利貸、其他ニ高イ金利ヲ拂ッテ居リ、労働者其他モ困ッテ居ル、ソレ等ヲ取締ル意思ガナイカト云フ御尋デアッタト思ヒマスルガ、是ハ十分ニ其邊ノ取締ヲ關係當局ト共ニ致ス考デアリマス
○松田正一君 大陸政策ニ對スル金ノ流レガ、赤字公債ノ消化ニ支障ヲ來サヌカト云フコトニ付テノ答辯ガナカクヤウデアリマス
○國務大臣(結城豊太郎君登壇) 御答ヲ申上ゲマス、大陸政策ト云フコトデアリマスガ、是ハ多分滿洲其他ニ日本ノ資金ガ流レテ行クコトニ對シテ、公債ノ消化ノ懸念ガナイカト云フ御尋デアアラウト思ヒマスガ、其邊ハ十分ニ當局ト致シマシテハ考ヘテ、處理ヲ致ス積リデアリマス
○松田正一君 簡單デアリマスカラ此席カラ……
○議長(富田幸次郎君) 御許シマス
○松田正一君 只今ノ御答辯ニ依ッテ一向要領ヲ得マセヌ、一口ニ御答辯ヲサレマスカラ、ドウシテモ了解スルコトガ出来兼ネマス、併シ是ハ私ハ赤字公債ノ消化ニ對スル、ホンノ露拂ヒノ質問ヲ致シタノデアリマシテ、何レ他ノ機會ニ於テ徹底的ニ質問スルコトト致シマシテ、私ノ質問ヲ打切り

マス(拍手)
○議長(富田幸次郎君) 大本貞太郎君
(大本貞太郎君登壇)
○大本貞太郎君 私モ公債政策ニ對シマシテ、簡單ニ四五ノ事柄ニ付テ大藏大臣ニ質問シタイト思フデアリマス
第一ニ公債消化ノ問題デアリマスガ、是ハ只今松田君カラモ御質問ガアリマシテ、大藏大臣ノ御答辯ガアリマシタガ、大藏大臣ノ御答辯ハ餘リニ廣漠デアリマシタカラ、私ハ今少シク具體的ニ御答辯ガ願ヒタイノデアリマスガ、御承知ノ通りニ我國ノ金融事情ハ、昨年一昨年ニ比較致シマシテ、著シク情勢ガ異ナツテ居ルノデアリマス、政府ハ急激ナル通貨ノ膨脹ヲ招來セズシテ、少クトモ現在ノ利率ヲ引上ゲズニ、又發行價格ヲ引下ゲズシテ、十億圓ニ垂ントスル所ノ昭和十二年度ノ公債ノ消化ニ確信ガアリマスルカドウカ、之ヲ具體的ニ承リタイト思フデアリマス

第二ハ、大藏大臣ノ屢々聲明サレテ居ル所ノ生産能力ノ擴充政策ト、低金利ノ維持促進政策ハ、少クトモ惡性「インフレーション」ノ招來ヲ防止セントスル財政政策ノ上ニ於テハ、相當ノ相剋ガアルモノト思ヒマスルガ、大藏大臣ハ如何ナル政策方法ヲ以テ、是ガ相剋ヲ避ケンストスルモノデアリマスカ、又生産能力ノ擴充ノ爲ニハ、或ル程度マデノ金利ノ昂騰、或ハ「インフレーション」ノ發生ハ、免レザルモノト御考ニナツテ居ルノデアリマスルカ、御所信ヲ伺ヒタイト思フデアリマス

第三ハ、五分利公債、四分利半公債ノ低利公債ヘノ借換ハ、金利調整ノ意味カラ申シマシテモ、亦國家財政ノ上カラ申シマシテモ、緊切ナル事柄デアアルノデアリマスルガ、大藏大臣ハ近ク借換ヲ行フ御意思ガアルノデアリマスルカドウカ、伺ヒタイト思フノデアリマス

第四ハ、我國ニ現存シテ居リマスル所ノ外債ニ對シマスル課税ニ付キマシテハ、現内閣ノ方針ハ、前内閣ノ馬場藏相案ニ比較致シマシテ、著シク緩和ノ方針ヲ採テ居ラレルノデアリマス、元來我國ニ現存致シテ居リマスル所ノ外債債ノ多クハ、御承知ノ通り昭和六年ノ金再禁止ノ直前ニ、所謂弗買ノ手段トシテ輸入サレタモノデアリマシテ、是ガ爲ニ莫大ノ正貨ガ流出シ、國民思想ノ上ニ非常ナル惡影響ヲ及ボシテ居ルノデアリマス、五・一五事件ノ如キハ、是ガ原因ノ一ツトナツテ居ルト傳ヘラレテ居ルノデアリマスルガ、此外外債ニ對シマシテ、何ガ故ニ現在ノ如キ好利廻ニ放置シテ優遇セネバナラヌ理由ガアルノデアリマスルカ、承リタイト思フノデアリマス

第五ニ、昨年末カラ御案内ノ通りニ、各種商品ヲ初メ有價證券ノ思惑熱、投機熱ガ頗ル昂進致シテ居ルノデアリマス、固ヨリ是ハ我國ダケノ現象デハゴザイマセヌノデ、見様ニ依ッテハ世界的ノ趨勢デアリマスルガ、此過當トモ見ルベキ思惑熱、投機熱ハ、勢ヒ資金ノ偏在ヲ來シマシテ、公債消化ニ支障ヲ與ヘ、又公債市價ニ惡影響ヲ及ボスモノト思フノデアリマスルガ、之ニ對スル

大藏大臣ノ御所信ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、又過當ノ騰貴ノ後ニハ、必ズ深刻ナル反動ガ附物デゴザイマシテ、其曉ニハ往々財界ノ恐慌ヲ來ス虞ガアルノデアリマスルガ、大藏大臣ハ現在ノ如キ思惑熱、投機熱ノ旺盛ニ對シマシテ、此反動ヲ未然ニ防グ所ノ、何カノ政策ノ發動ヲサレル意思ガアリヤ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、私ノ質問ハ洵ニ簡單デアリマスルガ、併シ大藏大臣ノ之ニ對スル御答辯ノ一言一句ハ、財界ニ非常ナル衝動ヲ與ヘルモノト考ヘマスルカラ、出來得ル限り具體的ニ慎重ニ御答辯アラントラ御願致シマス(拍手)

(國務大臣結城豊太郎君登壇)
○國務大臣(結城豊太郎君) 御答ヲ申上ゲマス、公債ノ消化ニ關シテ具體的ノ方針ヲ示セト云フコトデアリマスルガ、其一ツトシテ、今後發行價格ヲ維持シテ行ク積リカト云フ御話デアリマスルガ、是ハ其時ノ情勢ニ依ッテ考ヘネバナリマセヌノデ、豫メ申上ゲル譯ニハ參リマセヌガ、併ナガラ發行價格ヲ引下ゲテ發行致シマスルコトニナルト、發行ノ時ニハ極メテ消化ガ容易デアリマスルガ、既發ノ公債ノ市價ニ非常ナル影響ヲ來スト云フコトヲ御考置キテ願ヒタイト思ヒマス、其邊ノ所ハ十分ニ其時々ニ研究ヲシテ、慎重ニ處理致シタイト考ヘテ居リマス

第二ニ生産能力ノ擴充ト云フコトト、低金利ノ促進ト云フコトト、相剋狀態ヲ來スコトガナイカト云フコトデアリマス、事實

生産能力ガ擴充サレマシテ、其方ニ資金ヲ多分ニ要スルコトニナリマスルト、自然ニ低金利ノ促進ヲ阻止サル、結果ニナラウト思ヒマス、其邊ノ調和ガ金融業者トシテ、殊ニ中央銀行ノ當局者トシテ苦心ノ存スル所ダラウト思ヒマス

ソレカラ第三ノ公債ノ借換ヲ行ハントスル考ガアルカト云フ御尋デアリマスルガ、是ハ情勢ガ許シマスルナラバ、ソレヲ致シタイト存ジマス、併シ何時ソレヲ致シマスカ、ドウ云フ條件ヲ致シマスルトカト云フコトハ、其時ニナツテ見ナイト御答ノ致シヤウガナイノデアリマス

ソレカラ外債債ニ對シテ課税ノ緩和スル必要ガナイデヤナイカト云フ御話デアリマス、必シモ是ハ弗買ノ所産ト云フ風ニモ考ヘテ居リマセヌ、又外債債ニ對シマシテハ、最初ニ買入レタ人カラ段々ニ其時ノ市價ヲ轉々致シマシテ、今持テ居ル人ガ非常ナル利益ヲ受ケテ居ルト云フ風ニモ考ヘラレマセヌノデ、其所有者ニ對シテ不當ナル課税ヲスルト云フコトモ出來ニクイノデアリマス、其邊ノ所ヲ考ヘマシテ、適當ナル課稅率ヲ定メマシタヤウナ次第デアリマス

最後ニ最近ニ思惑、投機熱ガ非常ニ激シイヤウデアアルガ、ソレヲ抑制スル考ガナイカト云フコトデアリマスガ、是ハ日本ダケノ事情ニ因ルノデハゴザイマセヌ、世界的ノ影響ヲ受ケテ居ルコトガ中々多イノデアリマス、隨テ此方ダケ直チニ之ヲ行政手段其他ニ依ッテ抑制スルト云フヤウナコト

ハ、如何カト考ヘテ居リマス、併ナガラ其邊ノコトニ付キマシテハ、金融業者其他各種ノ方面ニ於テ行過ギノナイヤウニ、又ソレガ反動ノ結果惡影響ヲ來スヤウナコトガナイヤウニ、其邊銘々ニ自重スルコトヲ望ンデ居ルヤウナ次第デアリマス、以上御答ヲ申上ゲマス

○大本貞太郎君 簡單デゴザイマスカラ、此席ヨリ御許ヲ願ヒマス
○議長(富田幸次郎君) 宜シウゴザイマス
○大本貞太郎君 大藏大臣ノ御答辯ハ、頗ル抽象的デ要領ヲ得ナイト考ヘマスガ、何レ委員會ニ於テ御質問スルコトニ致シマシテ、私ノ質問ハ是デ打切りマス(拍手)

○議長(富田幸次郎君) 加藤鯛一君
(加藤鯛一君登壇)
○加藤鯛一君 私ハ現内閣ノ公債政策ニ付キマシテ疑ヲ懷イテ居ル一人デアリマス、故ニ之ヲ質シマシテ、政府ノ明確ナル御答辯ヲ承リマシテ、本案ノ贊否ヲ決スル資材ニ致シタイト存ズルノデゴザイマス、公債政策ハ申ス迄モナイコトデアリマスガ、一度之ヲ過チマスルナラバ、恐シイ「インフレーション」ヲ惹起致シマシテ、經濟機構ノ根本ヲ破壊スル虞ナシトシナイノデアリマス、故ニ公債政策ハ慎重ノ上ニモ慎重ニ之ヲ行ハナケレバナラヌト思フノデアリマスルガ、此公債政策ニ對シマシテ、前ノ大藏大臣デアリマシタ馬場氏ハ、何ノ根據ニ依ラレタカ存ジマセヌガ、我國ノ國民經濟力ニ應ジマシテ、約ソ十億圓位ノ公債ナラバ消化スルコトガ出來ルト云フ意味ノコト

ハ、如何カト考ヘテ居リマス、併ナガラ其邊ノコトニ付キマシテハ、金融業者其他各種ノ方面ニ於テ行過ギノナイヤウニ、又ソレガ反動ノ結果惡影響ヲ來スヤウナコトガナイヤウニ、其邊銘々ニ自重スルコトヲ望ンデ居ルヤウナ次第デアリマス、以上御答ヲ申上ゲマス

ヲ、色々ノ機會ニ於キマシテ、度々聲明セラレタノデアリマス、然ルニ吾々ハ其根據、信念ニ對シマシテ御伺スル機會ガナカッタコトヲ、洵ニ遺憾ニ存ジテ居ルノデアリマス、然ルニ現内閣ノ結城大藏大臣ハ、先般議員ノ質問ニ對シマシテ、ヤリヤウニ依ッテハ公債ノ消化ハ十三億、十五億デモ出來ルト云フ意味ノ御陳述ガ、此議場デアッタノデアリマス、私ハ十億ノ公債消化力ガアルト云フコトニ對シマシテモ、若干ノ疑問ヲ持ッテ居リマシタガ、結城大藏大臣ハ如何ナル信念ニ依ッテ、如何ナル根據ニ基イテ、十三億デモ、十五億デモ、ヤリヤウニ依ッテハ消化スルト云フコトヲ仰シヤイマシタガ其ヤリヤウト云フノハ、ドシナヤリヤウヲ爲サル御考デアリマスルカ、之ヲ第一ニ承リタイノデアリマス(拍手)諸君此ヤリヤウト云フコトハ、其時ニヤルンダカラ言ヘナイト仰シヤルカモ知レマセヌガ、ソレデハ國民ハ安心スルコトハ出來マセヌ、一度公債政策ヲヤリ損ヒマシテ、恐ロシイ「インフレーション」ヲ起シテ、其時ニ大藏大臣ガ假令責任ヲ執リマシテモ、國民ノ迷惑ハソレデハ救ハレマセヌ、ヤリヤウニ依ッテ出來ルト云フコトヲ言ハレマシタ以上ハ、凡ソ斯ウ云フヤリ方ヲ考ヘテ居ルト云フコトノ、大筋ダケノコトハ國民ニ御説明下サイマシテ、國民ガ此問題ニ付テ安心スルコトガ出來ルヤウニシテ戴キタイト思フノデアリマス

第二ハ、大藏大臣ハ度々産業ノ擴充ト云フ言葉ヲ使ッテオ居デニナリマスガ、此産業ノ擴充モ無條件デゴザイマシタナラバ、産業ハ跛行的ニ擴充セラレマシテ、著シク財界ヲ不安ナラシムルコトガナイトハ言ヘヌノデアリマスガ、此産業擴充ニ對シマシテ、如何ナル方法ニ依ッテ之ヲ爲サントシテオ居デニナルノデアリマセウカ、之ヲ御伺致シタイノデアリマス、又第三ニハ大藏大臣ノ貨幣制度ニ對スル御信念ヲ承リタイノデアリマス、此三ツノ問題ニ對シマシテ、大藏大臣ノ御答辯ヲ求メマスルガ、最後ニ總理大臣ニ對シマシテ御伺ヲ致シマスガ、ソレハ現内閣ノ政綱ト公債政策トノ關聯ニ付テデアリマス

先ヅ第一ニ其方法ニ付テ御伺ヲ致シマスガ、大藏大臣ノヤリヤウニ依ッテハト云フ、其ヤリヤウニ依ッテハノ、ヤリヤウヲ承リタイノデアリマスガ、大藏大臣ハ今後ノ公債ノ發行ハ、ヤハリ從來ノヤウニ日本銀行ニ引受セシメルノ方法ニ依ラレルノ御考デアリマセウカ、如何デアリマスカ、先程モ郵便局カラモ賣出スト云フ意味ノ御話ガアリマシタガ、郵便局ノ窓カラ賣出シ得ル公債ノ額ト云フモノハ、凡ソ限度ガアルト思ヒマスガ、此郵便局ノ窓ヨリ賣出ス外ニ、一般財界カラ公募スルヤウナ方法ヲ御執リニナル御考ヘテオ居デニナラヌノデアリマセウカ、如何デアリマスカ、大藏大臣ハ事モナク十三億、十五億デモ、ヤリヤウニ依ッテハ消化シ得ルト云フ意味ノ御話ヲナサイマシタガ、今日ノ金融情勢カラ考ヘテ見マスルト、國際的ニハ金ノ現送ヲセナケレバナナイ情勢ニナッテ居リマス、

國內的ニハ非常ニ公債ノ賣行ガ悪い、金融情勢ガ昨年ノ十一月頃ヨリ非常ニ變ッテ來テ居ルノデアリマス、先程モ松田君ガ申述ペラレマシタガ、公債ノ賣レ方ガ非常ニ悪い、昨年ノ一月ハ一億四千三百萬圓、二月ハ一億一千三百萬圓賣レテ居リマスガ、本年ノ一月ハ僅ニ二千三百萬圓、二月ハ四千三百萬圓、合計本年ノ一月、二月デハ六千六百萬圓デアリマスガ、昨年ノ一月二月ニ於テハ二億五千九百萬圓賣レテ居ルノデアリマス、所ガ昨年ノ七八月頃ノ金融情勢ハ、何人ト雖モ昨年末ノヤウニ、金融ガ逼迫スルコトヲ豫想シタ人ハ、恐ラク私ハ一人モナカッタデアラウト思フノデアリマス、是ガドウシテ斯ウ云フ風ニナッタカト云フコトハ色々アリマセウカ、馬場財政ノ國民經濟ニ適應セザル政策ガ色々發表サレタコトガ、重大ナル原因ト相成ッテ居ルト思フノデアリマス、即チ此馬場財政ガ色々ノ關係デ、物價ノ騰貴ヲ豫想セシメマシタガ爲ニ、著シク輸入ハ増大シタノデアリマス、正金銀行ハ此輸入ノ資金ヲ決済スル爲ニ、市中ノ短資ヲ非常ニ吸收シタコトハ事實デアリマス、之ニ政府ハ驚キマシテ、遂ニ興業銀行ヲ通ジテ、一億一千六百萬圓ノ資金ヲ正金銀行ニ貸與ヘテ、正金銀行ハ市中銀行ニ其金ヲ以テ短資ヲ償還シテ、是デ年末ノ金融ヲ切抜ケル一助ニナサイマシタコトモ、私ハ其通りダト思フノデアリマス、斯ウ云フ情勢デアリマシテ、又一方銀行預金ノ増加率ト云フモノモ、昨年頃カラ停頓ノ状態ニナッテ居リマス、昨年ノ

十一月下旬頃ノ銀行預金ノ殘高ハ、前年ニ比シマシテ約二億圓位ノ預金ガ殖エテ居ルト思ッテ居リマスガ、貸出ノ方ハ五億數千萬圓ニナッテ居リマシテ、産業資金ノ貸出ノ方ガ著シキ増加率ヲ示シテ居ルニ反シマシテ、銀行預金ノ増加率ハ稍、停頓ノ状態ニ相成ッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ内外ノ情勢ニアル時ニ當リマシテ、何ノ根據ニ依ッテ——十三億、十五億ノ公債ガヤリヤウニ依ッテハ消化シ得ルト云フ言明ヲ此處デナサイマシタル其御信念、其根據ニ付テ、吾國民ノ安心スルコトガ出來ルヤウナ、御親切ナル御説明ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス(拍手)

又産業ノ擴充ト云フコトヲ時々仰セニナッテ居リマスガ、産業ヲ無條件デ擴充致シマシタナラバ、或ハ産業ハ旺盛ニナリマスル結果ハ、其處ニ退職貨幣ガ銀行預金ニ變化シテ參リマシテ、一方カラ參リマスルナラバ、公債消化ノ一助ニナルカモ知レマセヌガ、併シナガラ此産業ノ擴充ハ、ヤリ方ニ依リマシテハ非常ナ悪い結果ニナルト云フコトヲ恐レルノデアリマス、即チ無條件デ産業ノ擴充ヲ致シマスナラバ、從來度々經濟恐慌ヲ經テ參リマシタル平和産業、例ヘバ纖維工業ノ如キモノハ資金ヲ得ルコトハ容易デアリマシテ、何處マデデモ比較的容易ク産業ノ擴充ヲスルコトガ出來ルノデアリマス、之ニ反シマシテ軍需工業、新興工業ハ信用ノ程度ガ淺イノデアリマスルカラ、資金ヲ得ル途ガ困難デアラウト考ヘラレルノデアリマス、其結果紡績

業ノ如キ、今日ドシノト擴充サレテ参リマスガ、而モ三割ノ操短ハ其儘維持セラレテ居ルノデアリマス、所ガ此跛行的ノ産業擴充ノ結果ハ、ドウナルカト云フコトニナリマス、平和産業ノ方ガ著シク擴張サレルニ反シマシテ、軍需工業及ビ新興工業ハ資金ヲ得ル途ガ困難デアリマスカラ、十分ニ擴充サレテ行クコトガ普通ノ儘ダハ困難デアルト思フノデアリマス、其結果ハドウナルカト云ヘバ、莫大ナ軍需品ガ必要デアリマスルガ、是ハ勢ヒ輸入ニ仰ガナケレバ實際ノ用ヲ足サナイト云フ結果ニナルト思フノデアリマス、其結果ハ即チ輸入ノ増大トナリ、輸出ノ減少トナラザルヲ得ナイト思フノデアリマスガ、サウ云フ風ニナリマス、國際貸借ハ惡化セザルヲ得ナイノデアリマス、斯ウ云フ輸入ノ増大、輸出ノ減少、既ニ其徵候ハ今日現ハレテ居ルノデアリマス、此國際貸借ガ惡化致シマシク時ニ、大藏大臣ハ如何ナル對策ヲ持テオ居デニナルノデアリマスカ、吾々國民ノ安心ノ出來ルヤウナ御親切ナル御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

リマスカ、之ヲ御伺致シタイノデアリマス

諸君、今日ノ貿易情勢ハ私ハドウシテモ輸入ノ増大スルコトヲ免レヌト思フノデアリマス、斯ウ云フ風ニナツテ参リマス、一體内地ノ物價ハ騰貴セザルヲ得ナイ、此物價ノ騰貴ニ對シマシテ大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナルノデアリマセウカ、此年々殖エテ参リマスル公債ヲ適當ニ消化シテ行クニ付キマシテハ、ドウシテモ此公債消化ニ對シマシテ併セテ考ヘナケレバナラスコトハ、金融統制、貿易統制、物價統制ト云フコトヲ考ヘナケレバナラスト思フノデアリマスガ、貿易ハ調整法案ガ出テ居リマシテ、不日上程サレマシタナラバ、其時ニ御意見ヲ承リタイト思フテ居リマスガ、今日金融統制ハオヤリニナルヤウナ風ニ見エナイ、サウ云フ議案ガ出テ居ラヌヤウデアリマス、物價ノ統制ニ對シマシテモ、サウ云フ具體的ノ議案ハ出テ居ラヌヤウニ思フノデアリマスガ、今後ドウ云フ御考ヲ持テオ居デニナルノデアリマセウカ、又國內ニ於キマシテモ非常ニ資金ハ各方面ニ澤山要ルノデアリマス、承ル所ニ依リマス、對滿投資ニ致シマシテモ、滿鐵ノ社債ニ致シマシテモ、昭和十二年度ノ滿鐵ノ社債ハ一億八千萬圓ヲ要スルコト云フ話デアリマシタガ、ドウシテモ此話ガ出來ナイガ爲ニ、一億二千万圓ヲ付イタカ、付キサウダトカ云フコトヲ聞イテ居リマスカ、尙又滿洲五箇年計畫ニ依リマスルコト、二十三億五千万圓ノ資金ヲ要スルコト云フ話

デアリマス、北支那ノ經濟開發ニモ三億圓前後ノ資金ヲ要スルコト云フ話デアリマスガ、斯ウ云フ資金ハ迎モ調達ガ困難デアラウト云フ見込ノ下ニ、其五箇年計畫ガ改變セラレタルヤノ噂ヲ聞クノデアリマスガ、真相ハ果シテドウナツテ居リマスカ、又國內ニ於キマシテモ此軍事豫算ガ相當ノ年限ガ繼續サレマスル結果ハ、非常ニ茲ニ産業ガ擴張セラレツ、アルノデアリマシテ、此産業資金ヲ相當ニ必要トスルト思ヒマス(簡單ニ願ヒマス)ト呼フ者アリ)此産業資金ノ問題ニ對シマシテモ日本銀行ノ總裁ノ池田サンハ、就任當日日本銀行ハ産業資金ヲ大イニ出スノデアルト云フヤウナ意味ノ御聲明ヲ爲サレマシテ、其後之ヲ取消スヤウナ御聲明ハアリマセヌ、此日本銀行ノ池田總裁ノ聲明ト、結城大藏大臣ノ産業擴充ト云フコトノ御話トヲ併セテ考ヘテ見マス、産業資金ヲ、興業債券ヲ發行セシメテ之ヲ日本銀行ガ引受ケテ、相當ニ出スヤウナ風ニ受取レタノデアリマスガ、之ヲ致シマスニ付テハ、或ハ日本銀行條例ノ改正ヲ必要トスルモノガアルカモ知レマセヌ、併ナガラ内規デ出來ルモノハ澤山アルカモ知レマセヌガ、此日本銀行條例ノ改正案ノ御提案ニナリマシタノヲ見マスルコト、斯ウ云フコトニハ觸レテ居リマセヌ、僅ニ參與會ヲ廢シテ參與理事ヲ置クト云フヤウナ有名無實ノ改正案ニ過ギナイト思ヒマスガ、此日本銀行ノ産業資金投資ノ方法ハ、新總裁ノ聲明サレタ通りニ御行ヒニナル御考デアリマスカ、サウ云フ風デハナイノデアリマスカ、如何ナ

ル御考ヲシテオ居デニナリマスカ、之ヲ承リタイノデアリマス

又最近ノ貿易情勢カラ考ヘテ見マシテ、輸入ノ増大、輸出ノ減少ノ結果ハ、先程申上ゲマシクヤウニ、國際貸借ハ惡化セザルヲ得ナイト思フノデアリマス、茲ニ於テ金ノ現送ヲナサレマスガ、其金ノ現送ヲナサレマスル結果ハ、一體ドウナルノデアリマス、此我國ノ貨幣制度ニ對シマシテ、大藏大臣ハ如何ナル信念ヲ持テオ居デニナルノデアリマセウカ、或ハ將來平價ノ切下ナドヲ行フヤウナ考ハ持テオ居デニナルノデアリマスカ、如何デアリマスカ、若シサウ云フコトガアリト致シマスルナラバ、金ノ保有量ト云フモノガ重大ナ關係ヲ持ッテ來ルノデアリマスガ、斯ウ云フコトニ對シマシテ如何ナル御見透シヲ持ッテオ居デニナルノデアリマセウカ、軍事費ナドノ將來ハ相手ノアルコトデアリマスルカラ、見透シガ付カスト云フコトデ無理ハナイカモ知レマセヌガ、此貨幣制度ニ對スル御信念ニ對シマシテハ、將來ノコトハ分ラヌデハ國民ハ安心スルコトガ出來ナイト思フノデアリマス、大體此三項目ニ付キマシテ、御親切ナル御答辯ヲ承リタイト思フノデアリマス

又最後ニ私ハ總理大臣ニ御伺ヲ致シマスガ、林内閣ハ政綱ノ第一ニ國體明徴ト云フコトヲ掲ゲテオ居デニナリマス、國體明徴ト云フコトハ近頃各方面デ叫バレテ居リマスル日本精神ヲ盛ニスルコトデアラウト思ヒマスルガ、果シテ然ラバ日本精神トハ一體ドンナモノデアリマセウカ、諸君、吾々

最近聞ク所ニ依リマス、金ノ現送ヲシテオ居デニナルラシイノデアリマスカ、是ハ一體金ノ保有政策ガ根本的ニ改變セラレタノデアリマスカ、又今日ノ貿易情勢ニ於テ先ノコトハ考ヘテ居レヌノデアリマスカラ、兎ニ角之ヲヤラナケレバナラスト云フ當面ヲ糊塗スル爲ニ、金ヲ現送サレルモノデアリマスカ、此金保有政策ニ對シマシテ大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

體ドンナモノデアリマセウカ、諸君、吾々

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

大藏大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナ

日本ノ國民ガ今日世界ノ三大強國ノ一ニ數ヘラレマシテ、此幸福ヲ味ヒ、此世界萬邦無比ノ國民トシテノ名譽ト矜ヲ誇リ得ル生活ヲ爲スコトガ出來マシタノハ、固ヨリ上御皇室ノ御稜威ノ然ラシムル所デアリマセウガ、又吾々ノ先祖ガ三千年間粒々苦心シテ、國家ノ經營ニ當ツタコトモ感謝セナケレバナラヌト思フデアリマス、然ルニ此幸福ヲ味ヒ、名譽ヲ感ジ、矜ヲ誇ト致シマシテ、而モ此經濟上ノ負擔タケハ後世ノ子孫ニ之ヲ負擔セシメルト云フコトガ、果シテ日本精神ニ適フデアリマセウカ、此問題ニ付キマシテ總理大臣ノ御考ヲ伺ヒタインデアリマス、自分方言ヒタイコトヲ言ヒ、ヤリタイコトヲヤリ、幸福ヲ味ヒ、而シテ其經濟上ノ負擔タケハ後世ノ子孫ニ負ハシメテヤツテ行クト云フコトハ、日本精神ノ精神ニ反スルト思フデアリマスガ、總理大臣ハドウ云フ風ニ考ヘテオ居デニナルデアリマセウカ、先ヅ之ヲ承リマシテ、第二次ノ質疑ニ入りタイト思フデアリマス(拍手)

○國務大臣(結城豊太郎君) 加藤君ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、第一ハ公債ノ消化ニ付テノ御質問デアリマシタガ、是ハ市場ノ狀況ガ惡イ時ニハ二億三億ノ公債モ發行ガ出來ナイ、其狀況ガ好ケレバ十億以上ノ公債モ發行出來スコトハナイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタコトデアラウト思フデアリマスガ、ヤリヤウニ依ツテハト云フヤウナ、サウ手品師ノヤウナ意味デハナイ、ドウシテモ是ハ公債ノ消化ニ付キマシテハ根本ハ資金ノ蓄積デアリマス、一面ニハ國ニ對スル信用デアリマス、財政ニ對

スル信用ト申上ゲマシタ方ガ宜イト思ヒマス、其二ツガ揃ヒマシテ、サウシテ市場ノ狀況ガ消化ニ便利デアリヤウニ出來テ居リマスルコトニナルト、日本ノ經濟力カラ申シマシテ、必シモ悲觀スベキモノデアハナイ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス

第二ニ生産ノ擴充ト云フコト、其實現方法ヲドルスルカト云フ御尋デアリマシタガ、是ハ將來ノコトヲ考ヘマシテ、物資ノ需給關係ヲ能ク究メマシテ、サウシテソレニ相應スルヤウニ、成ベクハ外國カラノ輸入ヲ仰ガヌヤウニ、國內ニ需給ノ調節ガ取レマスヤウニ、必要ナ産業ヲ育て、行クヨリ外ナイト思フデアリマス、其爲ニハ一時機械類ノ輸入デアリマシタカ、或ハ原料ノ輸入デアリマシタカ、輸入ノ増加ハ又已ムヲ得ヌト思ヒマスガ、ソレガ一應濟ミマスト、今度ハ本當ニ國內デ以テ物資ノ需給ノ調節ガ出來ルヤウニナルガラウト考ヘマスルノデ、サウ云フ域ニ達スルマデ生産ノ擴充ヲスルコトガ必要デアラウト思フデアリマス

必要ガナカラウ、ヤハリ必要ナ時ニハ正貨ヲ送ツテ其邊ノ決済ヲスルコトガ差支ナイ、又其程度ノ正貨ヲ送りマシタ所ガ、ソレニ依ツテ非常ナ動搖ヲ來スヤウナ日本ノ經濟界ガ幼稚ナ薄弱ナ經濟界デナイ、斯ウ考ヘマシテ、先達テ金ノ現送ヲ致シヤウナ次第デアリマスルガ、其爲ニ將來平價ノ切下ヲスルトカ云フヤウナ考ヘ私ハ毛頭持ツテ居リマセヌ

第三ニ貨幣制度ニ對スル信念ト云フコトノ御質問ガアリマシタガ、是ハ將來金ノ保有政策ヲ抛擲シテ、ドシノ正貨ヲ海外ニ出シテ、平價ノ切下デモナイカト云フヤウナ、御話ヲ承ツテ居リマスルト、サウ云フ御考ノヤウデアリマスガ、私ニハ全くソシナ考ヘナイノデアリマス、唯日本ノ國際貸借ノ關係カラ申シマス、或ル時代ニ於テ或ル程度ノ國際貸借ヲ正貨ニ依ツテ賄フト云フコトハ、已ムヲ得ヌコトデアリマスノデ、ソレヲ必シモ決濟ヲ意ツテ居ツテ、徒ニ正貨ヲ握ツテ居ルト云フヤウナコトヲスル

防軍備ヲ増大シナケレバナラヌト云フコトヲ述ベテ居リマスガ、國防軍備ヲ増大スル爲ニ已ムヲ得ズ巨額ノ費用ガ要ル、其爲ニ此公債ヲ募ルノデアリマス、隨テ私ハ此公債ヲ募ツテ此國家ヲ維持シ、國家ノ興隆ヲ圖ルト云フコトハ、所謂祖宗ニ對シ、子孫ニ對シ、洵ニ必要デアル、現代人ノ爲スベキコトト考テ居リマス(拍手)

○加藤一君 只今大藏大臣ノ御答辯ヲ伺ヒマシタガ、先般大藏大臣ハ本議場ニ於テ確ニヤリヤウニ依ツテハ十三億十五億デモ消化スルト云フ言葉ヲ仰シヤツタニ違ヒナイト私ハ感ジテ居リマス、サウシテ周圍ノ色々ナ條件ガ好ケレバ十三億デモ十五億デモ出來ル、惡ケレバ十億以內デモ出來ナイ、斯ウ云フコトハ子供デモ知ツテ居ルコトデアリマシテ、斯ウ云フ抽象論ヲ承リマシタダケデハ、國民ハ安心スルコトガ出來ナイト思フデアリマスガ、斯ウ云フ議論ヲ繰返シハ致シマセヌ、結局公債ノ消化力ト云フモノハ國民經濟力ニ適應シタモノデナケラネバ、當面ニ糊塗スルコトハ出來マシテモ、結局ハ行詰ラザルヲ得ナイト思フデアリマス、其國民經濟力ハ一體ノ位アルト云フ御見込デアリマセウカ、我が國民ノ所得ハ最近一年ニドノ位アル御見込デアリマスガ、正確ナル調査ハ最近ナイヤウデアリマスガ、相當前ノコトデアリマシタガ、國勢調査ノ時ニ依リマス、百億ト勘定サレテ居ル、今日ハ景氣モ好クナツテ居リマスカラ、専門ノ學者ハ百二十億間位ト勘定シテ居ル人モアリマスシ、或ハ百五十億アルト云フ人モアリマスガ、先ヅ百二十億ト云フモノガ國民所得ノ大概其邊デアハナ

カラウカト考ヘラレノデアリマス、果シテ然ラバ此國民所得ノ何割迄ガ公債ヲ消化シ得ルト云フ御見込ヲ持ツテオ居デニナリマスカ、サウ云フ御研究ハ致シテオ居デニナラスノデアリマスカ、之ヲ承ツテ置キタ

サウ云フヤウナコトハ考ヘテオイデニナラヌノデアリマセウカ、如何デアリマスカ、又此公債ノ問題ハ、今大藏大臣ガ仰シヤッタノデアリマスガ、成程今色々點カラ考ヘマシテ、具體的ニ仰シヤルコトハ困難デアリマセウガ、モウ少シ具體的ニ仰シヤツテ戴カナイト、國民ハ安心ガ出來ヌト思フノデアリマス

度ニ過ギナイデハナイカト云フ御話デアリマスルガ、御尤デアリマス、是ハ大量ノ公債ヲ郵便局カラ賣ルト云フ考デハナシニ、先刻モ申上ゲマシタヤウニ公債ノ民衆化、幾ラカ公衆ニ公債ヲ持ツテ貰フト云フ意味ニ過ギナイノデアリマスルカラ、大部分ハヤハリ銀行、保險會社、信託會社其他ノ方面ニ消化シテ戴クヨリ外ナカラウト思ヒマス、只今ノ短期ノ公債ヲ出シタラ宜カラウト云フ御話、又一年ノ大藏省證券ニ類似シタモノヲ出シタラ宜カラウト云フ、ソレ等ノコトニ付キマシテハ、色々關係カラ考慮シナケレバナリマセヌノデ、具體的ノコトヲ私カラ申上ゲル譯ニハ參リ兼ネルノデアリマス

望ミマス
○議長(富田幸次郎君) 松永君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ
○松永東君 殘餘ノ日程ヲ延期シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス
○議長(富田幸次郎君) 松永君提出ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(富田幸次郎君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ
日ハ午前十時ヨリ特ニ本會議ヲ開キマス、書記官ヲシテ議事日程ヲ報告致サセマス
〔書記官朗讀〕

又此公債ノ發行ニ對シマシテモ、利率、條件等ハ大體今日ノ三分五厘ヲ維持セラレル御考デアリマセウカ、結局ハ國民經濟ニ依ラナケレバナリマセウガ、當面ヲ糊塗スル、當面ノ消化方法ナラバ、ソレハ幾ラデモアルノデアリマス、郵便局ノ窻カラ賣出スダケデハ、私ハ一年ニ一億圓以上ハ困難デヤナイカト思ヒマス、ソレハヤハリ様ニ依ツテ違ヒマセウケレドモ、サウ云フコトヲ致シマス外ニ、消化方法ノ手段トシテ、或ハ日本銀行ガ公債ヲ普通ノ銀行カラ買入レマシテ、又時價ニ依ツテ賣下ゲルト云フコトヲヤツテ居リマスガ、之ヲ改メマシテ普通銀行其他カラ、公債ヲ日本銀行ガ買受ケマスケレドモ、或ル一定ノ期間ダケナラバ買入レタ價格ニ依ツテ賣渡シテヤル、サウシテ其經過利子ヲ計算スル、斯ウ云フコトヲ執リマスルト、金融業者ハ非常ニ公債ガ持チ良クナルノデアリマス、又公債ノ消化方法ノ一ツトシテハ、從來ノヤウナ期限ノミデナクシテ、短期ノ五年トカ、六年トカ云フヤウナ短期ノ公債ヲ發行セラレルトモ、一ツノ方法デアリマセウ、或ハ現在ノ大藏省證券制度ノ改革ヲ致シマシテ、此一年以内ト云フ年度内ト云フコトヲ多少延長スルトモ、一ツノ方法ノヤウニ考ヘラレマスガ、是ハ結局ハ國民ノ經濟力ニ副ハナケレバ歲入ガ駄目デアリマセウガ、一時ハ之ニ依ツテ餘程公債ノ消化ヲ助ケルコトガ出來ルト思ヒマス、

ソレカラ總理大臣ハ、只今國家ヲ興隆ニスルコトハ祖先ニ對シテモ、子孫ニ對シテモ必要ダト仰シヤルガ、ソレニ異議ヲ言フ國民ハ一人モアリマセヌガ、國家ヲ興隆ニスルト思ヒマシテモ、其結果ガ反對ニ行クヤウナ場合ガナイトハ言ヘナイ、ソコデドウ云フ方法デソレヲオヤリニナルカ、斯ウ云フコトヲ聽イテ置キマセスト、ソレナラバ宜シイ、是ナラバ成程國家ヲ興隆ニスルコトガ出來ルダラウト云フヤウニ、國民ガ安心シテ林内閣ヲ後援スルコトガ出來ルヤウナ御説明ガ願ヘレバ、極メテ幸ヒダト思フノデアリマス(拍手)

〔國務大臣林銑十郎君登壇〕
○國務大臣(林銑十郎君) 只今ノ御尋ハ、國家興隆ノ爲ニ盡ス積リデモ、サウ行カヌカモ知レヌガ、果シテ行ク見込ガアルカ、斯ウ云フ御質疑ノヤウデアリマスガ、此豫算ガ通過シマシテ、之ヲ諸般ノ施設ノ上ニ現シテ行キマスレバ、國家興隆ノ上ニ於テ必ズ若干ノ進歩ヲ見ルコトト信ジマス(拍手)

○議長(富田幸次郎君) 加藤君、宜シイデスカ
○加藤鯛一君 宜シウゴザイマス
○議長(富田幸次郎君) 是ニテ質疑ハ結局致シマシタ、兩案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス
○松永東君 日程第六及第七ノ兩案ハ一括シテ、政府提出一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案外二件委員ニ併セ付託セラレンコトヲ

依ツテ賣渡シテヤル、サウシテ其經過利子ヲ計算スル、斯ウ云フコトヲ執リマスルト、金融業者ハ非常ニ公債ガ持チ良クナルノデアリマス、又公債ノ消化方法ノ一ツトシテハ、從來ノヤウナ期限ノミデナクシテ、短期ノ五年トカ、六年トカ云フヤウナ短期ノ公債ヲ發行セラレルトモ、一ツノ方法デアリマセウ、或ハ現在ノ大藏省證券制度ノ改革ヲ致シマシテ、此一年以内ト云フ年度内ト云フコトヲ多少延長スルトモ、一ツノ方法ノヤウニ考ヘラレマスガ、是ハ結局ハ國民ノ經濟力ニ副ハナケレバ歲入ガ駄目デアリマセウガ、一時ハ之ニ依ツテ餘程公債ノ消化ヲ助ケルコトガ出來ルト思ヒマス、

〔國務大臣結城豊太郎君登壇〕
○國務大臣(結城豊太郎君) 加藤君ニ御答ヲ申上ゲマス、公債消化ニ付テ國民所得トノ數字ノ關係ヲ御聽キニナツクヤウデアリマスルガ、是ハ數字的ニ出シマスコトハ中ムヅカシイノデアリマス、出シ様ガ幾通りモゴザイマセウシ、出シテ見タ所ガ本當ニソレデ實情ガ分ルノデハナカラウト思ヒマス、私ハサウ云フ數字ニ依ツテドノ位ト云フヤウナコトノ検討ヲ致シタコトハナイノデアリマス、ソレカラ三分五厘公債ヲ維持スル考ガアルカト云フ御尋ハ、成ベクソレヲ維持シテ行キタイト思ッテ居リマス、ソレカラ郵便局カラ賣ツテモ高々五千万、一億程

○議長(富田幸次郎君) 加藤君、宜シイデスカ
○加藤鯛一君 宜シウゴザイマス
○議長(富田幸次郎君) 是ニテ質疑ハ結局致シマシタ、兩案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス
○松永東君 日程第六及第七ノ兩案ハ一括シテ、政府提出一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案外二件委員ニ併セ付託セラレンコトヲ

○議長(富田幸次郎君) 本日ハ是ニテ散會致シマス
午後六時二十八分散會

依ツテ賣渡シテヤル、サウシテ其經過利子ヲ計算スル、斯ウ云フコトヲ執リマスルト、金融業者ハ非常ニ公債ガ持チ良クナルノデアリマス、又公債ノ消化方法ノ一ツトシテハ、從來ノヤウナ期限ノミデナクシテ、短期ノ五年トカ、六年トカ云フヤウナ短期ノ公債ヲ發行セラレルトモ、一ツノ方法デアリマセウ、或ハ現在ノ大藏省證券制度ノ改革ヲ致シマシテ、此一年以内ト云フ年度内ト云フコトヲ多少延長スルトモ、一ツノ方法ノヤウニ考ヘラレマスガ、是ハ結局ハ國民ノ經濟力ニ副ハナケレバ歲入ガ駄目デアリマセウガ、一時ハ之ニ依ツテ餘程公債ノ消化ヲ助ケルコトガ出來ルト思ヒマス、

〔國務大臣結城豊太郎君登壇〕
○國務大臣(結城豊太郎君) 加藤君ニ御答ヲ申上ゲマス、公債消化ニ付テ國民所得トノ數字ノ關係ヲ御聽キニナツクヤウデアリマスルガ、是ハ數字的ニ出シマスコトハ中ムヅカシイノデアリマス、出シ様ガ幾通りモゴザイマセウシ、出シテ見タ所ガ本當ニソレデ實情ガ分ルノデハナカラウト思ヒマス、私ハサウ云フ數字ニ依ツテドノ位ト云フヤウナコトノ検討ヲ致シタコトハナイノデアリマス、ソレカラ三分五厘公債ヲ維持スル考ガアルカト云フ御尋ハ、成ベクソレヲ維持シテ行キタイト思ッテ居リマス、ソレカラ郵便局カラ賣ツテモ高々五千万、一億程

○議長(富田幸次郎君) 加藤君、宜シイデスカ
○加藤鯛一君 宜シウゴザイマス
○議長(富田幸次郎君) 是ニテ質疑ハ結局致シマシタ、兩案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス
○松永東君 日程第六及第七ノ兩案ハ一括シテ、政府提出一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案外二件委員ニ併セ付託セラレンコトヲ

○議長(富田幸次郎君) 本日ハ是ニテ散會致シマス
午後六時二十八分散會

依ツテ賣渡シテヤル、サウシテ其經過利子ヲ計算スル、斯ウ云フコトヲ執リマスルト、金融業者ハ非常ニ公債ガ持チ良クナルノデアリマス、又公債ノ消化方法ノ一ツトシテハ、從來ノヤウナ期限ノミデナクシテ、短期ノ五年トカ、六年トカ云フヤウナ短期ノ公債ヲ發行セラレルトモ、一ツノ方法デアリマセウ、或ハ現在ノ大藏省證券制度ノ改革ヲ致シマシテ、此一年以内ト云フ年度内ト云フコトヲ多少延長スルトモ、一ツノ方法ノヤウニ考ヘラレマスガ、是ハ結局ハ國民ノ經濟力ニ副ハナケレバ歲入ガ駄目デアリマセウガ、一時ハ之ニ依ツテ餘程公債ノ消化ヲ助ケルコトガ出來ルト思ヒマス、

〔國務大臣結城豊太郎君登壇〕
○國務大臣(結城豊太郎君) 加藤君ニ御答ヲ申上ゲマス、公債消化ニ付テ國民所得トノ數字ノ關係ヲ御聽キニナツクヤウデアリマスルガ、是ハ數字的ニ出シマスコトハ中ムヅカシイノデアリマス、出シ様ガ幾通りモゴザイマセウシ、出シテ見タ所ガ本當ニソレデ實情ガ分ルノデハナカラウト思ヒマス、私ハサウ云フ數字ニ依ツテドノ位ト云フヤウナコトノ検討ヲ致シタコトハナイノデアリマス、ソレカラ三分五厘公債ヲ維持スル考ガアルカト云フ御尋ハ、成ベクソレヲ維持シテ行キタイト思ッテ居リマス、ソレカラ郵便局カラ賣ツテモ高々五千万、一億程

○議長(富田幸次郎君) 加藤君、宜シイデスカ
○加藤鯛一君 宜シウゴザイマス
○議長(富田幸次郎君) 是ニテ質疑ハ結局致シマシタ、兩案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス
○松永東君 日程第六及第七ノ兩案ハ一括シテ、政府提出一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案外二件委員ニ併セ付託セラレンコトヲ

○議長(富田幸次郎君) 本日ハ是ニテ散會致シマス
午後六時二十八分散會